いじめのリアル

CEP・子どもひろばの出前授業

23,500人の
子どもの声

小学館スクウェア

いじめのリアル

CEP・子どもひろばの出前授業

23,500人の
子どもの声

まえがき

「いじめなんか自分には関係ないし、考えたこともない」という人はどの位いるでしょうか？

たとえ自分がいじめられなくても、友だちや家族や親せきなど、身近な人がいじめにあっていたらどうでしょう？　それでも関係ないといえるでしょうか？

いじめは決してめずらしいことではありません。どこにでもあり、誰にでも起こりえることなのです。

それなのに、いじめのことを「誰にも話せない」という人がとてもたくさんいます。

私たちNPO法人市民共同学習プロジェクト子どもひろばでは、1997年から小中学校を訪問し、「いじめ防止」のための出前授業を実施してきました。

これまで参加した子どもたちへのアンケートは、すべて事務所に保管しています。そこには「いじめなくして」「死にたい」「学校行きたくない」「いじめっ子殺したい」など、正直で切実な言葉があふれています。

勇気を出していっしょうけんめいに書いてくれた言葉には真実の重みがあります。

これまでいじめの当事者のいじめられる子、いじめる子、見ている子たちの声が発信される機会はほとんどありませんでした。

そこで団体発足20周年に、子どもたちに代わって「みんなの声」を社会に発信しようと考え、この本を作ることにしました。本書で取り上げたのは、特に近年出前授業のリクエストが多い4つのプログラムになります。アンケートの自由記述の文章は、あえて手を加えず、子どもたちが書いてくれた言葉をそのまま紹介することにしました。ただし、平仮名ばかりで、意味を取り違えてしまう恐れのある記述については、句読点を追加しています。

子どものみなさんには「自分と同じ気持ちの子がいる」「自分はひとりぼっちじゃないんだ」ということに気づいてほしいと願っています。

※なお、いじめ防止出前授業のプログラムは複数あり、対象年齢もアンケート項目もそれぞれ違うため、集計はプログラムごとに20年分をまとめました。また、自由記述は同じ内容のものは省略しました。

もくじ

まえがき……………………………………………………………2

この本を読む前に…………………………………………………7

「NPO 法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば」ってなに？

知っておこう！「人権」と「権利」のはなし

プログラム１　CAP「子どもの暴力防止教育」……………………17

プログラムの内容

学習後のアンケート結果

Q 1. あなたは「3 つの権利」をとられたことがありますか？

Q 2. あなたは誰かの「3 つの権利」をとったことがありますか？

Q 3. あなたは困ったことや、嫌なことがあったとき、話を聞いてくれる人、信じてくれる人はいますか？

ワークショップを見てわかったことや考えたこと

大人のみなさんへ

プログラム２　CEP「いじめと人権」ワークショップ……………95

プログラムの内容

学習後のアンケート結果

Q 1. あなたは誰かからいじめられたことがありますか？

Q 2. あなたは誰かをいじめたことがありますか？

Q 3. あなたは誰かがいじめられているのを見かけたことがありますか？

ワークショップの中で印象に残ったことや気づいたこと

大人のみなさんへ

プログラム３　CEP「いじめをやめよう」ワークショップ………151

プログラムの内容

学習後のアンケート結果

Q 1. あなたは誰かからいじめられたことがありますか？

Q 2. あなたは誰かをいじめたことがありますか？

Q 3. あなたは誰かがいじめられているのを見かけたことがありますか？

Q 4. いじめのないクラスにするにはどうすればいいでしょうか？

ワークショップでわかったことや思ったこと

大人のみなさんへ

プログラム 4　CEP「子どもの安全トレーニング」……………………171

プログラムの内容

学習後のアンケート結果

Q 1. あなたのことをいつも心配して守ってくれる人は誰ですか？

Q 2. あなたは友だちから嫌なことや怖いことをされたことがありますか？

Q 3. あなたは知らない人から嫌なことや怖いことをされたことがありますか？

子どもの安全トレーニングを見てわかったことや考えたこと

大人のみなさんへ

巻末資料編……………………………………………………………………191

あとがき………………………………………………………………………204

この本を読む前に

「NPO法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば」ってなに？

○子どもの命を守るための団体です

1980～1990年代、日本全国で「いじめ」を受けた子どもの自殺が続いたことに、私たちは大きな衝撃（ショック）を受けました。

「いじめ」をなくして子どもの命を守りたいと考えた私たちは、1997年に「ボランティアグループ子どもひろばCAP」を発足させました。その後2000年「NPO法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば（略称 CEP・子どもひろば）」を設立し、子どもに直接「自分の心の守り方、命の守り方」を伝える活動を始めました。

CAPとは
Child Assault Preventionの略称で、「子どもの暴力防止」の意味です。

CEPとは
Citizenship Education Projectの略称で「市民と市民が共に学ぶ企画」という意味です。

○参加して体験しながらいっしょに学ぶ

私たちは、小中学校・保育園・幼稚園などの保護者会をはじめ、子育てグループや学校、役所などからの依頼を受けて「いじめ防止教育」をはじめとする、さまざまな出前授業を行っています。

私たちは、知識を得るだけでなく、問題を自分のこととして受け止め、考えることが大切だと考えています。ですから、みなさん（子どもたち）が主体的に参加し体験学習することができるワークショップ（参加型・体験型学習の場）というスタイルを選んでいます。

小学校で「CAP子どもの暴力防止教育」の出前授業風景

CEP・子どもひろばのオリジナルプログラム

CEP・子どもひろばが取り組んでいる、子どもの命を守り、心を育てるプログラムを開発順に紹介します。

1　「CEP国連子どもの権利条約」（高校生以上対象）

　人種差別の歴史的背景をはじめ、国際理解、子どもの幸せや大人の責任、命の大切さ、平和の大切さを学ぶ。

2　「CEP親子の安全トレーニング」（幼稚園年長児以上とその親を対象）

　通学路の子どもの連れ去り被害防止を目的とし、自分で身を守るロールプレイ（役割を演じること）で､具体的な方法を学ぶ。

3　「CEPホームレスへの差別と人権意識」（高校生以上対象）

　親の差別意識と子どもの差別意識をはじめ、ホームレスの背景への理解と社会的視点を養う。

4　「CEPティーンズドラッグ」（中学生以上対象）

　若者を取り巻くドラッグをテーマに、薬物中毒、暴力団との関係、ピアプレッシャー（仲間からの圧力）をロールプレイで学ぶ。

5　「CEPいじめと人権」（小学校高学年以上対象）

　ひどいいじめは犯罪にもつながることを理解し、ロールプレイによって差別意識について考える。

6　「CEPいじめをやめよう」（小学校低学年以上対象）

　いじめがなぜいけないのかを考える。ロールプレイによって自分の気持ちを表現することを学ぶ。

7　「CEPネットとケイタイを上手に使おう」（中学生対象）

　インターネットと携帯電話の影響力の大きさやトラブル防止を学ぶ。

8　「CEP思春期からの性と危機管理」（高校生以上対象）

　動物と人間の性の違いをはじめ、無責任な性情報、無防備な性行動と性感染症、ＨＩＶとAIDS、妊娠中絶などについて学ぶ。

9　「CEP子どもの安全トレーニング」（小学校低学年対象）

　通学路の子どもの連れ去り被害と子ども同士のいじめをテーマに、自分で身を守るロールプレイによって具体的な対応策を学ぶ。

10　「CEPライフスキルトレーニング」（中学生対象）

　グループ学習で生きる力とコミュニケーションスキルを身につける。

知っておこう！
「人権」と「権利」のはなし

○みんなに幸せになる権利がある

この本を読むにあたって、ぜひみなさんに知っておいてもらいたいのが、日本国憲法に記された「基本的人権」や国際連合（国連）による「世界人権宣言」、国際条約によって定められた「子どもの権利条約」です。

どれも、「人は誰でもみんな、生まれながらにして幸せになる権利があり、誰もその権利を奪うことはできない」と説明しています。

「すべての国民は、一人ひとりがかけがえのない個人として尊重されます。生命、自由、そして自分の幸福を追い求める権利は、他の人や社会に迷惑をかけない限りにおいて最大限に尊重されます」（日本国憲法 第13条）

日本国憲法とは

日本のきまりの大もととなった法律のこと。国民には政治に加わる権利があること（国民主権）や、戦争をしないこと（平和主義）、人が生きるうえで重要な命や体の自由に関わる権利を守ること（基本的人権の尊重）などが決められています。

基本的人権の尊重

憲法では、すべての国民が生まれながらにしてもつ「権利」を認めています。「基本的人権の尊重」とは、人にとってもっとも重要な、これらの権利を大切にしよう、という意味です。

○憲法が認める5つの権利

自由権

どんな考えをもつのか、どんな宗教を信じるのか、何を学ぶのか、何を表現するのか、どんな仕事をするのかを自由に選ぶ権利

平等権

人種（日本人か外国人か）、性別（男か女か）、信条（政治などに対する考え方）などが違っていても、差別を受けず等しく生きる権利

社会権

人が社会を生きていくうえで、健康的で文化的な最低限の生活を送り、教育を受けることができる権利

参政権

国が国民の基本的人権を守るように、選挙権や被選挙権をもつことで、人々が政治に参加する権利

請求権

国民の権利が奪われた場合に、国に対して救ってくれるように求める権利

世界人権宣言

これは「すべての人民にとって達成すべき共通の基準」として、1948 年に国際連合総会で定められた、30 条からなる人権に関する宣言。自由と正義と平和の基礎、現代人権法の土台となっています。

○人権宣言の基本原則

自由権

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利とについて平等である

平等と無差別

人種、皮膚の色、性別、言語、宗教、政治上の意見、国籍や社会的出身、財産、地位などの違いで、差別を受けることなく、すべての権利と自由を受けることができる

子どもの権利条約

これは「子どもが一人の人間として基本的人権をもつ」として、1989 年に国際連合総会で定められた 54 条からなる国際条約で、1990 年に発効されました。世界中のすべての 18 歳未満の子どもたちが健康に生きて十分に学んだうえで自由に活動し、大人や国から守られ援助されながら成長する権利があると定めています。日本は、1994 年に批准（賛成）しました。

○子どもの権利条約が定める４つの権利

生きる権利

すべての子どもは命を守られる

育つ権利

もって生まれた能力を十分にのばして成長できるよう、医療（病院で治療を受ける）や教育（学ぶ）、生活への支援などを受け、友だちと遊んだりすることができる

守られる権利

大人からの暴力や、大人によって働かされ、それによって得たお金をとられたり、有害な労働をさせられたりすることから守られる

参加する権利

自由に意見を表したり、団体をつくったりできる

■出前授業のようす

CAP「子どもの暴力防止教育」

CEP「子どもの安全トレーニング」

CEP「いじめと人権」ワークショップ

CEP「いじめをやめよう」ワークショップ

CAP 3つの権利

ご飯を食べること、トイレに行くこと、寝ること、医者に行くこと、学ぶこと、遊ぶこと、意見を言うこと、子どもは大人に守られることなど、生きるために必要なこと、禁止されたら困ることが権利です。地球上のすべての人が「**安心**」して「**自信**」をもって「**自由**」に幸せに生きる権利があり、誰も人の権利を奪うことはできません。

プログラム 1

CAP「子どもの暴力防止教育」

■実施対象　小学校中学年～高学年　16,489 名
■実施期間　1997 年～ 2017 年
■実施回数　532 回

プログラムの概要

子ども同士のいじめや大人の暴力や虐待から、子どもが自分を守る力を身につけるため、1978 年にアメリカで開発されたプログラムです。ロールプレイ（役割を演じること）を体験する参加型学習で、自分の命を守り友だちと助け合い、互いに尊重することは人権学習にもつながります。CEP・子どもひろばでは、設立当初から取り組んでいます。

プログラムの目的

1. すべての人は幸せに生きる権利をもっていることを理解する
2. 暴力によって人権をとられた（奪われた）人のつらさ、苦しさ、悲しさに共感する
3. 自分自身の大切さに気づくと同時に人を尊重することの大切さに気づく
4. 人と人が助け合い協力して問題を解決することができることを実感する

プログラムの内容

1　権利の説明

　子どもが一人の人間として人権をもち、大人や国に守られて成長する権利があることを説明します。（→ 12 ～ 16 ページ）

2　学習メニュー

いじめっ子に権利をとられた場合

いじめられた場面のロールプレイを通して、友だちに話して助けてもらうことを学ぶ

知らない人に権利をとられた場合

不審者に会った場面のロールプレイを通して、大きな声でまわりに助けを求めて逃げることの大切さを学ぶ

知っている人に権利をとられた場合

知っている人から被害を受けた場面のロールプレイを通して、はっきり断って逃げることの大切さを学ぶ

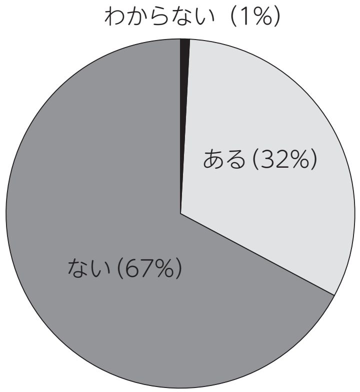
先生に相談する

友だちにもいっしょに行ってもらうことを学ぶ

3　まとめ

　いじめなどの被害者は悪くない、悪いのは加害者です。大人に助けてもらいましょう。自分を大切に守りましょう。

学習後のアンケート結果



Q1

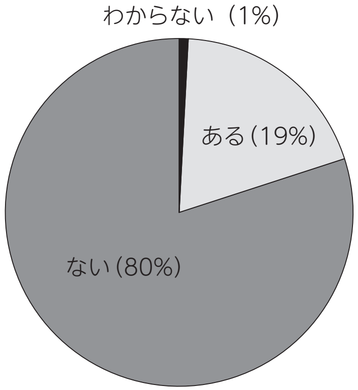
あなたは「3つの権利」をとられたことがありますか？

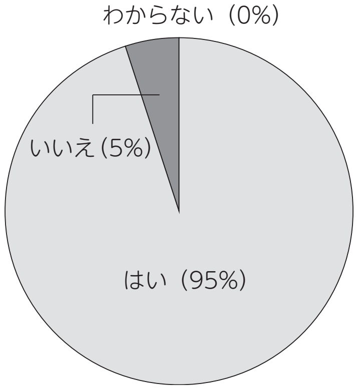
→ 20 ～ 47 ページ

Q2

あなたは誰かの「3 つの権利」をとったことがありますか？

→ 48 ～ 54 ページ





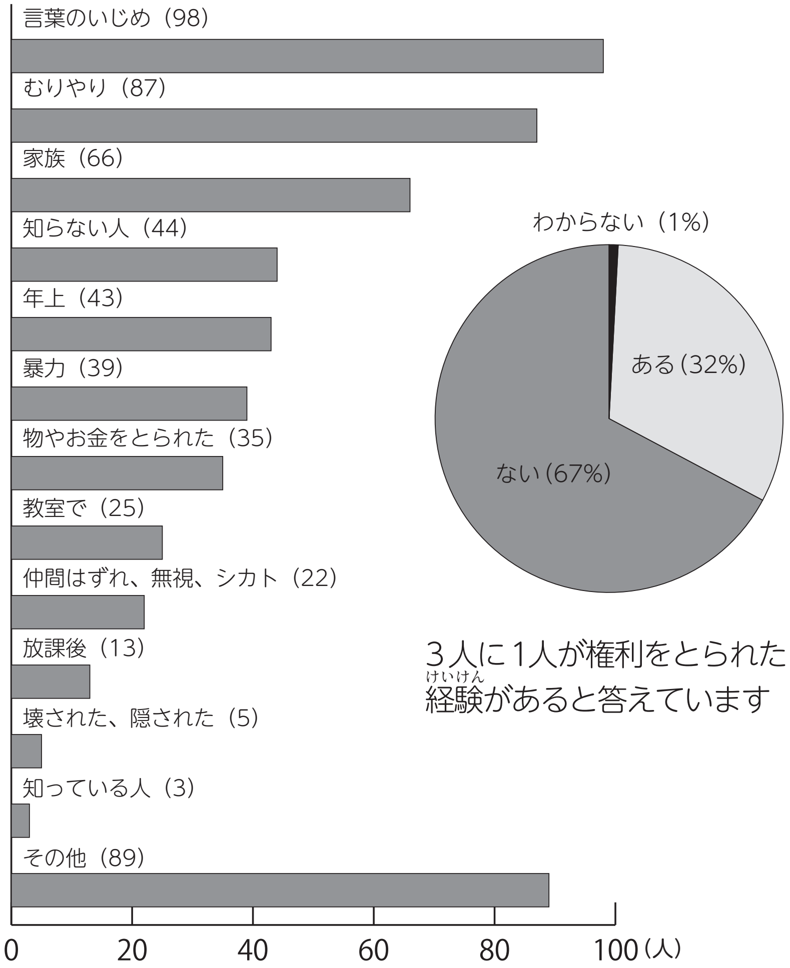
Q3

あなたは困ったことや嫌なことがあったとき、話を聞いてくれる人、話を信じてくれる人はいますか？

→ 55 ～ 60 ページ

Q1 あなたは「3つの権利」をとられたことがありますか？

「ある」と答えた人の内訳



3人に1人が権利をとられた経験があると答えています

みんなの声

Q1で「ある」と答えた人に、どんなふうに権利をとられたのか、どんな気持ちだったのか、権利をとった相手は誰だったのか、時間や場所などについて、自由に答えてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

言葉のいじめで権利をとられた

- Ａさんにアトピーのもんくを言われた
- いきなりみなごろしにするぞ！と言われた時
- Ｔちゃんって、がっこうにいなくていいっていわれたこと
- はずかしいことをやってしまい「それを話すぞ」と言われた時
- おともだちにサッカーやめろとか言われた時
- 友だちに「いっしょに帰ろう」と言ったら「かってにすれば」といわれたとき
- 友だちが「これからわたしのいうことききいてよ」といっていました
- やさしく言ってるのに「うるさいんだよ」とか「きえろ」とかで、いやだなぁと思います。ほかにもありますけどね
- 手紙でいろいろ悪口を書かれた
- キモイって言われた時
- 友だちがゲームでまけたらなぐるって言われた時
- オーディションの時友達に歌がへただからむりだよと言われて、自信をとられてしまった
- 私ではないのに私のせいにしてしまわれたときショックだった

●あそんでいるとき「おにになって！　そうしないとあそばないよ！」と言われた時　●ニックネームでしつこくいう
●ゴリラと言われた時　●友だちに「どげざしろ」といわれた時
●つかまえられて「おかめなっとういといちばんに 100 円です」っていわれたとき
●いやなことを「いやだ」といったら「やらなきゃぜっこう」といわれたとき
●自分の悪口を言われたり体形のことで言われたり他にもいろいろ
●歩いている時デブと言われました
●「ぼつぼつまん」といわれたとき　●名前をばかにされた
●なにもやるな！といわれた　●おまえバカだなと言われた
●しね、ころす、もや、たまごあたま、パンチパーマ、などといわれたとき、いまさっきもいわれた
●友だちが自分のコンプレックスを声に出された
●かえりみちに「わたしのいうとおりにしないと手をねじる」のようなことがあった

●しっぱいした時「できないんだー」と言われたとき
●友だちと仲良くしちゃいけないと（はなすな）と親友に言われた
●じゅくの前に遊ばないといっちゃだめと言われました
●ランドセルもって、もたないとあのこといいふらすよと言われたとき
●同じ学年の男の子に「うなぎ」とよばれたとき
●ボコボコにするといわれたとき　●一生しゃべるなと言われた
●男子たちに「チビ」「メガネ」などといわれた時
●いっしょにでかける時「もうあなたとはでかけない」と友だちがいじわるした時　●友だちがせいかくきらいっと言った時
●プールで、でしになれって言われた
●「小さいな。何を食べたらそんなに小さくなれるの？」と聞かれていた時
●キーパーをやらないといれないと言われた
●自分は給食でおかわりしたいのに、友だちにしてはダメと言われた
●わたしは足がおそいので友だちに「おそいんだから入らないで」と言われた時
●はんの人ぜんいんが１人のこのめいれいをきいて、これやれあれやれとおしつけてくる
●めのまえでこしょこしょばなしをされたとき
●友だちの○○君がすきじゃないのに、すきってばらまかしている
●はやく帰りたいのに遊ぼうよーといわれて、ことわったら「遊ばないと友だちやめるよ」と言われた
●いじめられて先生に言ったらひみつを言うぞと言われた
●いじめられたとき、うたのかいぞうばんをうたわれた

●あっかんべーされたり、わるぐちもやられる
●あんまり仲良くない友だちにムリヤリ好きな人を教えさせられた
●男子の軍団に悪口を言われて、その場からこわくてうごけなくてないた
●何もしてないのに友だちにおまえおならしてただろーとかきもちわるいとかいわれた
●しんせきの人に悪口を言われた
●クラスの人に死ねとか人間じゃないとかデブと言われた（今はもう仲良しです）
●おにごっこをさそわれて、はいってやってた時「クソザル」って言われた
●にじゅうとびできないんだ、といってちょっとわらってた
●男の子にへんなあだなでよばれる（おにばば・おばさん）
●口のつよい子に先生に言っちゃだめだよといわれたとき
●みんなからはなげひらひらとよばれた
●自分が出来ると思ったことを出来ないと言われた時など……安心、自信があー
●しねとか、ないふでころすぞとか、うざいとか言われたことがあります
●友だちがわるいことをしてないのに「やったー」といわれた時
●ゲームがないと遊んでやんねぇといわれた　　●うんこといわれた
●からかわれたり、へんなウワサ？みたいなものを流された
●２年生の時に「まじょ」とか「やせろ」とか言われた
●ようちえんで、いじめっこにもんくをいわれた
●今日からずっとおまえはいっしょにあそぶんだぞといわれた

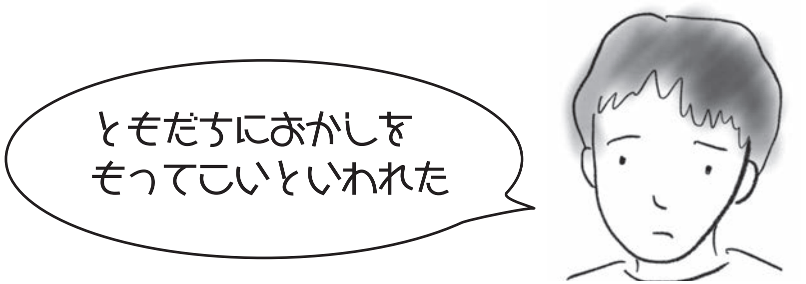
●みてほしくないものをみられて「ひみつだろ？そのかわりしゅくだいみせてよ」という人がいた時
●友だちと帰る時「あなたのお母さんへんだよね」と言われた
●アレルギーのところを病気なのに気持ち悪いと言われた
●去年休み時間に「1年間おに」とか「ぜっこう」といわれたとき
●同級生のＡ君にうら来いとかいわれた
●きんあつかいされたとき　　●サソリって言われたときいやだった
●あそばないと「友だち切るよ」といわれました
●何かをして人とちがうことをしたらへんなことを言われた
●キモイなどとかぞくのことをキモイといわれたこと、みんなでせめられた
●体育着を着ているとき見えただけなのにへんたいといわれたとき
●私がやっていた楽器からほかの楽器にかえてといわれてかえてしまったとき
●みんなから「みないで」といわれたとき
●がんばっていること、がんばって作っているものを毎日バカにされた
●自分の悪口やチクチク言葉をほとんど毎日言われている時
●１年の時に「いじめるからね」といわれて、めいれいされるのをきかないといじめられた

むりやり

●自分自身で決めたいことを勝手に決められた時
●あいてが自由にやっていて、自分はあいてにしめいされたことがある
●あたまをなぐられて「早くランドセルもてよ」といわれた時
●友だちがとおせんぼしてトイレに行けなかった

●××ちゃんにむりやりへんなあそびをさせられた
●自分がすきじゃないのに、おそろいにしようってかわされたことがある
●ほとんどの日めいれいをきいたりしないといけないときがある
●同じクラスの人とラブラブとセットにさせられる
●遊んでる時にカンチョーされた、やめてといってもやめてくれない
●友だちとあそんでて（ごっこあそびで）自由なはいやくにしてくれなかった
●マットを１人でかたづけさせられたこと
●遊びたくない人（キライな人）と遊ばないといけなかったとき、つまらなかった
●そうこにいれられて、わらわれた
●めいれいされたけど「なんで、おまえにしたがわなきゃいけないんだよ !!」といってふりきった
●家に帰りたいのに友だちに「もうちょっとあそぼうよ」と言われたこと
●読み聞かせ朝会の時むりやり友だちにつれていかれました
●いろんなことにつれまわされた
●友だちにムリヤリいってはいけないところにつれていかれた
●１年のころ友だちにムリヤリくわの実を食べさせられた
●ほいくえんのころ、あそびどうぐをぜんぶかたづけさせられた
●友だちにたいいくのあとのたいそうぎを、かたづけさせられたとき
●おかいこ様をむりやりもたされたとき
●えんぴつをこうかんしようといわれて、こうかんしたくないのにむりやりされた
●おとうとの友だちの２年生に３年なんだからもてと言われてその人たちのランドセルをもったことがある

●Ｋにむりやりちゅうされそうなこと
●どうしても２人であそぼうとしたのにむりやりはいろうとする
●その人に逆らっちゃいけない？みたいな
●言いたいことを止められた
●１組のＳくんにしゅくだいをやらされた
●自由帳を見せたくないのに周りの人が無理やり見ようとして、とりおさえられた時
●持ち物にらくがきされた
●おかしをおごりたくないのにおごらされたこと
●友だちにジュースやガムをいっしょに買わされた、お母さんのさいふから 10 円をもってこいと言われた
●ＭくんにまいにちあそばされＭくんのいうとおりにされた
●自分のアイデアをまねされて「やめて」と言ったのにやめてくれなかった
●友だちがいけないことをしようとして「いっしょにやろう」と言われてことわれなかった
●前の前の学校の時ムリヤリどこかわすれたけど行かされた



●友だちに「あそぼ」と言われて、私はほかにもあそぶ人がいるのでいやだ「こんどあそぼ」と言ったら、つぎの日から体育着やなわとびをけとばしてきたり、にらみつけたりとおりすぎるときに「ばか」と言ったり手足をふんだりされた
●人にそれちょうだいと言われた時、あいてがけんか強かったけどいやだって言った
●めいれいをきかないといけなくなった
●見せたくないところをむりやり「見せろ！」と言っていやがらせをされた
●ならいごとにまにあわなさそうなのにランドセルをもたされたこと
●ある人にバスケットに入れとおどされたとき
●はんで相談の時、ふざけている人がいて、全部自分にやらされたとき
●無理やり友だちの家に連れて行かれた
●友だちに言おうと思ったら別の友だちに「言わない方がいい」といわれて言う気なくした
●どこか出かけた時「どこをまわるか相談しよう」といったけれど、友だちが行きたい所ばかりまわって私は「こっちにしない？」などと聞いてもごまかしてむしされた時。あとむりやり物を「ちょうだい」といわれた時
●友だちがやらなきゃいけないことをわたしにやらせて「ないしょだよ」といってきた
●つみをなすりつけられたり
●ジャンケンをしてないのにきめられる
●「いやだ」といっているのに、ひっついてきて自由をとられました

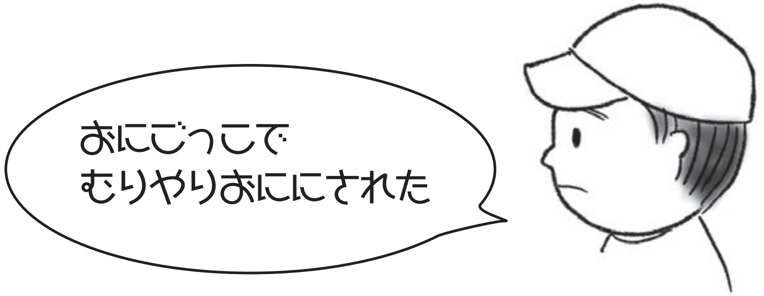
●中学校でノート検査のときにむりやりノートをとられた（ノートをうつされた）
●ＡくんとＢくんに「Ｃくんをいじめろ」と言われて「わかった」って言って走りながら「やっぱりいや」と言った（ちゃんと先生に話した）
●サッカーのしあいでせめたいのに、キーパーがうまいからってせめるポジションをとろうとしたら、みんなににらまれてキーパーになった
●イヤダといっても何回もいやなことをされた
●とびばこで立っていたらO君に「あし」をとられた
●友だちにてぶくろをかしてといわれたので、わたしはいやだといったら、ちぎれそうなくらいひっぱったり、むりやりとったりしようとしました
●むりやり高いレンガの上に上れと言われた
●スカートをめくられた時
●Ｈな友達が変なところをさわってくる
●ジャンケンでまけてランドセルを５人分持たされた
●ボールをあずかってと言ってぼくは「いいけどなくなっても知らないよ」と言って、なくして「自分が」無理やりべんしょうさせられた
●０Ｙにこきつかわれた
●言いたくないことをむりやり言わされた
●言うとおりにしないとおこる（キレる）人がいて「〜のほうにしようよ」と言われて「やだ」と言ったらけられた
●ともだちがとーってもわがままで、いうことをきいてくれない

●手紙の中を男の子に見られて、それいらい自分を見ると笑うこと
●何もしていないのにわざと私のせいにしてけられた時
●おともだちとあそんでいたときにかばんの中みせてといわれた
●２年生の時に友だちにドレ—あつかいされた
●いっしょに帰ろうと言われわたしは「今日はむりー」といったら「いっしょのみちじゃん」といわれむりやりかえらされる
●ぼくがゲームをしていたら「かしてかして」と言ってきて最終的には「早くかせよ」と言われた
●「日直だから」と言っていうことをきかされた（学校から出た後）
●友だちとあそんでいた時ボールがどこかにとんでいったので「お前がとれ」と言われた
●Ｈとだれかにぱんつとずぼんをなんにもしないのにぬがされた

家族に権利をとられた

●お兄ちゃんにテレビをけしてお兄ちゃんのすきなばんぐみにかえられた時
●まつりに行くときへやのそうじ、勉強をやれと言われたとき
●妹に「これからずーと、わたしのいうことをきけ」といわれた
●家で自分はやっていないのにかってに決められた
●お父さんにサイフから金をぬすまれた
●お姉ちゃんにパソコンをひとりじめされた
●おとうとに、くそやろうと言われた
●ごはんをくわせてくれませんです
●親にかしぬきされた。兄貴にめしぬきされた（かくれて食べた）
●お母さんにまんがをやぶかれたとき

●父親にお金を没収された。遊ぶ時間を決められた
●おかあさんが信じてくれなかったとき
●おかあさんがまちがったのにおかあさんにやつあたりされた
●妹がなくとすぐ私がやっていないのに私のせいにされてしまう
●お母さんにしゅくだいやんないとごはんをたべちゃダメといわれた時
●母に自分の金でもガンプラを買うなと言われた
●兄きに金をとられた時。父ちゃんにプラスチックのひもでしばられた時
●母に家を出てけといわれた時　●姉、妹におやつをとられたとき
●おやにおこられた時なぐられて自分のなっとくいくまでなぐられました
●おとうとに思いきりたたかれて、手がはれた時です
●家でジャンケンに勝ったのに兄ちゃんが負けたとうそをついてデザートを取られた
●お母さんがさいこんするときに「いやだ」と言えなくて、これからどうなるかわからなくて１人でベッドで泣いた。すごく悲しかった



●テスト一週間前にマンガやゲームをやってはいけない
●兄になぐられた時　●弟がかってにかみついてきた
●お父さんがさかあがりれんぞく５回しないとクリスマスプレゼントをあげないといった
●いもうとにけられたり、かみのけをひっぱられたとき、物をとられたとき
●あねにしんぶんとかをもってきてといわれた
●弟に「かえして」って言ってもかえしてくれなかったりした
●弟にくるまをあたまの上にあてられた
●姉とけんかして負けたとき、犬にかまれた
●おねえさんから死ねと言われて氷をなげられた
●ぼくだけテレビを見せてくれなかったり仕事をさせられる。だけど妹は何をしてもいい
●ねーちゃんのヒステリックをくらって、うでに一生残(のこ)るキズをつけられた
●皿洗(あら)いをしろと言われた　●とうさんにげんかんへ出された
●３才のころおきたときだれもいなかったとき
●とられたとは言わないけど、１人きりで夜るすばんをしているとき
●兄にバカとかいわれた時！（テストで！）
●兄に首を絞(し)められ 30 秒くらいしめあげられた時
●勝手に物事とかを決められたりした時
●お兄ちゃんに日記をやぶられた　●家の外に出されたとき
●親に遊びに行っちゃダメと言われた時
●兄さんにプロレスわざをかけられてしにそうだったとき
●おかあさんがガミガミおこってなぐられたとき

●お母さんにおこられてごはんをつくってくれなかった
●バスケットボールであそんでいたとき、そのボールをお兄ちゃんがよこどりした時です
●お姉ちゃんのめしつかいをやらされた時
●おじいちゃんにへやでるなといわれた
●おにいちゃんにへんなことをされた
●ぼくは正月にゲームをするとちゅうでおとうさんにけされた
●お母さんに「じめんにころがりなさい」といわれたよう
●おうちのてつだいをほとんどおしつけられたこと
●宿題などが終わってテレビを見てたらお兄ちゃんに消された

知らない人に権利(けんり)をとられた

●いずどの公園に行ったとき「かわいいからここにすわってよ」と言われた時
●まえ友だちとかえっていたら車にのっていたおじさんにへんなことをいわれてきた
●おじさんのちんちんさわる？ってきかれた
●学校の帰りに〇ちゃんと帰ってたらへんなひとがパンツ何色とか聞かれた
●電車の中で１人になった時駅のホームで……
●家の帰るときにむりやりやられた　●しらない人に金をとられた
●変(へん)なおじさんにアレをさわらされた
●おじさんに来てと言われた
●ママとでかけたときにしらない人にちゅうされたこと
●エレベーターの中で、それ以上(いじょう)は教えたくない

●おじさんにうでをつかまれそうになった
●だれか知らない人にからだをさわられたりした
●へんなおじさんにパンツをみられた
●エレベーターの中でちかんがあった
●「駅を教えて」と言われて教えてあげたら「ありがとう」と３回言いながらついてきて口をふさがれちゃった
●しらない人に「何年」や「あめあげるから来て」と言われた時
●しらないへんな人に写真をとられそうになった
●公園で友だちと遊んでいたら知らない人が変(へん)なことを聞いてきた
●帰ってきたとき、すれちがった人がいやなものをだしてきました
●学校の帰りスカートを知らない人に何も言わないでめくられた
●イトーヨーカドーで見知らぬおじさんに手をつかまれた
●おじいさんにお金くれと言われてとられた
●２年生の下校の時しらないおじいさんに「あめいる？」と、ふくろになんこもあめがはいっているものをさしだして「いらない」とことわったけど、ふあんなきもちになりました

●しらない人に追いかけられて住所をきかれた
●道を教えたら（知らない人）キスされた
●ふしんしゃにくびをつかまれた　●モデルにスカウトされた
●しらない人に写真をとられた時　●変な女の人に追いかけられた
●学校からかえる時男の人にさそわれてこわかった時近くにいたおばさんがたすけてくれたのでよかったです
●ソフトの帰りにへんなおじさんにちかんこういをされた時
●２年生の時１人で帰ってたら、しらない人にたたかれて、つれていかれそうになった
●大人(おとな)（男）に道を聞かれたら急に手をつかまれて（男の）体をさわらせられた
●低学年(ていがくねん)の時、公園で１人で遊んでたら、大人の男の人がやってきていきなり下半身はだかになった
●エレベーターでへんなとこを見せられた時
●マンションのエレベーターの中で中学生ぐらいの人に体をさわられたとき
●ライオンズガーデンでしらない人におはようといわれてむししたらばいくにのっていて、ばいくでおいかけてきた
●２年の時にローラーをやっていてかっこうをつけたおじさんがきてだっこをされていた　●あくしゅしてくださいといわれた
●兄のやきゅうの時、手を洗(あら)った時しらないへんな人にまたを見せられにげた
●マンションで変な男に体をさわられた

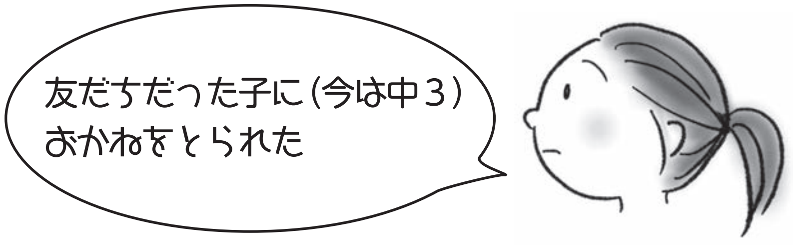
年上の人に権利をとられた

●大人になぐられたとき　●６年生に「ださー」っていわれたとき
●せんぱいに「きもい」とかぶじょくされた
●６年生がけんかをうってきたとき
●４、５年の人にカギをかくされた
●大学生にからまれてお金をとられた時
●休み時間に４年の人に「どけよガキ」などといわれた
●おともだちの家に行くとき５年生にじてんしゃかせといわれた
●二中の女子学生３人にいじめられました
●自転車でピアノに行く途中、中学生に「こら、待ちやがれ！」と言われた
●２年のとき中学生の人がついてきたからゆっくり行ったらうちまでさきまわりされた
●じどうかんでちゅうがくせいのおにいさんにボールをがんめんに当てられた、でもこわいから先生にいわなかった
●友だちの上級生に「万引きしろ」と言われた時
●中学生に毎日手をふまれた
●きんじょの６年生の子に今日はぜったいあそばないといけないのと言われました
●自分より年上の人にめいれいされたとき
●６年の人に持てと言われてランドセルをすてた
●６年にぶたれた　●去年度の６年生にケツをさわられた
●５年生に池に落とされた　●としうえのひとにやっつけられた
●４年生にカードをいっぱいぬすまれた
●中１ぐらいの人にあした 10,000 円もってこいっていわれました
●ビー玉をとられる、その時１年生で３年生にやられた
●小学校の音楽の先生にケガしていたところにおもいっきりなぐられた
●信じてた人（先生）にうらぎられた
●６年生にカラー公園でモーニングむすめのカードをよこせと言われた
●中学２年の人にさからうとなぐられるからいうことをきかなきゃだめ
●年上の人にむりやりカードをこうかんされた
●ちがう学校の５年のともだちにあってかばんをもてといわれたとき
●きんじょの３年生に「ぼくのとおりにしてね」といわれた
●オリエンテーリングの時に６年生にめがねくんといわれた
●６年がかってにあそびにはいってきてこわいことをいっぱいした
●おどかされた、いっぱい６ねんにからまれたことがある
●６年生の女の子にきている服がにあってねーぞと言われたり、デブとか言われたときです。あといっしょにともだちの家へ行って帰る時おいて行かれたときです

暴力で権利をとられた

●水てっぽうをかしてあげて、じぶんだけさんざんうたれた
●とびげりをされた　●友だちに首をしめられた
●となりの人からなにもしていないのに、顔、むね、足などをたたかれる　●すねをけられた。口の中に入れた水を足にかけられた
●他の人が皿を割ったのに自分のせいにされ、ちょっと来いと言われていきなりなぐられた

●自転車のタイヤのぶぶんで足をふまれた
●「おまえやれよ」などと、おどされたりたたかれたりされた
●学校来るときランドセルをひっくりかえされた
●おそわれたとき　　●Ｔにあしをもたれてぐるぐるまわされた
●あたまをさかさまにされてゆかにぶつけられた
●Ｋくんが、ぼくががっこうにくるのがおそいからって、ぼうりょくふるったのにほかの人のばあいは、ぼうりょくをふるわない
●友だちにゴミ室にとじこめられそうになった
●帰る時につねられた　　●かさでつつかれた
●目に砂を入れられた
●からてのとき、はじめてはいったとき、なんにもしてないのにけった
●友だちの言うことをすべて聞くこと。反対すると暴力をふるわれる
●自分がしゅくだいをやっているのに「きちんとやって」といわれ頭をたたかれた
●１年か２年生の時に男の子からかみをひっぱられたり頭をふでばこでなぐられたりした
●まあまあ仲の良い友だちの男の子がいて、ある女の子がやきもちをやいてフラフープでおいかけられたり木になわとびでむすばれました
●とびばこの中にとじこめられてわるぐちを言われた
●友だちになぐられてはなぢがでた　　●かいだんからおとされた
●トイレに呼び出されて暴力をふるわれた
●暴力やいじめをやられてこの学校に入りました
●「やめて」って言えなくて鼻をつままれたり
●ビービーダンテッポウをもっている人にやられた
●ようちえんのときほっぺつねられた



●アルコール（消毒用）かけられた
●前の学校の時にそのままねかせられて、のっかられた
●帰る時などランドセルを持ってきてって言われて今むりといったらぶたれた
●わざとボールをせなかに当てられた時
●男子に命令されて、いやだというとけってくる時と、何もしていないのにけってきてお前がわるいと言われた時

物やお金をとられた

●おかしをかって家に帰ろうと思ったら、友だちが来てちょうだいと言われてことわりきれなかったりした
●よもうとしてとった本をとられた　　●お金をパクられたとき
●ひったくりをされたことがある
●お兄ちゃんにクリスマスプレゼントをとられた
●友だちにかってにおりがみをとられたとき
●自分の大切なものを上級生に取られた
●仲のいい友だちをとられた
●勝手にバッグの中のものをもってかれた

●不良の人たちにお金をとられそうになった
●お金をなかなか返してもらえなかったりいろいろ
●１年の時バスカードをかりて返してくれなかった
●自分のティシュケースをとられて、とった人の名前がかかれていた
●おかしをまいかいとられたり、おかねをつかってときどきジュースをおごらされたりした
●貸した CD を返してもらえない
●びっくりマンシールをこうかんしようと言われてぼくは断ったんだけどしつこいからこうかんした
●自分の買ったものをとられそうになった
●サッカーボールをとられた　●仲よくしてた友達をとられたとき
●せっかく買ってきたアイスを横取りされた
●いつも友だちだった人に金をとられた（おこづかいが半分以上減った）
●ほいくえんの時に友だちにあそんでいたおもちゃを「かして」もいわないでとられた時
●あげたくないものをつよくちょうだいといわれて「だめ」といえなくてとられた
●ぼうしをとられて帰ろうとしたら、かごにあった
●オモチャをとられた　●スイミングでお金をぬきとられた
●カードこうかんでぜったいこうかんしろよといわれた
●じどうかんでボールをなげあってたら中学のお兄さんにボールをとられてやめてっていったら先生に言うなよっていわれたけど、言ったらじどうかんの先生が言いに来てくれたんだけど、今度言ったらぶっとばすって言われた
●「絶対に返すから」と言われてお金を貸したけど返ってこなくて言ってみても返ってこなかった
●６年の１学期のはじめぐらいにゲームとケイタイをとられたとき

教室で

●学校で何かすると「うわー」とか言ってきて学校にくるのがいやになった
●１年のときＫという人にいじめられていまもいじめられています
●友だちがいきなりオレをせめてきた
●友だちにしたじきを落とされた
●わたしは同じ学年のこにいやなことをされたことがあります。やりかえしてもやりかえされてしまいます。こまっています
●２年生の時にクラスの全員の女子にいじめられた
●男子と女子ではりあい、とめたときに「おまえはだまってろ！」と言われた時、指示されていやだった
●わたしがはなしてるのにほかの人としゃべられた
●友だちになかされた（11 回）　●友だちに付きまとわれた
●３年の時少しやりすぎな“からかい”をされた
●あそびたくもないのにあそばされる（いやといっても）
●低学年の時テストを「見せろ」って言われて、何も言い返せなかった
●M君に、ある秘密をクラス全員にばらされた
●きょうの中休みにばかにされた。友だちにカンチョーしたりおしりをさわったりしてた　●みんなにはめられた時
●やすみじかんとかにともだちにいじめられてるとき
●グループで出し物をするときに友だちに「あの子だけ１人にしてみ

んなでやめちゃお、それにいまやめたらうちらのグループにいれてあげるよ」と言われた時
●ぞうきんがけの時一番目がここからといって順番をぬかされた。給食の時うしろをむいただけで「ワーッ」と言われた
●新しい学年になり新しい友だちとせきがとなりになった時、よくその新しい友だちにいじめられた
●相手ばっかりしゃべってて自分はしゃべれなかった時

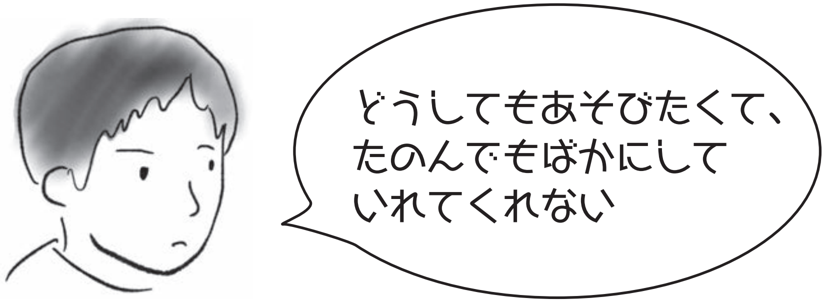
仲間はずれ、無視、シカトされて権利をとられた

●ほいくえんのころみんなからむしされた
●かってにグループからおしだされた
●あそぶときこのこはいれちゃだめといわれたし、わたしもそういわれたことがあった
●遊び道具を取りに行ってもどって来たら自分をおいてどっかに行っていた
● 4-3 の人がドッジボールかドッジおににいれてっていったらだめっていった　●人にいじめられたりみすてられたり
●私を見たらにげたりというのが２年生の時あった
●１年生の時にいっしょにいくこにおいてかれた
●友だちに「こっち来ないでなんであんたと遊ばなきゃならないの？」と言われた　●１人ねらいされた
●友だちに今までこうかんノートをしていた仲なのにいきなり仲間はずれにされ、ぼうりょくなど少しされひいきされた
●いじめられて中休みにあんまりあそびにさそわれなかった
●出し物でことわったら、ときどきむしされたりぶたれる

●いれてといったときに、その人が「あっち行こうよ」といっていってしまった

放課後

●バレエの練習の時いじめられた
●友だちに遠回りで家に帰らされた
●キックボクシングでしあいに負けてめちゃくちゃおこられた
●ことわったんだけれど、むりやり、その人の家までおくれといわれたことがある　●ならいごとで、へたにやってといわれた
●部活の時にいつも自己中な人が本当に私だけに言うんです。別にその人と友だちになりたいとは思わないんですけどー、なんか本当に傷ついちゃうんです
●スイミングでいじわるをする人がいっぱいいる
●あそびでやくそくしていたのに、その友だちがえーそうだったっけー、いっしょにあそばないよーっていわれた
●じゃんけんでかったのにランドセルをもたされた
●むりやりにもつをもたされた、もたなかったら友だちじゃないと言われた



持ち物を壊(こわ)された、隠(かく)された

●物をかくされた時、ふくをやぶかれた
●友だちにうわばきをかくされた　●ふでばこをこわされたとき
●１年生の時ランチョンマットをかくされた
●Ｓ君がえんぴつのしんをおった

知っている人に権利(けんり)をとられた

●顔見知りの人に下半身をさわられた
●知っている人にズボンをぬがされた時
●いとこのおにいちゃんにむりやりだっこされた

その他（安心、自信(じしん)をなくすようなことなど）

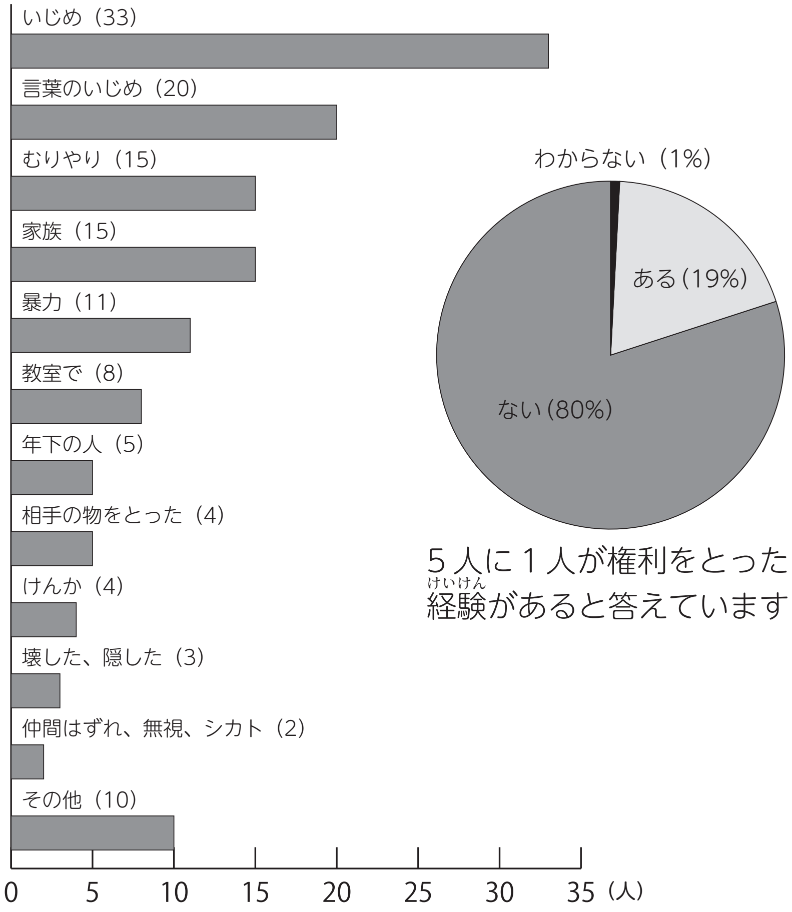
●いけにくつをおとされた　●だまされた　●差別(さべつ)
●やつあたりされた　●てすととかいいてんすうをとったから
●しょぼんとしてなにもいえない　●はりがみされた
●小学校のときにいじめにあった。でもそれがばかばかしくなって強い子になると思った
●相手がイライラしている時がほとんど
●日本に来てことばがわからなかったとき
●休みじかん２年生の時クラスのみんなでドッジボールをしていたらその人がボールをとってなげたりしてあたまとか友だちをぶつけたりして、わたしは先生にいったら、あうときにじてんしゃでひこうとしたり、にらんできたりされたことがある。だからあうときがこわい
●多すぎて数えきれない

●いじめられた時、死にたいと思った時　●生活中常(つね)にある
●がっこうでいやなことある、おうちである
●いやなことが「イヤだ！」と言えないこと
●あそびの時一人ねらいをされた時
●人間的(てき)にしてはいけない差別をされた時
●友だちを信じてたのにウソを言われてたとわかった時
●じぶんはなにもしてないのに人のやったことをおしつけられてかんちがいされたこと　●人に消しゴムをまどからなげられた時
●ドッジボールをしていてわたしがしゃがんだらうしろの友だちにボールが当たって、見てた友だちの一人が「あなたのせいであたっちゃったからこの人あてていいよ」とりょううでをおさえてきた
●４年生までいじめを受けていた　●先生におこられて立たされた時
●友だちにはめられた時　●じゅんばんをやぶられたとき
●そろばんのこたえあわせ　●カードをかんだりなめられたりした
●友だちがひみつを守ってくれなかったとき
●相手がぼくをにくんでいた時
●仲良(なかよ)しな友達(ともだち)と大事な約束(やくそく)をしていて、ほかの友だちが「今日遊ぼー」と言ってきたので「今日は無理(むり)」と言ったら、逆(ぎゃく)ギレしてきた
●自信のないことをやる時、テストでごうかく点をとれるかどうか
●ともだちにやなことをされてうごけなくなりました
●友だち（不明(ふめい)）に上ばきをかくされ、黒板、つくえにわるぐちをかかれた
●友だちに毎日いじめられる。先生にかいけつしてもらってもいじめがつづく
●悪い点を取っておこられたとき

●私が自分の意見を言っている時にふざけたり話している人がいる時
●学校でのできごとをインターネットに書かれた
●てうちでバントをしろっていわれた
●Ｕちゃんや M ちゃんたちにちょっとしたことで話し合いになって５対１になってけんりをとられた
●Ｓさんにすきな人をいわれました
●本当はちがうのにあの子が好きだろと言われた　●おどされた
●にらまれたり、こしょこしょ話をされている。じろじろみられる
●ようちえんのころなどで２～５人でいじめられていた
●Ｔくんがいきなりつよいカードちょうだいといってきた
●ごっこで〇〇さんが姉さんになりたいといったら XX さんがだめといってないちゃって先生にいった時
●友達の男の子と一緒に帰ってたら、知らないおばさんにおこられて家までついてこられた。悪いことはしてないのにおこられた。お母さんが冷静においはらってくれた
●一人でいる時、さびしい　●いやな手紙をもらった時
●全く気が合わない友だちとかかわったとき安心だけとられる
●足の速そうな人と競争するとき
●遊んでいい場所で遊んでいたらおこられた（自治会に）
●２たい１でいじめられたことがある。ずっとつよいくちょうでしゃべられたことがある
●友だちとかに何回もうらぎられたりして人と接することの自信がなくなってしまったり　●マンガをすてるといわれた
●男子におどされたりいやなことをされた
●相手がイライラしている時がほとんど
●友だちにトイレでだれだれさんのことすき？ときかれたとき
●自分が食べてないのにすてられる。メガネをぼうりょくでわられたのに、じぶんのせきにんになる
●いやだった。つらかった。さびしかった
●悪口とか、自由がなくてさびしい
●たいせつなデータをけされた。大事なつりどうぐをこわされた
●前の学校で男子にいじめられた
●ふしぜんなことがおきたときぼくのせいにされる
●体育のじゅぎょうでなかなかうまくいかなくて同じチームの人にせめられた

Q2 あなたは誰かの「３つの権利」をとったことがありますか？

「ある」と答えた人の内訳



５人に１人が権利をとった経験があると答えています

みんなの声

Q2 で「ある」と答えた人に、どんなふうに相手の権利をとったのか、どんな気持ちだったのか、相手は誰だったのか、時間や場所などについても答えてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

いじめで権利をとった

●自分が悪ふざけで相手を傷つけた
●いじわるをした（うそのラブレターを書いたり、ムシしたり）
●ちょっとふざけて相手をかなしめちゃったとき
●むかついていじめる　●なかせちゃった
●集団いじめした時
●いじめられたからやりかえした　●ともだちにかんちょうした
● K ちゃんのことをいじめてあやまった。わたしがわるい
●友達をちょっとからかっていじめた
● K くんにいじめをしたとき（40 回ぐらい）
●カードがとられた時その人をせめたから
● T 君にワンギリしまくった
●いじめろっていわれたからいじめちゃった
●やくそくやぶる　●あまりすきでないこがちかよってきたとき
●あいてがしっぱいしたとき　●イライラしたとき
●むきになったり、むしゃくしゃしてた時

●かんちがいして人をなかせて、ごめんもいわなかったこと

●つい「カッ」となってしまった時　●ゲームで１人ねらい

●Ｎさんを３対１でいじめてしまった時です

●友だちをなかせたらそうなっちゃうんだと思います

●友だちのまねをしてて、やめてと言われたのにずっとまねをしてしまったなど

●ブランコをいつまでもかわってくれないから

●ゲームのでんげんを切った　●わたしがいやなきぶんのとき

言葉のいじめで権利をとった

●自分で気づかないうちに人をきずつけることを言った

●わるくちを言ってしまったりいばってしまった

●むかついたときくそといった　●なじっちゃった

●Ａにたしざんがわからないときに、こんなかんたんなもんだいわからないのかって言っちゃった

●人にやっぱ無意識に悪口を言ってしまった

●やくそくをやぶられてけんかした、ことばでバカ、アホ、ドジをいってしまった

●キモイとか言った時がある　●自分がいばっていた時

●友だちの字を見てへたくそといってしまったとき

●どなってもんくをいったとき（※これをきいてとてもいけないとわかった）

●ちびっていった　●友だちに死ねっていった

●うざいとついいっちゃう　●友達にウソをついた時

●友達にいやなことを言ってしまった　●「ねたらたたく」といった

●冗談で言ったことなのにその人を本気にさせてしまった

●人のきずつくことを平気で言ってしまった

むりやり嫌がることをして権利をとった

●ともだちが「いや」と言ったことをむりやりやらせようとした

●Ｒくんをおどしたことがあります

●ブランコでじゅんばんをぬかした

●友だちが「やめて！　先生に言うよ！」と言われたけどぜんぜんやめてあげなかった

●いっしょにあそんでいた友だちのいけんをむししてじぶんかってにあそびを決めた時　●めいれいしちゃったりした

●１人の人をひいきにした時　●自分勝手な行動をしてこまらせてしまった

●友だちとあそんでいる時わがままを言って私の好きなあそびばっかりしてしまった　●物をむりやりかしてもらったとき

●お金をすこしちょうだいと言った時

●勝手に自分一人で決めたとき

家族の権利をとった

●妹とけんかしたとき　●妹に学校の帰りににもつをもたせた

●妹に「この家から出てけ！」と言った時、また「死ね」と言ったこと

●妹にいろんなことを（それもむずかしい）言っていやなことをおしつけた

●妹に何かとってこいっていったりした

●いもうとにイジワルをしたことがある　●いもうとにめいれいした

●弟を布団（ふとん）にとじこめてなぐった
●妹や弟をこきつかってしまった
●自分が姉だからって弟、妹をいじめたり……
●弟をさんざんいじめているから
●ママのお金をないしょでとった時
●いもうとに、おかしとかこうかんしてって言って、こっちのほうがうまいよってむりやりこうかんした
●弟が何かやろうと言った時に弟がもっともいやがることをじょうけんにした
●どこかに出かけるときに上着をお母さんに持たせせたこと

暴力（ぼうりょく）で権利（けんり）をとった

●人をなぐってけがをさせたこと　●かんじゃった
●すぐにぐずってたたいてしまう
●けんかでぼっこぼこにしたとき
●人が何にもしてないときキックしちゃったから
●けんかをしたときにおもいきりひっかいた
●ふくをつかんでもちあげたことがある
●男子が下品なことを言っていてけったりたたいたりしてしまった
●相手の人が僕（ぼく）のことを馬鹿（ばか）にするようなことを言ったのでなぐってしまった
●ようち園の時、同じクラスの子とケンカをしてでせなかにすなをいれた

教室で

●クラスでいじめがあった時私もまじってしまった
●友だちをみんなが少しいじめていたからいじめてしまった
●ふざけたり先生が話してる時にじぶんかってに話したりした
●小学校たんにんのじゅぎょうをまともにうけていない
●クラスでぶんたんしてやる時、きついことを言ってしまった
●人がべんきょうしてるのにじゃましちゃった
●自分たちがさわがしくてまわりに迷惑（めいわく）をかけた時

年下の人の権利をとった

●ムカツクがきをいじめた　●ていがくねんをいじめちゃった
●２才の子を泣かした時　●ようちえんの子をなぐってけとばした
●いとことあそんでいていとこが年下だからといって少しいばってしまった

相手の物をとった

●今はやっていて、すごくほしくてとってしまった
●Ｓ君のお金をとってしまったこと
●人の物をむりやりうばった時
●Ｒ君のマツボックリをとってかえしてあげなかったことがある

けんかで権利をとった

●けんかしてなかせてしまった
●ケンカやちょっとムカムカしているとき
●むかついたときにせめるとき　●ぶらんこでけんかになったこと

壊した、隠したことで権利をとった

●ともだちのくつかくしをした　●人のつくったものをこわした
●Ｓちゃんが作ったおりがみのとりをぐちゃぐちゃにしてしまった

仲間はずれ、無視、シカトで権利をとった

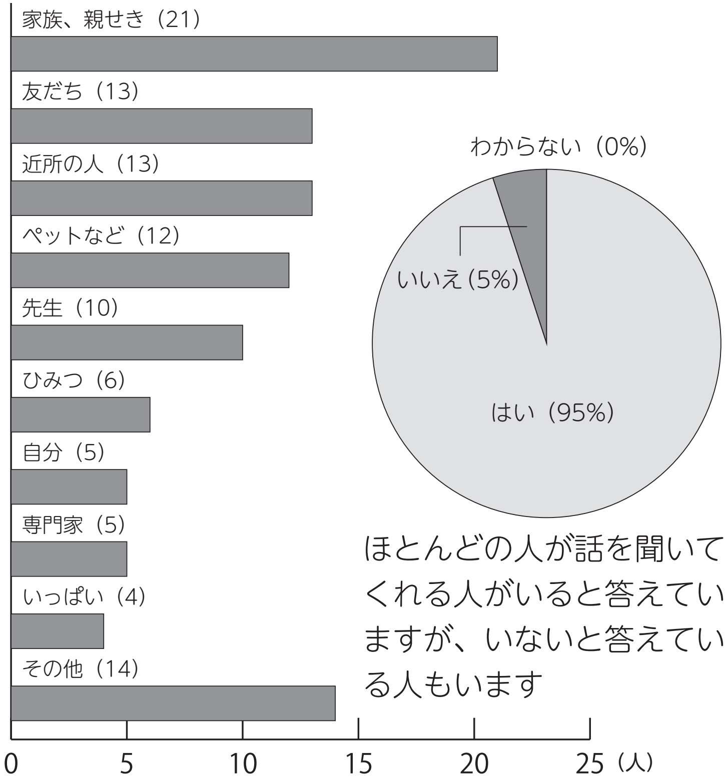
●友だちに「いっしょにあの子ムシしよう」といわれてことわれなくてムシしてしまった

その他

●遊び半分でいたずら　●学校の時です
●ちょっとふざけたとき
●タバコの時　●学校を休んでやくそくをまもれなかったとき
●ぶつかって「ごめんね」と言えなかったとき　●かけない‼
●自分がわるかったのにあやまらないで、いいわけをいってしまった
●あそびだと思いますけど人のいすをひいておとしたことがある
●よくわからないけど人生９年生きているから、わすれてるだけであるかもしれない

Q3 あなたは困ったことや嫌なことがあったとき、話を聞いてくれる人、信じてくれる人はいますか？

「はい」と答えた人の内訳



ほとんどの人が話を聞いてくれる人がいると答えていますが、いないと答えている人もいます

みんなの声

Q3 で、「はい」と答えた人に、話を聞いてくれる、信じてくれる人について自由に答えてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

家族、親せき

●お母さん　●お母さん（でも真剣に聞いてくれない）
●お母さんたちも信じてくれるけどはずかしいからいつも友だちにはなしています
●私のお母さん（けど話しにくいです）
●たぶん母親、父親は信じないから親せきや友達や犬かな→聞いてるかわからない
●信じてくれないかもしれないけどお母さん
●たまにお母さん　●やさしいお母さん
●親（８０％くらいのかくりつで）
●お父さん　●お父さん（１００％じゃない）
●やさしいおとうさん
●おじいちゃん　●天国にいるおじいちゃん　●おばあちゃん
●兄弟　●おねえちゃん（たまに聞いてくれないときもある）
●いとこ　●いとこのお母さん　●しんせつなしんせき
●血がつながってる人　●おねえちゃんのうんだあかちゃん

友だち

●しんゆう　●おさななじみ　●友だち数名
●メル友（学級友だち）
●私と同じ思いをしていて私の親友と言える人
●保育園の時からの友だち　●かれし
●友達　でも言えない……
●クラスの１番目の友だちと２番目の友だち　●友だちのみ
●友だち、少しだけお母さん

近所の人

●ピーポ君の家　●かんりにん　●友だちのおばさん
●うちのちかくの犬をつれているおばさん　●母の友だち
●ゆうびんきょくのおじさん　●やおやのおっちゃん
●お店のおばあさん　●おそばやさんのおじさん
●クリーニング屋さん　●だがしやのおばちゃん
●近所のおばさん　●ラーメン屋のおばさん

ペットなど

●犬　●くろべえ（ねこ）　●トカゲ　●イグアナ
●ハムスター　●ねこ　●うさぎ　●金魚
●うちのカメ　●犬のモモちゃん　●さぼてん　●人形

先生

●先生　●校長先生　●塾の先生　●バレエの先生
●ほけんの先生　●おけいこの先生　●野球のかんとく
●そろばんのせんせい　●しゅうじのせんせい　●やきゅうのコーチ

ひみつ

●ないしょ　●いえません　●おしえられない
●プライバシーのため言えません

自分

●ひとりごと　●自分の心　●心の中の自分
●ぼく（このアンケートをかいた人）え？　なぜって？　そりゃオレがせきにんとるんだよ

専門家

●けいかん　●そうだんじょとか　●ベビーシッターの人
●かんごふさん

いっぱい

●まあいろいろな人　●もういっぱいでかけません
● 10 人ぐらいいる

その他

●しんせつでやさしい人　●人間　●自分で信じられる人
● CAP の人　●うんわかったといってたすけてくれる人
●今日あった人たち　●たぶんいる
●せけんのみんな（せいじをきめる人）　●子どもひろばの人
●時と場合による　●ほとけさま　●神様
●たぶんだれか　●だいこくばしら

みんなの声

Q3で、「いいえ」と答えた人に、その理由を自由に答えてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

話さない

●はなせない　●いわん　●あまりいいません
●そうだんすることがない、したことがない　●ほとんど話さない
●内容による。でもいつもしない　●こまってない
●きいてくれない。ひどいよねー　●べつに……

いない

●いねーな　●まだいない　●信じてくれる人はほとんどいない
●だれもいない　●あまりいないかな～？　●だーれもいませーん

わからない

●しらない　●わすれた
●しらねー　●話したことないからわからない

その他

●母や父は信じてくれないときがある
●困ったことはとくにありません
●話を聞いてくれるけどあまり信じてくれない

ワークショップを見てわかったことや考えたこと

アンケートの最後に、ワークショップを見てわかったことや感想を書いてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

自分を守る

●ちゃんと「イヤ」と言わないといけないんだ。私は気が弱いためすぐおしつけられるとイヤでもやってしまいます。でも「イヤ」と言う
●自分の考えに自信を持って行動した方がいいんだなぁと思った
●こわがっていたらなにもできない！　友達や先生に協力すればもうこわくない！
●人は何を考えてるかわからないから注意する
●にげてもひきょうじゃないことがわかりました。ときどきいやなことをされたらわたしはいつもにげています
●ああ……こんなことやあんなことがあるんだなあ、でもちゃんときをつければぜったいだいじょうぶ！　そのことを心の中でずっとしんじようと思います
●じぶんだけでかんがえるだけじゃなく、ほかの人のいけんをきくことがわかりました
●何だか聞いて少し安心した。ほっともした。これで新たなたいさくゲッチュー！

●こまったことがあったら一人でかいけつしなきゃいけないとか、人にたよっちゃいけないと思ってたけど、人にそうだんしてかいけつしてもらってもわるいことじゃないとわかりました

●悩んでいることがあったら、すぐにだれかに相談した方がいいんだなと思った。それと「NO」といえる自分になりたい（イヤなことをされたら）

●みんなでいえばこわくない　●がまんしちゃだめ

●じぶんがわるいひとにあったことがあるから、そのほうほうがまなべてよかった

●人は自分で判断して選ぶこと。人などのいやがらせを受けた時でも自分の思いをはっきり言うこと

●断る勇気は必要。言う勇気は必要。にげる勇気は必要

●ぼくは１年生の時に４年生に「金だせ」とか「金もってこい」とか言われたことがあります、そういうときにはすぐに先生やかぞくにいうんだなと思いました

●はじめてきいたのでビックリ！　こんなことされたくないよー！でもたいしょほうがわかったから安心

●そうすればいいんだ、そうやればよかったんだときづきました。ことわるじしんをもてたらいいなとおもいました

●わたしは変な人みたいな人に友だちと一緒にいるときに声をかけられたことがあるので、どうすればいいのかよくわかりました

●自分も今悩んでることがあるからワークショップを見て友だちや親に話してみたいと思います

●今まで危険な目にあった時の対応の仕方がわからなくて困っていたけど、今日のワークショップを見て少し勇気がつきました。いざとなればしっかり対応します

●じつは私も１度クミンシセツでちかんをされたことがあります。でもこれからは先生におそわったことを守って、毎日毎日自分を守りがんばっていきたいと思います

●いやなことはやっぱりだれかに話した方がいいと思った。わたしはいやなことがあってもがまんする方でこれを聞いてよかった

●この勉強をしてためになった。このことをお母さんとかに話す

●４年生や５年生に何を言われてもいうことを聞かないということがわかりました。わたしはしんたいそうで５年生にリボンをとってきたりしていたのでこれからはいうことをきかないようにします

●いろいろなことがわかってよかったです。わたしはたまに、ゆうかいされるゆめをみます。そのときに、わたしはつかまるときと、にげるときがあります。ほんとうにあったときもにげてから、だれかにはなします。教えてくれてもっとわかってよかったです

●かばんをもてよなどの自分にとっていやなことがあったら、かならず「いや」といわないとやめてくれない（はっきり言う）ことがわかった

●初めてわかった事や、今までどういう時に使ったらいいかわからない事などが多かったのでこれからもやってほしい!!!

●あたまにたたきこめた

●私は今日CAPをして、なにかいやなことがあったら、じしんをもってたすけをよんだり、にげたりすることがわかりました。わたしはいつもじしんがないので、これからはじしんをもちたいです

●自分のけんりというのがわかった。じぶんがやりたくないものをいやだっとちゃんといったら気持ちが少しラクになることがわかりました

●生きるためにはいろいろなことをしなくちゃいけないんだなと思いました

●ぼくは先週少しこわい人に出会って、そのことが少し頭に残っていましたが､これを見てすっきりしました。今度からこわい人に出会ってもきちんとたいしょしようと思います

●このじゅぎょうがなかったら、ぜったいひどいめにあった

●こまったことなどどうすればいいかわかりました。ぼくを大好きなおばあちゃんになんでもそうだんしようと思いました。ぼくのもらった「わるぐちはイカんなぁ」をあいことばにしてさらに今日やったことをいかしたいです

●知らない人との会話やたいしょほうなど、すごくわかりやすくてていねいにかいせつしてくれたので、今度は自分も小さい子に教えてあげたいです

●わたしはいつも友だちに何か言われたら、そのとおりにしてしまっていたけど、どうやってことわればいいかよくわかりました。あとわたしは３年生の時ふしんしゃにあったことがあり、そのときちゃんとたすけをよんだりできなかったので、どうやってたいおうしたらいいかわかりました

●なやんでるときだったのでかいけつしました！

●自分がいやなことをされてもいろいろな方法で自分を安心させられることがわかりました。ともだちをたすけることができることもわかりました

●子どもはまだ小さいけれどこんなに自分をまもるほうほうがあるんだな！と思いました。ありがとうございました!!　いいおべんきょうになりました!!

●自分を守る勇気がないと自分はまもれない

●せんぱいにはこわくてさからえないけど、ことわる方法がわかったので､もしやられたらその方法でことわりたいと思います。M さん、J さんありがとうございました！

●このじゅぎょうをやった夜に、もしだれかにつれていかれそうになったらどうするかとかいろいろなことを、おうちの人と話し合った

●本当に本当にあるからすごく身近に感じました。ことわりかたがたくさんでびっくりした

●「けんり」って、とても大事なものだなと思いました。私は前にももう 20 回以上悪口を言われたことがあってうまく流せないとエスカレートするのでこわい思いをしたことがあります。なので今回はとても勉強しました

●ぼくは１回命をとられそうになりました。でもイヤとかいうと自分の命やけんりを守ることができるってわかりました

いじめ

●もしいじめられた場合だれかそのことを打ち明けられる人を探し、その人に話すことが大切だということがわかった。いじめられる方に原因がないということにすごく共感できた

●いじめはいじめられる子が「あきらめない心」を持つ事が大切という点が自分の中で新たな考えになった

●わたしはワークショップを見てだれかにいじめられたら、そういうふうににげればいいんだなぁと思いました。あと、いやなことは、はっきりいやといえばいいんだよね。わたしもたまにはいじめられるけど、なにもいえないままじゃだめだということがわかりました

●ぼくはいじわるをされたことがいっぱいあります。でもこのワークショップでじしんをとりもどしてよかったです

●いくら（ムスーッ）て思ってもブットバシチャいけないとわかった

●私のクラスでは「いじめ」が多いので本当に嫌です。その子がかわいそうでこっちまでつらくなります。やる人はバカだと思います。いいクラスになりたいです。そんなことをわかったような気がします

●いじめられたりした時になにも言えなかったら自分がわるいのかな？と思ってたけど、わるくないってわかったから少し自信がもてた

●にげてもカッコわるくないということがわかってよかったです

●イヤなことがあってもぜったいにそこから抜け出すことができることがわかった

●げきの時いっしょにことわって、いじめっこってよわいんだなぁと思いました。いじめっ子はじぶんをつよく見せるためにいじめているような気がしました

●これからいじめやいやがらせがあってもことわることが苦手な自分もことわる方法があってよかった

●これをきっかけにいじめがなくなるといいなと思いました

●やっている人とやられている人のきもちはせいはんたい。ワークショップの事はすべてわかりました

●友だちをいじめたりしたら、あとでいやな思いをするのは相手もだけど、一番は自分っていうのがわかった

●ワークショップを見てぼくはひっこしてくるまえはすごくいじめられたりめいれいされてすごくいやでした。でもこの学校にきてこれからがだんだんたのしくなってきました

●いろいろなにげかたでにげられることをしって、やられた人もかなしいけど、もしかしたらやったほうもかなしくなるのではないか、そう思った

今までの自分

●ワークショップで、今まではぜーんぜん相談できなかったのが相談できるようになりました。アリガトーございました

●いやなことがあっていつもだまっていたから、先生とかにいったらいいんだな

●ぼく前の学校でなかまはずれだったから、こんどいれてもらおうとおもいました

●今までは人の言いなりになってしまうかもしれなかったけど、今日のことでちゃんと断れるようになったと思う

●自分は今まで人に対して考えたことが少なかったのでとてもためになりました

●さいしょは気がよわくておくびょうだったけど､げきを見てから「あんしん」「じしん」「じゆう」をもてました

●わたしはいつも家の人にいってないからこれからきをつける

●いやなことがあったときにだれかにいうことがＣＡＰをする前はなかったけど今はす～っご～くある！

●私は「イヤ」っていう言葉が言えません。今私はいやな事をされています。今日やったげきやお話は全部されています

●信じていた友達とかにも裏切られることもあるけど、その人をにくんではいけないんだなぁと思いました

●昔いっしょうけんめいためたお金を盗まれたことがあったのですが、今日のことで何か少し前は「許さない！」と思ってたけど、今は「まあいいや」と思えました

●わたしはいつもぼうりょくなので、これをみてぼうりょくはやめたいとおもいます

●友だちのけんりをとった時、とてもつらかった。人の気持ちを考えるともうやらないという気持ちがあります。これからもがんばってください

●はっきり自分の意見を言った方がいいんだなぁーと思った、でもやっぱり自分は言えないと思った

●考え方をフルに出さないといけないというか、人との考えを変えた方が良いかもしれないと思った。げきがたのしいゾー！

●私はだれでも信じてくれると思っていたけど信じてくれない人もいるんだなと思った

●まえはいやなことがあってもひみつにしていたことがあったので、こんどからはいやなことなどがあってもちゃんとはなして友だちにもいやなことをやらないようにしたいです

●ぼくは権利などあまり意識しないでいじめたりいじめられたりしていたけど、これからは今までの行動を見直したいです

●ぼくは何でもやられたらやり返すだったけど親や先生に相談することも大事だと思った

●私がときどきしてしまうことも悪いことの１つだとわかった！

●わたしも知らない人にいやなことをされた時とてもこわくて、もう少し早く CAP に参加していたらと思いました。とてもいまはきもちがらくになっています。ありがとうございました

●前からわかっていたことだけどさらにわかった、私はストーカーみたいなのをされたことがあったから、今日やられてた人のきもちがわかった

●友だちとは仲良く明るくつきあわなくてはいけないことがわかった、この人は「～だ」とかいろいろ思うこともあるけど、なにもかもみんな自分が弱いわけではない！と思った

●わたしはいっかいちかんにあって、こんどあったらどうしようとおもっていましたけど、きょうのをみてどうすればいいかわかりました

●弟や妹を腹が立っただけで、なぐったりしかったりするのはやめようと思った

●今までずーと弟の「3 つのけんり」をとっていた

●わるいことが１回あってそれがずっと言えなくてずっとなやんでいたんですけど１週間たってやっと言えました。その時つらかったのがきえていいことがふえた。よかったです

●私はワークショップを見て考えたことは、傷ついている人に一言も声をかけないでムシしてしまったことがあったので、これからは声をかけてなぐさめてあげようと思います

●今までは自分で相手のことを考えず何度も同じことをくりかえしてしまったのでこれからは考えてみたい

●３つの権利を見て、それが権利ならぼくはいっぱいとられたことがあります。そういうことがなくなるようにしたいです

●信じてくれる人はどれくらいいますかと聞かれて考えるとたくさんいて安心しました

●ぼくはこれからだれにもけんかしたくないとおもった。でもいっぱいけんかしたことがあります

●わたしはいつも手をあげてもきんちょうするので、今日の３つのけんりでどうどうとやろうと思う。セーフティ教室をやってよかったです

●ワークショップを見てきずつけちゃったかなぁなどを気づけました

●わたしは人に何かを話すのが少しにがてだったけどＣＡＰのじゅぎょうをうけたら「これからは何かあったら人に話そう！」と思いました。あと、せかいには３つのけんりをとってしまう人がいなくなるといいです

●しんじてくれる人がいてうれしい。人のけんりをとってしまってどうしよう。こんどからきをつけよう

●いやなことはしてはいけない。それは知っていた。でも気づかない間に自分がしている。自分で反省した会だった。こんどから気をつけようとするきもちになった（自分もされた）

●じぶんはちょっとじこちゅーかも。いいしごとをしている人だな

●１人でずっとがまんしていると心の中でもいやな気持ちのままなので、誰でもいいから相談することが大事なことだとわかりました。本当にそういうことがあったので（自分が）気をつけていきたいです

●たまに困ったことがあっても親などにつたえられなかったけど、これからはつたえられたらいいなと思いました

●これをやる前にはあまりそういうことをやられている人を見つけてもあまり気にしなかったけど気にするようになった

●すごくいじわるだったなとわかりました

●自分はあんしんできているのか考えた

●僕自身、人権をとったかもしれない。しないようにする

これからの自分

●自分はわるい方にすすむんじゃなくていいほうにすすむ

●気持ちが変わったような気がする

●あれを見て自分に自信がついた

●自分のいのちがどれだけたいせつかわかった　　●強くなった

●しらなかったときとしってたときと、ぜんぜんちがう

●もしもの時に信じてくれて協力してくれる人を沢山さがしていきたいし、人の相談にものれる人になりたいと思います

●もっとみんなのことを考えたほうがいいことがわかりました。もっと人にやさしくしたいです

●これからなにか言われてもちゃんとたいこうしよう。ためこんだことはなるべくいやなことじゃなければ出そう

●私と思ったことが同じだった。人のことをばかにしたりしちゃいけない

●けんりをうばっていく人やうばわれていく人のきもちがわかりました。いやがらせをされたらすぐ友だち、お母さんに話すということがわかった

●お母さんとかにもずっといわれてたけど、ちゃんとイヤって言えるようになりたいです。私は１回だけそういうことあるけど、これからはもっときをつけます

●ワークショップでぼくはなんとなく自信がわいてきた。あと勇気もわいてきた　　●友だち大事に、友だち子分じゃない

●こまったときや、いやなことをされたときこれをおもいだせばいいとおもいます

●これからは人とびょうどうに生きていこうと思う

●いいたいことがいえそう　　●自分がつよくなれたきがします

●人なら人でじゆうにやっていけばいいとはじめてしった。あとこわいことをからだにためておくとわるいとわかりました

●本当にわらいごとじゃなくてこわいことだと思ったし、これから自分がどうするかによりますね

●こわいことがなくなった　　●ちょっと自分のことをしんぱいした

●変なことをされたら言うということが大事だと思いました。もし友だちに「何をされた」などと相談されたらきちんと聞いてあげることも大事だと思いました。自分の意見をしっかり持って、いやなものはいやと言えるようにしたいと思いました

●いろいろしてはいけないことや、やっていいことがわかった。さいごに思ったことはわるいおとなになりたくないってことです

●同じような年の人がふつうにある、いやなことをいつも聞けるような人になりたいと思った。人の相談をまじめに聞いてあげたいと思った

●今の世の中は危ないから自分たちで変えていこうと思った

●権利は大事。自分が３つの権利をとられた時、大人の人に相談できるか心配です。やられたことを信じてもらえなかったら、あきらめてしまうかもしれません

●３つのけんりがわかった。これから、まっすぐに生きたいと思った

●はじめてけんりがとてもたいせつで、それを自分で考えてまもらなきゃいけないのでたいへんだと思いました

●こころがたいせつにできるようになった

●人からけんりをとったら、自分もけんりをうばわれてしまう。いつ

もだれかがたすけてくれるとはかぎらないから、べんきょうになった。みんなをたすけたいと思った

●いままでわからなかったことをげきやことばでひょうげんしてくれてわかりやすかったので、げきやことばでひょうげんしてくれたことをしっかりあたまにしみこませて、つぎにいかします

●これからはしあわせにいきることをがんばっていく

●人の心はとても大切で知らないうちに友だちをきずつけてしまったりしないように、言われた人の気持ちを考えて言って、とられた時は（3つのけんり）勇気を出して「やめて」と言いたいです

●じぶんでなんとかしなきゃいけないことがわかった

●いろいろな人をたすけたりするのも命の1つだと思いました。今度はぼくも人の命を守ってみたいです

●わるいことをしたら自分もきずつくし、あいてもきずつくからわるいことはしないようにします

●じぶんのいきるということがわかってかんどうした

●私はげきや話を聞いて、いい話というかじゅぎょうはいいじゅぎょうでした。人形にいやなことがあったらいうのですが、すこしきもちがやすらぎます。今日はありがとうございました

●人は人で、自分は自分なんだなと思いました

●初めて幸せに生きないといけないことがわかって、とても楽しかったです

劇

●げきがすごかった。最初はきむずかしいかなぁと思ったけどそうじゃなかった。指された時はどうしようと思ったけど楽しかった。

話がむずかしくなくてよかった（むずかしかったら寝てますネ）またよかったらきてください

●さいしょのげきははっきりしていました。とてもえらいげきでした。まじめなげきでした

●げきでやるとどうしたらいいかとてもよくわかりました。親に話してみたり、友達に言ってよぼうし、なくなることができると思いました

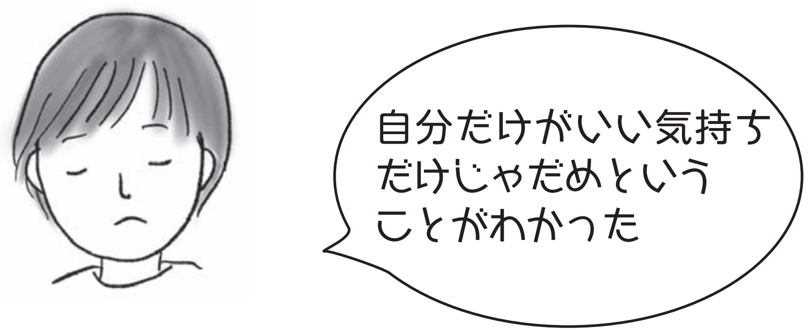
●本当はむずかしくてこわいことを、かんたんにおもしろくげきであらわしてくれて、とてもよくわかったのでよかった

●わたしはげきを見てほっとしました。いやなことをされたらどんなことをやるのかわかったのでよかったです

●げきはおもしろかった。げきで苦しみがわかった（いやがっている人の）

●げきをやった時に前に出てやったのが楽しかった（思ったよりも！）わかりやすかった

●わたしがもしいやなことがあって、きいてくれる人がいなかったら、ずっとふあんばっかりだったかもしれません。げきをみてよくわかりました



●びびった。マジびびった。えんぎがすげーうまかった

●私はじっさいにまえに出てやってみたら年上の人に何かを言うことは勇気がいることだと思いました　●びびりましたどす

●いろいろなげきをしてくれたり、しつもんの人になったりしていて、こんなにかんがえてくれてすごくありがたいなと思いました

●ゲキに子どもを入れていたので、みんながどうすればいいか（とくにゲキに入った人）体で感じていてわかりやすかった

●げきを見ていてＭ君がMOちゃんとＨ君をつれて、あの子といっしょに言いに来てくれない？と言った時ゆうきがあるな～と思いました

●友だちもいやなきもちをしているんだなと思いました。わたしもやられた時はすごくいやでした。そのきもちがさっきのげきでわかりました。ほんとうにありがとうございました。またおしえてください

●げきでみんなにわかるように、いいれいのげきとわるいれいのげきをやっていてとてもわかりやすかった

●わたしがなやんでいたことをげきで見せてもらってわかりました

●ふつうの授業とかでは教えないことを聞いてよかった。知ってよかった。げきでやったからわかりやすかった

●えんぎをみて、まるでほんとうのことがここでおこっているようにおもえるほどのすごさでした。まるで役者さんみたいです。とてもわかりやすく、なるほどと思えることがたくさん出てきました。ありがとうございました

●一つ一つの大事なことをげきにしてくれて、げきだとみているだけで「こんな気持ちだろうな」というのを考えられたし、わかりやす

かったです！

●言葉ではよくわからなかったけどげきを見て細かくわかりました。クラスの人たちもみんな大きくえんぎしていたので、おもしろかったのもあったけれど、本当の子どもがやると、自分も気持ちがわかるようでした

●すこしのどうぐでげきができるとは思わなかった。話のしかたがいいなあと思いました

●げきがうまかった、つたえようとしていることがわかりやすかった

●げきを見た後にやりたくなってきたから、やればよかったと思いました

●げきがあってとてもわかりやすかった。げきで伝わることは多くても、言葉で伝えることは少ないと思うからこのままげきをつづけてくれるといいなと思いました

●げきがあったので言ってることがよくわかった。そこでとっても命って大切だなーと考えました

●げきはおもしろいけど本当にあった話や自分たちみんなが考えたりするのがよかったです。げきがおもしろいし、たのしかったけど時間がもうちょっとあればいい

●げきが本格的で楽しかった。さいごに配ったカードがかわいかった

わかったこと、考えたこと

●みんながぼくをしんじてくれるひとがあまりにもいなかったので、それが悲しいなと思いました

●これからは悪いことをされても大丈夫になった。もっともっと知りたかったけどしょうがないと思った。あーゆーことはぼくはできない

なって思った。ぼくにはボランティアはあまり向いていないと思った

●ふつうにわかったけどでもぜんぶはわからん！

●人間関係は難しい　　●もっとあんぜんなよのなかにしてほしい

●親が信じてくれなくても他の大人をたよりにしてもいいんだなと思いました

●いつでもいやな人にはイヤダとか言っていいことがわかってなんか安心した。でも友だちとかはきっと自分もまきぞえになると思っているだろうからなかなか言えない

●誰にでも３つの権利がある事はわかった。誰にでも話せるような悩みなんかもっていないし、誰かがなぐさめてくれるなんていうことは期待したくない。自分のことは自分が一番よくわかってるし、でも私は誰かの３つの権利は絶対取りたくないと思う

●３つの権利は大きいけれど、取るのはかんたんだ。そして取られたら取りもどすのはむずかしい。それを友だちとやしないあうことが大切だとわかりました

●先生とか親に言ったりすることは、ちくりまじゃないことがわかった

●３年２組は口ゲンカがひどいから先生に言ったりしてもいいことなどがわかった。いろいろわかってよかったよ！

●日本はいろいろあるなーと思った

●自由じゃないときのせつなさ

●いやなことをするなんてバカみたいだと思います

●世の中ぶっそうになってるなあと思いました

●私は最初は欠席としたけど出席してよかったです！　とってもたのしかったです！　自分のためになるはなしでした！　長いと言ったけど

ぜんぜん長くありませんでした！（長くかんじられない）また見たいです！

●友だちがいるのといないのではずいぶんちがうなあ

●ワークショップは自分のみをまもるためにあるのか。ワークショップは自分をまもるためだけじゃなくて考えるのか

●世界のことがわかった　　●これはたいせつだ‼

●ワークショップは人生に大切なことだと思った

●基本的なことだけどとても勉強になりました。また話を聞きたいなぁーと思いました

●友達のひとことや、親のやさしさで勇気がいるひとことがいえるようになるって、人とのしんらいがなくちゃできないんだな～！

●やっぱり人のいやがることはやらないようにとおもった。うちのクラスに自分のことだけ考えて人にうそやいやがらせをしている子がいる。やっぱりそういうところはなおしてもらいたいと思う

●この話で世界の人がみんないい人になったらうれしい

●変なことを言われたら絶対に断るとわかった。それにやられた人は悪くないと言われてわかんないけどほっとした

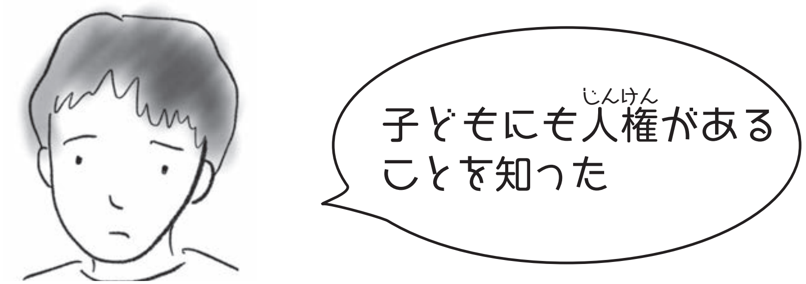
●世の中にはひでーやつがいると思った

●ワークショップは心のきずについてはなしあうんだなあと思いました

●お母さんから言われたことがてきせつなことでよかった

●前、おかあさんがお金をぬすまれたことがあるのでおかあさんにいっておきます

●いやなことをされた時に大人がみんなその話を信じてくれればいいなと思った



●親ががんばってかせいだお金を友だちにあげてはいけない

●あのような人がいるとしってかなしい

●自分がぶじに生まれて安心した　●いいことばかりではない

●子どもはいろいろな法律や人たちに守られていることや、危険にさらされるかがわかりました。地域の人にも自覚してもらえるようになるといい

●いやなことをされて先生に言う時は友だちにたのんでいっしょにいってもらう、それは思いませんでした

●友だちがいればいろんなことができるんだなーと思った

●やっぱりこういうようなことはおきてしまうのかと思った

●ワカッタコト、げきが面白かった。考えたこと、人間は生きる

●子どもがこんなにだいじにされているのかと思った

●Ｊさんといっしょに６年生に話した時、とてもびくびくしてしまったけど、たとえそれだけでも相手の人が安心するなら、うれしいなぁと思いました

●わたしは、だれにでもしあわせにいきていけるのをはじめて知りました。今までいきている間にたくさんしあわせがありました

●考えたこと、わるいことをするとした人にもどってくる

●「あんしん」「じしん」「じゆう」をとられたことがなんどもあるのでワークショップがやくにたつといいです。わたしのお母さんが子どものとき２回もひがいにあったのですごくわかりやすかったです

●みんなはいやなことは一つもないわけじゃないんですね。また、困ったときは先生やともだち、かぞくにそうだんします

●人のことをさしずした時、相手はいやだし自分もいやだったんじゃないかなと思いました

子どもの権利

●子どもの権利は常に守られていなくてはいけないんだなと思った

●子どもでもちゃんとした一人の人間としての権利があることが本を読むよりもよくわかった。知らず知らずのうち人の権利をおかしてしまっているかもしれないのがこわい

●人にけんりがあったなんてわかりませんでした。ひとをきずつけたり人のけんりをうばってはいけないとくわしくわかりました。「これからは人をきずつけたりしない」と心の中でふかく思いました

●ぼくはこの３つの権利をとられたりとったりは絶対にしません。そんなことをしたら、じぶんがばかだとこうかいすることもありそうだからです

●ヒトラーのユダヤ人虐殺は人の権利を全然考えてなくてひどいと思った。一人一人を大切にしていかなきゃいけないということがわかった

●わたしたちは（人間）けんりがないといきられない

●けんりはだれにでもあることがわかった、私たち子どもでも自由が

あっていいんだなぁとわかった
●すべての人は平等で、話しあえる仲間もいる
●みんなできる事や考える事をする権利がある事を知りました
●だれにでもけんりがあるから、いじめたり差別してはいけないということがわかった
●いくらその人がきらいだからといって、いじめてそのけんりをとることはしてはいけないということがわかった
●権利をとる事は相手にはぜったいきずつけるけど、内心自分もきずつくこと　●みんなのあんしんをねがってる
●いやな事をすることは、けんりをとる事と言っていたけど、そのいやなことをする人は、自分のけんりがない人なのかなと思いました
●３つの権利はとても短くて簡単な言葉だけど、その中には生きていくためにとても大切なことが隠れているってことがよくわかりました
●じゆう、けんりとかはゆうきをだせばでてくる物なんですね
●やっぱり自分の権利は「イヤ」と言えることなど、自分で守らなければいけないんだなぁと思いました。でもその３つの権利を奪う人がいることは残念です
●暴力も人権につながる事がわかりました。今まで人権について考えたことがなかったのでワークショップに参加できてよかったです。基本的人権はとても大切だと思った
●げきを見てわかりやすかったんですけど、権利をとられることってこんなに困ることなんだなと思いました。相談できる友達がいてとても幸せです
●権利は大切なもので、それをお互いに守り合うことが大切（重要）

なものなのかなぁ……と思った。これから先自分で自分の権利を守って他人の権利をとらない、まもる手伝いをしていきたい。もちろん相談にもできるだけのってあげたいし１人が心細いときはつきそってあげることも大切だと思う。自分にもそんな人ができるように自分をみがく努力もしよう！
●けんりをたいせつにそだてたいです
●誰にでも権利はあるというけど、やっぱり親とか目上の人はいばったりしていやだなと思った
●一人ひとりに権利があって地球にたった一人しかいないんだと思った
●人は権利がある事をたくさん習った、今までになぐったりしていたことがあったけど今度から気をつけたい
●世界中がいい人だらけになる事をねがう
●基本的人権について少しだけわかったが、基本的人権以外の「権利」を調べてみたい
●他人の権利をうばってはいけない事と自分の権利をうばわれないようにする　●自由とかがあるってしらなかった
●けんりは生きることにもつながっていることがわかった‼
●けんりをとられるとすごくいやな気持ちになって、けんりをとった人をにくみたくなる
●生まれてきた人間全てに基本的人権があり自由に生活できるということがわかった。自分が他人にされていたことが立派な犯罪であり、３つの権利をとられていたんだなと気が付きました
●バカにされたとき、権利をうばわれたとき、友だちや家族、仲間がいてくれるのはありがたい！　もしわたしがけんりをうばっていたら「ごめんなさい」という気持ちになった

●３つのけんりをとらないようにして、世界中のみんながなかよくしてくれたらいいです

●生まれた時からみんな権利をもっているということは、ぎゃくたいとかはやってはいけないことだと考えました

●権利をうばわれたことはあまりなかったから、うばわれた人の気持ちをそんなに感じていなかったが、今日の話を聞いてうばわれる人がどれだけこわいか、悲しいかが改めてわかった

●人間のけんりがとられると、まるでアフリカからつれてこられたどれいのようだなと思いました

●「安心・自信・自由」がある人は強い心を持った人だと思います。「３つの権利」がない人もいつかはそのいじめた人に打ち勝てると思います

●ふざけても人のけんりをとってはだめとわかった

●どんな時に権利がとられるのかや、そういう場合はどうすれば良いのかがげきになっていたのでとてもわかりやすかった。一番わかったのは良いひみつとわるいひみつのことです

●安心、自信、自由！！ワークショップを見てわたしはだれにでもしあわせに生きるけんりがあることを知りました。せかいにいる安心、自信、自由をとられた子たちに太陽をとどけてあげたいです！

●私は人には３つの権利があることを初めて知りました。特に３つの権利の中でも「自由」をよく考えてみました。そしたら１つ思ったことがありました。自由とは自分の意見をとおすことではなく、自分の意見を自分にとおすことだな

●けんりはこんなに大切だと思っていませんでした。けんりは自分の体にあるから大切なんですね

●もっと世界がへいわになってほしいなと思いました（シリアなど）

●けんりとは、今までちがう意味でとられていたけど、今日のじゅぎょうをして考えがかわりました。今日やったこのじゅぎょうをいかして学校生活やいろんなところでがんばります！　今日のじゅぎょうはとても楽しかったです!!

●自分には「幸せに生きる権利」がないのかなと思っていたので、誰にでも「権利」があることを聞いてホッとした

●わたしはこういうものにはちゅういしなくちゃあと思って、あんしん、じしん、じゆうを心のはこにしまっておきました

●自由をとるの反対

疑問、質問

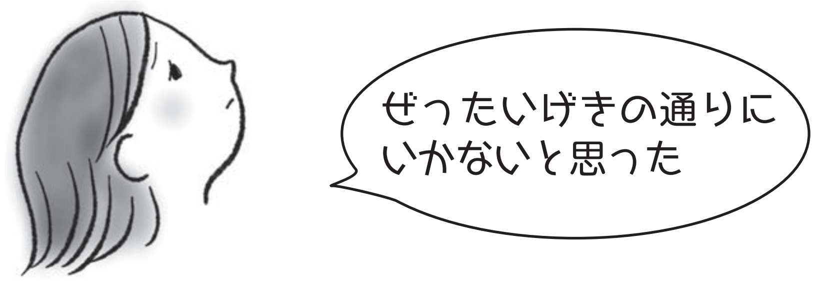
●相談する友達はどうやってつくるのかな

●悩みは相談すれば（友だちに）かいけつするのかな？

●自分の将来がわかんなくなってきた

●じゃ死ぬけんりもあるんですか

●手を挙げた人しか指さないって言ったのに、指名してくれなかった。キレイ事ばっかり、もっと楽しくやろうぜ



●あんまわからん。３つの権利はわかったけどげきがわからん。ぜったい、じっせんでは使えない

●みんながよくなればＣＡＰはなくなりますか？

●ある人から聞いた話で暴力する人はやっぱり悪いとおもいます。でもイジメ（暴力）される人の方も何か悪いことがあるんじゃないかって……でも自分に自信を持てばイジメ（暴力）は消えていくんじゃないでしょうか？

●何でも権利、権利と言ってこじつけて最初からあるものまで権利といって空しくないですか？

●けんりってほんとうにぜんいんにあるのかな？

●３つの権利なんてあったらこの世は楽に暮らせると思う。３つの権利というのは絶対にありえないと思う

●何でいじめはあるのか？

●１つ目の劇の時断るのはよいと思いましたけど、けいさつにいう、こうばんにいく、それはなにかおどしに感じました。いうことができませんでしたが、このアンケートで書かせていただいたので１つ不安が消えました

●相談したりことわったりにげたりしても、そのばしかのがれられないと思った

●けんりのことはわかった。けど、さいきんなんとなく母が兄のことばかりやさしくする気がして、３つのけんりのことが心配になった

●ワークショップの「ショップ」って日本語で言うと店だけど、「これ店？」と思いました

●悪いことをしている人はどんな気持ちでやっているのか。それをやってうれしいのか。何らかのきっかけで悪いことをしている、そ

のきっかけで人を実験台にしている

●カツアゲされたお金を返してもらわなければ意味がない。しかもその日はみのがしてもらえても、次の日はカツアゲされると思った

●つまんなかった

●110番にどんなときもでんわしていいんですか

●八つ当たりはどうなるのか　　●親が信じてくれないときもある

●ワークショップを見ていろんな人にきかされたこととちがって勉強になりました

●私の周りには信じられる大人はいない。先生も結局は自分のことしか考えていない。私の親もうざいことばかりして全然役に立っていない。やっぱりこういう専門家の人たちがよく考えてくれると思った

●３中ではいじめみたいのがあると聞いたことがあるので中学に入ったらとても心配です

●人それぞれけんりがあるんだなーと思った。ふこうなのはぼくだけかと思ってた

●３つの権利をとられるだけで、人間って不安、こんらん、まよいのメイロに入ってしまう。そんなことが世の中あると不安だ

●わたしは３～４さいから５～６さいのころ、ずっとおなじゆめを見ていて、それはよげんだと思ってしんぱいだったけど、ほんとうでもだいじょうぶそうです……

●自分には相談にのってくれる人がいても、信じてくれる人はあまりいないと思う

●権利はそんなに多くないなと思った。でも、そんなこと言っても現実は甘くない　●ぎゃくたいされたときはどうすれば……？

●いじめられてはっきり言ったのにそれでもなかなかやめてくれない時はどうしたらいいんだろうと思いました

●ぼくは１人でもなんとか話せるけど話せない人がいるんだなあと思った

●世の中いい人ばかりではないな。いやなことをするのはなぜだろうか

●げきが全部同じパターンでつまらなかった。大人が自分かってで自己チューだってことがわかった。大人はだれも子どものことを信じてくれない。大人はみんな子どもが言いなりになると思ってる。自分の子ども時代とはちがうから

●やられたことをしんじてくれない人がたくさんいるからとめられない

●ぼくはえんぎをやってことわることができたけど、本当にことわれるか心配だ

●ぼくといっしょにいる人はほんとうにしあわせなのだろうか

●わたしはならいごとから９時ぐらいにいつもくらいみちをかえってきてこわいです

●クラスの人に（自分のことではないけど）言葉でいやがらせをされている子がいて、いやがらせをしている子に「ちがうんじゃない？」

とか「何で言うの、そんな強い言い方で」と言ってもやめない時はどうしたらよいですか

●じぶんでじぶんのけんりをとることってあるんですか？

●困った時や嫌な時に話を聞いてくれたりする人が少ないのでだいじょうぶかなと思った

●いつも妹に「あれとってきて！」と言ってしまうけど、それは妹の権利を取ってしまっているのかな？

ボランティア

●ボランティアって大変だね　●すごくたよりにできるとおもった

●こういうことをやってくれる人がいて、とてもいいことだと思う

●感想だけどもっとボランティア活動を続けてください

●わたしはわるいことはしません。おしごとがんばってください

●この日本のどこかでいつもＣＡＰがやったことがおきているんだなっと思った　●こんなグループがあるんだな……

●ＣＡＰが学校に来たわけはいじめたときはどうするかなど困った人を助けるいい人たちということがわかりました

●子どもが困ったときに相談する人がいると心強いと思うからボランティアでやってもらえるのはとてもすごいなと思いました

●この活動はけっこう小学生だけでなく、中、高校生にも通じる気がするので、小学生だけでなく中、高校生にもやってもらいたい。げきを中学生バージョン、高校生バージョンに変えるだけでずいぶん変わる気がする

●いろいろないじめについて考える団体があるけれど劇でわかりやすく、子どもに伝えるという点は今まで見たことがありません。小学

生にはとても印象に残るので、とてもいい方法だと思いました。これからもがんばってください

●子どもだけでなく周りの大人達も参加させるという全体を正しくしていこうという活動はいいことだと思いました。まず守る側がよく考えないと、いじめはなくならないと思った

●ワークショップっていい所だなー、こんどいやなことあったら先に言おう。しかもボランティアなんだってすごいなー。きっとやさしい人たちなんだなー。また会いましょー

●もしわたしがそうなったらいけないから「子どもひろば」というのがあってとてもうれしいです

●そうだんとかしてくれたりいそがしいのにきてくれてやさしかった

●とても楽しくわかりやすくて１日中ずーっとＣＥＰ（ＣＡＰ）だったらよかったと思いました、土日にインターネット（ですよね？）をみてみたいと思いました

●かなしいことでもともだちがちかくにきてたすけてくれて、ワークショップがぐるぐるいろんなところにまわってるいみがわかりました

●ちょっとおもしろかったけど、あぶないんだなーとおもいました。今日はごくろうさま

●子どもひろばのことは、すごくいきるためのことだとおもいます。おしえてくれた人にかんしゃしないといけないとおもいます。すごくいいべんきょうになりました

●言ってることの意味や劇などすごくわかりやすかった。こういうことはもっともっと小学校や中学校でやった方がいいナァと思った

●いろんなことがかいてあってびっくりしました。たいへんですか。またやってください、おねがいします

●ＣＡＰはみんなのためにげきを作ったりしてすごかったです

●これを見て世の中にはこんなにがんばっている人がいたんだなーとか、私もその一員になりたいと思いました。私もどうすればいいかわからなかったことをしっかりと言ってくれたのでこうすればいいんだ！！とわかりました。これからもがんばってください‼

●このワークショップはみんなのためになる気がする。安心して相談できます。これからもがんばってください。わーくしょっぷ san

●いろいろおしえてくれた人がこんなにいっぱいしっていてすごいと思いました、あと安全にできると思いました

●親以外にも子どもたちのことを考えてくれる人がいたこと

●げきでわかりやすく「安心・自信・自由」がわかったので良かったです。後、黒板にはったりいろいろくふうしていいと思いました

●もしもの時にどうすればいいかわかりました。これからもきをつけていきたいです。これからもみんなに自信をあげてください

●学校でやった CAP はとてもつまらなかったのですが、げきなどでわかりやすくとても楽しかったです

●子どもひろばの人になら困ったことや嫌なことはそうだんできる

●ワークショップのげきがすごくじょうずで、べんきょうになりました。ほかにもいろいろなことをおしえてくれてどうもありがとうございます。また今度も２組に来てみんなにげきやしらない人のこわさをおしえてください。おねがいします‼ ‼

●ワークショップの人たちへ　どうもありがとう。あなたたちのおかげでげんきがでました

●わたしは、さいごのげきにでたとき人のきもちがすごくわかるし、おもいやりもわかる。ＣＡＰってすごい子どものことをおもってる

のだとおもう

●最後にもらったアドレスが書いてあるところにきょうみを持った、今こういうのがたくさんあるけれど学校では初めてのことでドキドキしたけど楽しみながら〝権利〟のことを学習できたと思う

大人のみなさんへ

「自分の権利をとられたことがあるか？」という質問の答えでは、大人の想像を超えたさまざまないじめがあり、なかには低学年であっても非常に危険であったり、残酷であることが少なくありません。多くは先生のいない場所で行われますので、諸外国のように休み時間や昼休みに子どもたちの様子を見守るボランティアなどの存在が必要ではないかと感じました。

なかには、何年も前の幼いときのいじめられた記憶や痛みがいつまでも残っている子どもがおり、健全な成長に深刻な影響があると感じました。また、仲間はずれとは逆に、友だちに遊びを強要される例が少なくありませんでした。いっしょにいるから仲が良いというほど単純ではないということです。そこには命令と支配があり、常に受け身の子どもは無力感をもち、声を上げることもできないため、大人が早く気づく必要があると思いました。

「困ったときに誰に相談するか？」という質問の答えでは、低学年が「両親」「先生」「親せき」など複数の人を答えたのに対し、高学年になると「お母さんだけ」「先生だけ」「友だちだけ」など単数になる傾向がありました。また、相談相手として、「ペット」という回答が多くあり、ペットが子どもの心の支えになっている様子と、保護者との関係性が希薄で寂しさを抱えている子どもの存在が気になりました。

さらに、「話を聞いて信じてくれる人はいますか？」という質

問の答えでは「いない」とか「わからない」と答えたのは学年に関係なく、つまり低学年でも、すでにそう感じている子どもがいることがわかります。私たちが伝えようとする以上のことを感じ取る子どもたちの感受性に感動しました。

同じワークショップに参加しても子どもの受け止め方が千差万別とわかりました。

今回はいじめに絞って集計していますが、地域によって痴漢や不審者からの被害には差があります。特に公園で露出狂などにあう子どもが多いため、すぐに親や警察に知らせること、通学路だけでなく公園などでも見守りボランティアが必要だと思いました。

最後に、権利というキーワードが子どもには難しいのではないかと考える大人もいますが、予想以上に子どもなりに自分のこととして理解できていると感じました。

誰かの「3 つの権利」をとったことがあるか？ の答えではワークショップに参加したことでこれまでの自分の行動を思い起こして素直に記入する子どもが少なくありませんでした。

ほんの少数ですが、このワークショップ体験を通してボランティア活動に関心をもった子どもがいたのは大変うれしいことです。

プログラム 2

CEP「いじめと人権」ワークショップ

■実施対象　小学校高学年～中学生　2,784 名
■実施期間　2006 年～2017 年
■実施回数　38 回

プログラムの概要

ひどいいじめは犯罪にもつながることを理解し、ロールプレイ（役割を演じること）によって差別意識について考えるプログラムです。

保護者研修のテーマは、いじめとストレス、思春期危機です。

プログラムの目的

1. いじめは人間らしい幸せな生活を破壊する人権侵害（人の権利を奪うこと）であることを知る
2. 差別意識について考え、自分の気持ちを表現する練習をする
3. 違いを認め合い、互いを尊重し合う人権意識を育てるきっかけをつくる

プログラムの内容

1 学習メニュー

アイスブレイキング

水槽の金魚をヒントに自分たちと違うもの、弱い者へのいじめについて考える。

いじめとけんかの違いを知る

スタッフが行うロールプレイを見て、いじめは一方的、けんかは双方向なものだと知ってもらう。けんかは仲直りし、理解し合うこともあるが、いじめは仲直りも理解もできないことを学ぶ。

いじめと差別

スタッフのロールプレイを見たあとで、あらかじめ配っておいた職業差別、人種差別、性差別、学歴差別、容貌差別、年齢差別などのパネルを、参加者が黒板に張って、差別とはなにかを考える。また、いじめや差別は相手を自分と対等の人間と認めず見下したり馬鹿にしたり、のけ者にすることだと理解する。嫌なことを言われたときの攻撃的でない対応やユーモアのあるコミュニケーションを考えるロールプレイを行う。

いじめとは何か

暴力、悪口、仲間はずれ、無視、嫌なあだ名などは、すべて「いじめ」にあたることを説明する。

いじめと犯罪について学ぶ

スタッフの説明に対し、あらかじめ配っておいた恐喝、強制わいせつ、暴行傷害、殺人未遂、器物損壊、監禁、脅迫、名誉毀損、ストーカーなどのパネルを、参加者に黒板に張ってもらい、子どもたちが「いじめ」と思っていることが、実は犯罪につながることを理解する。

いじめとストレスの関係について

ストレス発散やネガティブな感情のはけ口として、いじめをするケースがあることを説明する。運動などのストレス解消法で、自分自身でストレスをコントロールする必要があることを知る。

いじめと人権について

1948 年、国際連合が「世界人権宣言」（14 ページ）を採択したことを紹介する。幸せな学校生活を破壊するいじめは人権侵害にあたることを学ぶ。また、遊び半分でいじめているほうは覚えていなかったとしても、いじめられているほうは一生忘れないことを理解する。

中学校での CEP「いじめと人権」ワークショップの出前授業風景

2 まとめ

（小学校 6 年生対象）

友だち、親、先生、相談電話 、警察などに相談する。我慢して黙っていると誰も気づいてくれない。自分を守るために危険から逃げる。いじめやつらいことが一生続くわけじゃない。

（中学生対象）

いじめている人へ――

悪いことをすればブーメランで自分に戻ってくる。

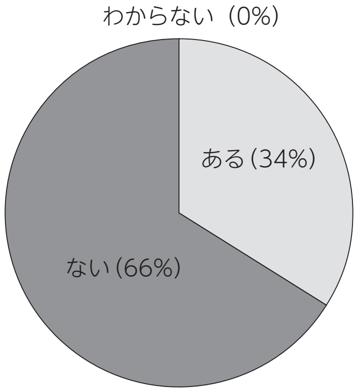
いじめを見ている人へ――

見ている人の心も傷つくので無関係な人はいない。

いじめられている人へ――

人生は長く、一生続くいじめはない。自殺する子どもが遺書を書いても、相手が罰せられることはない。今では、芸能人として活やくしている人のなかにも、子ども時代にいじめられていた人がいるように、相手より幸せな人生を生きることが最大のリベンジ。人は変わり成長する。

学習後のアンケート結果

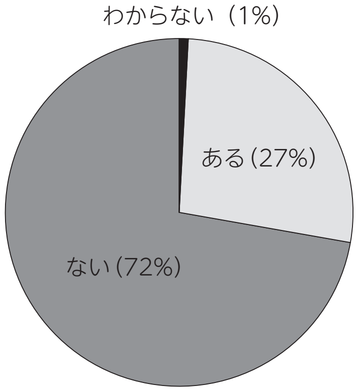


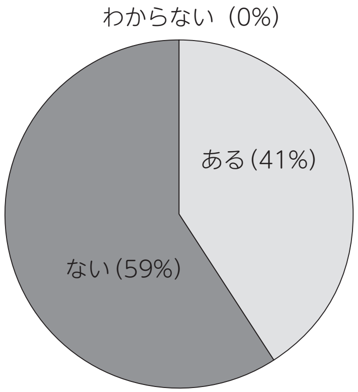
Q1

あなたは誰かからいじめられたことがありますか？
→ 100 ～ 104 ページ

Q2

あなたは誰かをいじめたことがありますか？
→ 105 ～ 109 ページ



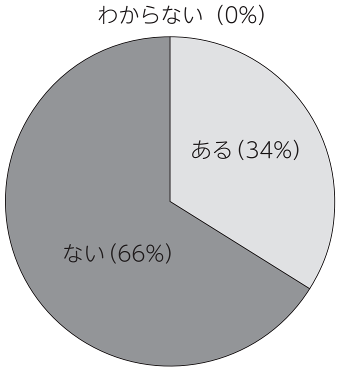


Q3

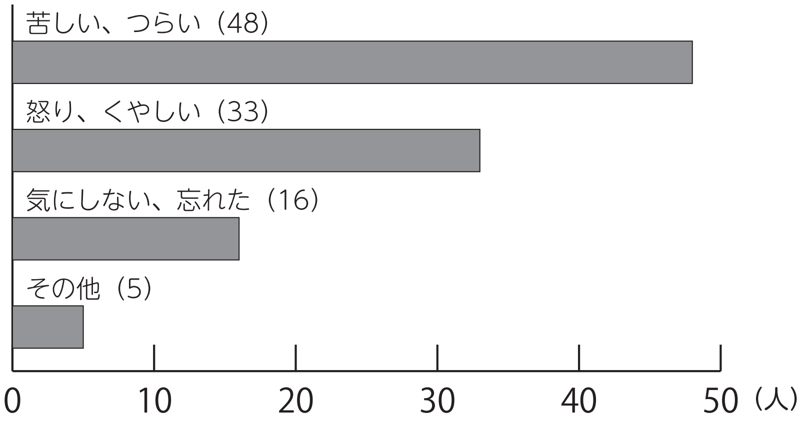
あなたは誰かがいじめられているのを見かけたことがありますか？
→ 110 ～ 114 ページ

Q1 あなたは誰かからいじめられたことがありますか？

いじめを受けた人の多くが、つらい思いを経験していました



いじめられたときの気持ち



みんなの声

Q1で「ある」と答えた人に、そのときの気持ちを自由に答えてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

苦しい、つらい

●学校に行きたくない　●学校をやめたい　●孤独感
●いやーな感じ。もう学校になんて行くものかと思った。仮病じゃないけど体調が悪い　●他の人に言ったらひどくなるかも
●親に言えない、言いたい　●毎日死にたいと思った
●自分は必要なのか　●思い出したくないのでかけません
●家から出たくない　●悲しっ こっちの気持ちがわからないのか
●無力感　●自分が悪いと思った　●自分が嫌いになった
●すぐ忘れよう　●もう生きていく意味ねぇーと思った
●生きているのが辛かった
●いじめっ子を憎んだ、自分が何故生きているのかわかんなくなった
●毎日泣いた、泣きたい　●誰かに優しく声をかけて欲しかった
●理由がわからなかったからいつも自分を責めていた
●辛くて気持ちの整理ができなくて泣くか暴れるしかできなかった
●その人（いじめる人）が学校に来なければいい
●「みんな私のことがきらいなのかな？」と思った
●他の事が手につかないくらいその事でいっぱい
●悲しい。世の中がつまんなくなって死にたくなる

●刃物を突きつけられ怖かった　●早くやめて欲しい
●つらかった、学校に行きたくなかった、先生に相談したのに大人は助けてくれなかった
●自分が死ねば気がすむの？　●頭の中がまっ白になる
●気持ち悪くなりました　●自分の悪いところを言ってほしい
●もうわけがわかんなくなる、相手に理由を聞いてみたいけど聞けない
●いじめた人の顔を一生見たくないと思った
●いやでどうすればいいかわからなかった
●休みじかんがこわかった
●だまってはいなかったが、とてもくやしくて自分の何がいけなかったのか
●悲しい。いらつく。自分の事をいじめた人にもう会いたくない
●１年生の時、休み時間に毎回ボールをぶつけられて悲しくなった
●とても苦しかった。いっそのこと自殺しようかと思っていた
●とてもいやな気持ちになり不安、助けを求められる人が周りにいなくてつらかった
●なぜこんなことをされるのかと思いうつ病になりそうな位、落ち込みました
●苦しい。無になりたい。いたい。自分が火になったみたい
●体も痛かったけど心の方がいたかった。ショックだった
●とてもイライラして気持ちがばくはつしそうになりました

怒り、くやしい

●うざい　●むかついた　●仕返ししたい　●憎い
●言い返したい　●なぐりたい　●何だこいつらは（嫌悪感）

●殺したい　●いじめ返してやろう
●必ずしかえすぞ（うらみ）
●いつか殺したいと思った　●言った奴全員死んでほしかった
●あんなやつこのよにいなければいいのに　●絶対忘れない
●何で自分のことしか考えていないんだろう？（自己中心的）
●なんでだめなの？何様のつもりなの？と思った
●「こんなくだらねえことしかおもいつかねえのかよ」って思った
●特に気にしないようにした（私気が強いのよ）
●１年で何が悪い　●ふざけてんじゃねーよという気持ち
●苦しかった、１人じゃなんもできないくせにって思った
●バカじゃん　●殺殺殺殺……でいっぱい
●上着を着るのは罪なのか　●なんてひどいことをするんだ
●仕返しをしよう。何かで目立っていじめられないふんいきを作ろう
●うざ　殺意を覚えた　●すごくイラついた、いなくなれって思った
●とても嫌だった、なぜ僕なのかと思った、原因が知りたかった。死んでほしいと思ったぐらいにくんでいた

●くそ、馬鹿、ごみ、くず、死ね、消えろ、ファッキュー

気にしない、忘れた

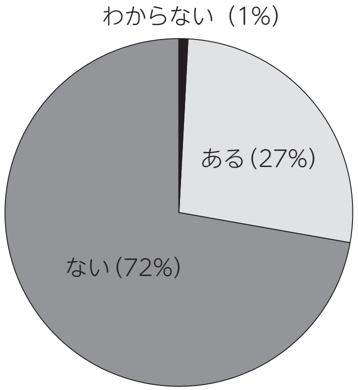
●気にしなかった　　　●あきれた　　　●慣れた
●いじめだとわからずチョッカイだといわれたのでそうだと思った
●いい人を精一杯演じた　　　●まあ、いいや
●深く考えなかった
●小学校の頃だから覚えていない
●むかついた。でも、すぐ忘れた
●まだその人は幼いんだな。まあしょうがないよなー
●ようち園のころからきにしていなかった。
●いじめる人の頭がおかしい　　　●ほうっておけばいつかやめる
●「いじめられてもどうでもいいや」って思ってた
●私なんかいじめて何が楽しいのだろう、そんなことをしている暇があったら勉強すればいいのに

その他

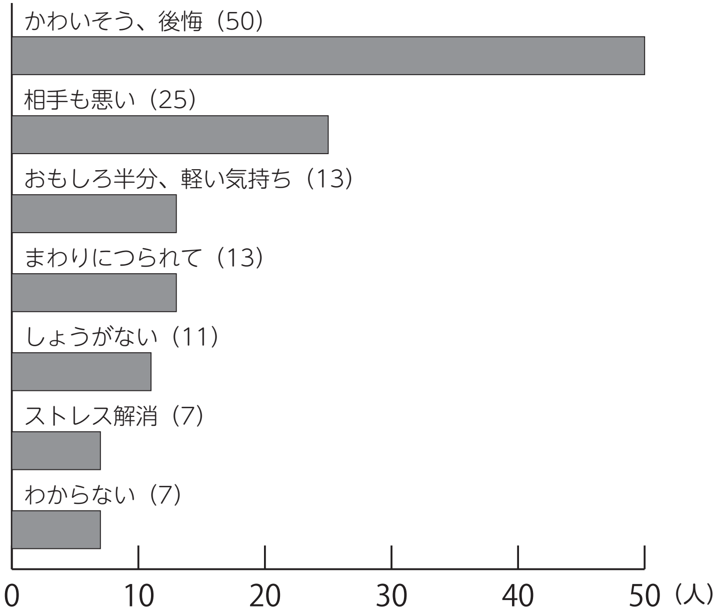
●先生に相談した
●自分はひとりじゃないと思いみんなと仲良くした
●いじめている人がかわいそう
●いやだったけど友達が助けてくれてよかった
●つらかったけど、友だちが「大丈夫？」って声をかけてくれたから学校に通えた

Q2 あなたは誰かをいじめたことがありますか？

いじめたことが「ある」と答えた人の多くが後悔しているようです



いじめたときの気持ち



みんなの声

Q２で「ある」と答えた人に、そのときの気持ちを自由に答えてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

かわいそう、後悔

●かわいそうだなと思った、いやな気分になった　●少し気になった

●自分まで不快になった　●ちょっと不安　●やりすぎた

●かわいそうだったけど、やってしまった　●後ろめたい

●悪いことをした　●気持ち悪かった

●変なことを言ってしまった

●いじめられた人の気持ちを考えなかった

●何気ない気持ちでやったがいじめだとわかって反省した

●自分が弱いと思った、嫌だと思った　●とまどい

●悪いとわかりながら悪口を言った、陰口を言ってしまった

●軽い気持ちで言ったことが相手を傷付けたと知って後悔

●自分が馬鹿　●微妙で言い表せない、複雑　●罪悪感

●調子に乗りすぎた　●自分を情けなく思う　●申し訳ない

●かばうと自分が変に思われると思い、あとから反省した

●その時相手に対して怒っていたので落ち着いたら後悔した

●逃げ出したい　●やっている時はなぜか楽しかったが後味が悪い

●自分は何をやってるんだ　●ばかばかしい　●苦しい気持ち

●こんなことやっちゃっていいのかな？　●ドキドキした

●こんなことをしている自分がいやだった

●気づいてから自分のしていることがむなしく思えた

●「やってはいけないことをやった」ということが心のおくにひっかかっていた

●自分は最低

●気づいた時大変なことをやってしまったなと思った

●けんかをしているつもりでいじめてしまったので今思うと情けないけど

●その時は、心がもやもやしていた　●何もかもが真っ白になった

●少しも相手の気持ちを考えていなかった　●いじめたくなかった

●悪いとわかっていても、自分の気持ちがおさえられない　●黒い

相手も悪い

●いいきみ　●自分は悪くないという気持ち　●いじめてもいい

●いじめられていた相手にだからすっきりした

●よし、しかえしたぞ

●仕返し、同じ思いをさせてやる、ざまーみろ仕返し

●自分の方が上だと思った　●ざまーみろって思った

●いじめられていたからうざいと思ってやった

●こいつむかつくんだよ

●いじめられたのでその人を恨む気持ちでいっぱいだった

●その人の悪いところが直るといいなと思って言った

●もっといじめたい　●その人にたいしていらついたりする気持ち

●この人はすごく気持ち悪かった　●相手の行動が悪いと思っていた

●いじめてきたので無視をしたら相手にはいじめになっていた

●いじめられた人にやったから、少しはスッキリした

●１年前の恨み　●いじめてる子に八つ当たりしていた

●やられたのでやり返したという気持ち、本気で潰そうとした

●復しゅうをしているようで申し訳なかったが怒りが収まらなかった

●その人は本当に嫌な人だからやってもいいやと思いました

おもしろ半分、軽い気持ち

●面白半分、ふざけて　●楽しかった　●ともだちと笑っていた

●面白い　●このくらいならいいかなと思った

●ふざけていたつもりだった。何気なく言ったことが相手にはきつかった

●「やった」と思った　●人間観察的な気持ち

●相手は平気と思った　●ちょっといたずらしてやろうと思った

●たいしたことないと思う　●軽い気持ち

●とても気持ち良くその人とのコミュニケーションだと思った

まわりにつられて

●友達と一緒にいじめていたので実感はあまり無い

●悪いことだと思っていたがみんながやっているから、ついやってしまった

●周りにながされて、ノリでやったが後で後悔、嫌な気持ちになった

●皆に合わせなきゃっていう気持ち

●みんなやってるからいいと思った

●人のいいなりになってやっていたが、心がチクッとした

●自分はやりたくなかったのに「アンタもやんなよ。やんないと同じ

めにあわせるから」と言われやった

●みんなに合わせていじめたことがある

●みながやるから不安でやってしまった

●のりで皆とやってしまった、本当にこんなことして良いのかと罪の意識が大きかった

しょうがない

●その時怒っていたので勢いで　●自分がやられるのがこわかった

●悪いと思っていたけど、いじはってやめなかった

●自分の思い通りにならなかったからいじめてしまった

●普通にしていたら、あいてにはいじめと言われて複雑

●自分はいじめられないと安心していたけどいじめられた

●とてもいやだったけど、こんどいじめられるのがいやだった

ストレス解消

●気持ちよかった　●仕返し、ストレスの発散

●悪口を言ってすっきりした

●よし、やりすぎたけど、めでたしめでたし

●自分の心の中では言いたいことが言えるので、楽しい気持ち

●イライラしていたが、何にたいしてのイライラかはっきりしなかった

わからない

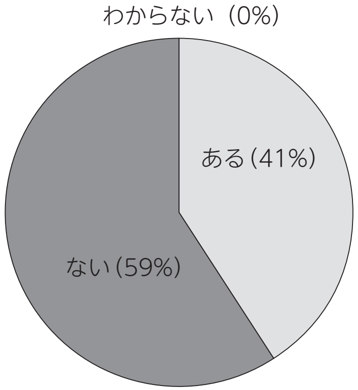
●覚えてない　●何とも思わない、気にしない

●気持ちなんて無い　●無意識にやっていた

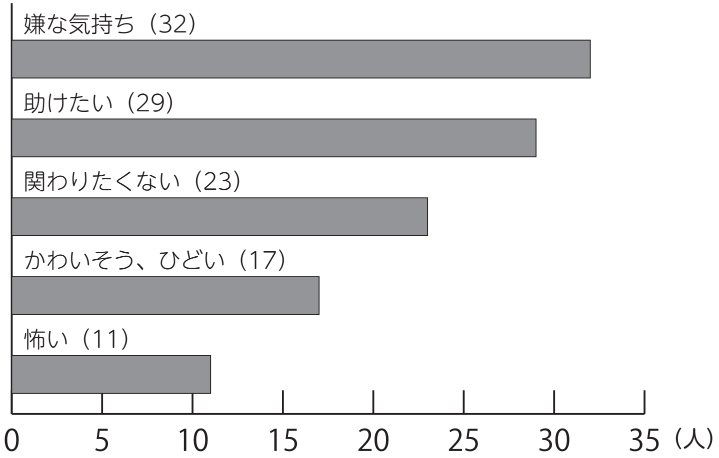
●何がなんだかわからない　●あまり何も感じなかった

Q3　あなたは誰かがいじめられているのを見かけたことがありますか？

いじめられた人だけでなく、いじめを見た人も嫌な思いを経験しています



いじめを見たときの気持ち



みんなの声

Q3で「ある」と答えた人に、そのときの気持ちを自由に答えてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

嫌な気持ち

- 自分も苦しかった
- うざい
- 早くやめて、逃げたい
- バカだなーと思った
- 何でそんなことするのか
- いじめている相手にイラついた、いじめている行為が理解できない
- いじめをしている人にたいして理不尽さや怒りなど
- いじめてる人はダサい
- いやなやつってかんじでした
- 自分もいじめられないようにしようと思った
- 嫌な気持ち、不愉快
- 男子ってバカだな
- 何もできず歯がゆかった
- 迷惑
- はきけしかない
- あきれた、ばかみたい
- 暴力ではなく、じわじわと陰で何かをしてる人を見るといやな気持ちになります
- いじめるなら、１対１で喧嘩しろよって思った
- どっちもどっち
- いい加減こりろよ　お前！
- バカだなー（やっているがわ）
- 心がちくちくした、足が動かない
- あほだと思った
- いじめている人に共感することも、ひどすぎると思うこともあった
- 「あなたが言えた立場」でないと思いました

●かわいそうと思ってるのに「なんで見過ごしているんだ」と思った
●先生にも誰にも言わなくてみんなでいじめているみたいになってしまってすごく反省している
●何をすればいいのかわからない　●人によって思い方が違った
●自分は人をいじめてはいけないと親父に言われて育てられていたのを思い出しました
●昔の自分を思い出した
●その子が苦しんでることはわかったけど、何も言えなかった

助けたい

●助けた、止めた　●止めようと思ったができなかった
●ちょっとその子の代わりに言い返したい
●助けてあげようと思った
●何もできなくて悔しい、情けない　●止めたら自分がやられた
●助けてあげたいけどできない　●注意したいけど注意できない
●止めないといけないと思った
●先生に言いに行くべきか悩んだ
●いじめているやつに早く帰れと言った
●どうにか場を明るくしようとした　●母に相談
●止めに入ったが結果止められなかった
●出来るだけ止める様いうようにした、声をかけた、一緒にいてあげた
●止めたいけど止めたくないような、止めたいような止めたくないような気持ち
●その中に入り、助けてあげたかったが、中に入れなかった。くやしかった

●友だったし、助けたい気持ちはあったけど、自分がいじめられそうで…なんだかなさけなかった
●なにやってんだ、たすけてあげたいけど、むりだな
●やめなよと思いました。とめたのですが、その人はやめなくて私自身もきずつきました
●それは大の親友だから助けてあげた
●いじめられている子に話しかけた（相談）
●いじめられている人にもよるので、助けてあげたいという気持ちやしょうがないという気持ちがある
●いじめてる人を痛い目にあわせてやりたいと思った
●助けたいけどどっちが悪いかわからないから助けられない
●先生が止めてたので大丈夫だと思った
●いじめられてる方に味方していじめてる方をおとしいれよう

関わりたくない

●ああまた……慣れた　●自分に害がなければいいや
●面白そうだなぁ　●ぼーとしていただけなきがする
●死ね、消えろは毎日の挨拶のようだった
●本人も悪い、しょうがない　●関わりたくない、見ない振り
●半分楽しい、遊び気分に見えた、あまり仲良くないから助けなかった
●多分あれはいじめ！　別に何とも思わなかった
●誰かが止めると思った　●関わりたくない、傍観者
●なんとも思わない　●どうでもいい
●とくになにも感じなかった　●ちょっかい出しているなと思った

●やっているな、幼稚だな　●どうでもいい、どうとも思わない
●みたくないなぁ～　●自分には関係ない、面倒
●もっと強くなればいいのに　●自分で何とかしろと思った
●いじめられてる人にも問題があるんだよ　●おもしろい

かわいそう、ひどい

●見るに耐えない、心が痛む　●自分も同じだった
●かわいそう、つらそう、こちらまで悲しい
●その子を責めないで！
●あの人はなんにもしてないのになんでいじめられているのだろう
●そこまでやらなくても　●ひどすぎる、人間失格
●仲良い友だちだったので悲しかった
●自分もあったのでわかる。と
●いじめられる人がかわいそうで、そう思っている自分が嫌になった
●かわいそうでかわいそうでしかたがなかった
●やり過ぎ、ひどい
●あの子はきっといやなきもちなんだよなぁ　●おろおろした
●だれかが注意してくれるかな　●やってる人は子ども、最低

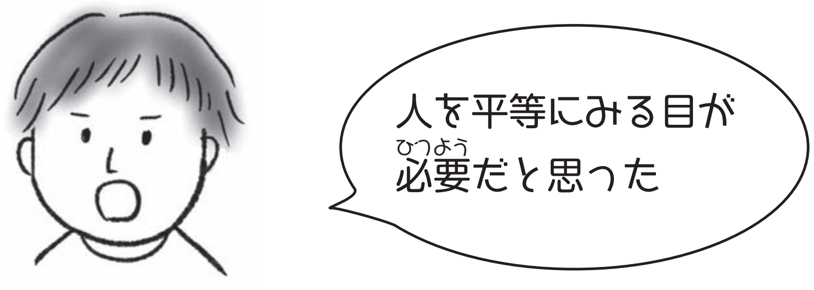
怖い

●自分がやられてるみたい、怖い　●自分はああなりたくない
●また自分もやられる、次は自分だ　●止めると仕返しが怖い
●かわいそうだった、とめる勇気がなかった、１回やられているから次は僕がやられる気がして

ワークショップの中で印象に残ったことや気づいたこと

いじめなくしたい

●この会はきょうせいだったので、もしいじめている人がこれを聞いてたらもうやらないと思う。だからこの会を開いてくれてありがとうございます
●最初にいじめられたことがある人、いじめたことがある人など質問したときに、こんなにもいじめられたことがある人がいるんだとわかりました
●いじめはブーメランでかえってくるというところが印象に残りました
●いじめは学校の中などの狭い所でやっているから、つかまったりしないけれど、いじめは立派な犯罪なので外でやったらつかまるということを改めてわかった、いじめのない世界になってほしいと思った
●いじめられている子だけではなく、見ている子もいやな気持ちにな



ることがわかった。いじめられたことで亡くなってしまうこともあるんだと思った。いじめている子は、自分の心に大きな傷があるからいじめてしまうんだと思った

●ワークショップを通して、学校の雰囲気やいじめに対する態度が変わればいい

●相手がイラッとすることを言ってきた時は、ぼくは強く言いかえしてしまって、なかなかお互いがなっとくできないまま終わってしまうけど、相手がなっとくするように言葉を返せば、なっとくして終われるとわかった

●ハツカネズミの話に驚いた。動物だと習慣というか体が勝手に動いてしまうけど私達は間違っていると思ったら止めたりやめたりすることができる。人にやられて嫌なことは人にやっては絶対いけない。みんな一人一人違うことがいい、大切なことなのにそのことでいじめるのは間違っていると思いました

●わからないところや、できないところがある人が、いじをはっていて、みんなからつめたくされているので、どう対応すればいいのかがわかりません。ぼくも最初はつめたくしていましたが、今はやめようと決心して、いっしょに遊んだりしています

●ぼくはワークショップをやってみて人権のこと、けんかといじめのちがいなどがわかりました。特に印象に残ったのは人間には想像する力があるという事が特に心に残りました。ぼくはこれからはだれかがいじめをしていたらとめてあげたいし、いじめはしないでいきたいです

●子どものときに被害者だった人が大人になって加害者になってしまうということがあるとわかった

●人がいじめられていても、自分はかんけいがないということじゃないとわかった

●今はわかってくれない先生が多いから先生がカウンセリングを受けた方がいいと思った

●僕は今回うるさくて集中力を欠いてしまい情けないと思います。いじめのない、皆が仲良くしている社会を作るために尽くしている人たちがいるのに僕たちは何にもこうけんしていないことにショックを受けました。今回ロールプレイングなどを通して楽しく教えて下さってありがとうございました。けっこうイヤ、カナリためになりました。またどこかで……。お元気で

●いじめられたことを自分の心の中だけにおさめておくだけだと何も変わらないから、人に伝えることも大切なことがわかりました

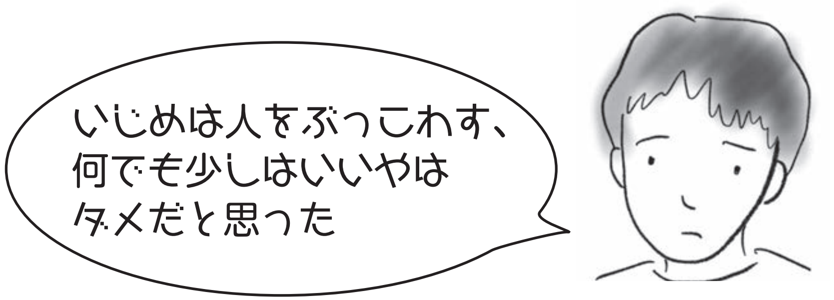
●クラスでふざけている人がいっぱいいるけれど、ケンカは２人とも立場や力の強さが同じで、いじめは１人に対して責めたりすることだと知ってみきわめが大切だと思った

●けんかといじめの違いについての説明がとてもわかりやすくタメになりました。こういう講習をやることで、いじめが減るのかなぁ〜と考えました

●いじめている人が自分のやってることはまちがっているということに気付いてもらえたのかなと思いました

●いじめをする人は自分は強いと思いたいがために自分より弱い人をいじめて優越感に浸りたいだけだと思った。いじめる人は自己中心的な人しかいないと思った

●人間しか持っていないユーモアを使ってかいひすることができたらいいなと思いました



●いじめの延長線上に犯罪があり、いじめられている人はそのことを一生背負っていくのだなと思い心が痛みました。いじめに発展しない友人関係作りが大切だと改めて感じました

●平和に暮らすしかないでしょ。それが世の中だからしょうがない

●ユーモアというコミュニケーションについて、とてもすごいことがわかった。日本が抱えてるいじめの問題についての深刻さを知った

●少しいやなことを言われても、すぐにカッとならずにユーモアを交えて返すということが印象に残った。もしもイライラすることがあっても人にあたらないようにしたい

●いじめの対応の仕方が、いじめに関係なく人間関係で役立ちそうだと思った　●子どもって怖いなあと思いました

●いじめてる人はいじめられている人の気持ちはぜったいわからないと思った　●いじめはわるい、だるい、めんどい

●話し方や演技も独特で、今まで聞いたいじめの話の中で一番説得力があったと思います。とても引き込まれたしいじめについて皆が考えられたと思います。ありがとうございました

●Ｍｙ標語書きます☆　いじめっ子　そんな奴らはクズ人間　そう、

僕らは神だ！　悩まず相談しよう！

●けんかをする時は誤解もあるんだなと思いました、相手の意見も大切にしてあげたいです

●誰かに言われた時に勇気をもって言うことができないのでポジティブに返すということを知りました

自殺について

●いじめられている人が「私は○○さんにいじめられた」とメッセージを書いて自殺しても、いじめた人が「私はやってない」と言ってしまったら、いじめられた人の思いはだれにも届かないことがわかりました

●自殺した子とかの話を聞いて、なんかせつなくなってきた

●とにかく証拠を残す。味方を増やすのがいいと思う

●「いじめた人より幸せな人生を送る」というリベンジ法がかっこいいと思った

●いじめられて自殺した人が毎日毎日されたことを日記に書いていて、それが証拠となり罰を与えることができないことにびっくりした‼

●いじめに名前がついているなんて知らなかった。早く自殺する人を止めさせてあげられる勇気がほしい

●いじめられている人は死んでしまいたくなるほどつらいのに、いじめている人はふざけ半分でやっている。死んでしまってから初めてその行動の重みがわかるようじゃだめなんですと思った

●わいせつを受けて自殺してしまったという話で私の心にぐさっときました。まだ 14 才なのに……いじめている人はどんな事を言って

も、受けてた人は死んでしまったので決して許されないことだと思いました
●いじめられた人が遺書にいじめられたことを書いて自殺したのに、いじめた証拠が無くなって、いじめた人は何も罰を受けないのはあってはいけないと思った
●いじめで自殺したニュースを見て、きもいとか悪口を言うのがいじめだと思っていなくて、それも立派ないじめだということがわかったから、遊び心でも言わないようにしたい
●印象に残ったことは命を大事にすることです。たとえいじめられても生きていれば将来いじめた人よりもいい人生を送ることができるので命を大事にしたいです
●いじめが原因の自殺が多いことと、自殺しても誰一人得をする人がいないこと
●いじめなどばかばかしいと思っていましたが、そのばかばかしいことで命をなくす人もいるんだなと考えました
●いじめは改めて悪いことがわかった。ズボンおろされて自殺してしまったことにびっくりした
●最後にもらったカードの「広い地球にあなたのいのちは１つだけ」という言葉が心に響きました。何回か「死にたい」と思ったことがあったので。命は大事にします
●いじめられても自殺はいけないというのが心に残りました。「自殺したい」と思った子がいたら、この話をして勇気づけたいと思いました
●「命は二度と戻りません」という言葉が一番印象的で頭に残った。またロールプレイの演技が２ 人とも上手で良く伝わりました。ワークショップをしてくれてありがとうございました

これからの自分

●「いじめ」というのがいけないことだというのはよくわかった。私の学校にいじめはないけど、その代わり差別は多いなぁと思う。ＮＰＯ のお二人のロールプレイを見てどの場面でも共通して言えることは暴言など言う人は幼稚だということだと思った。私は大人になれるようにがんばりたい
●本日は本当にありがとうございました。いじめと人権について改めて考えることができました。今後いじめが悪いということを日本、世界のみんなが思ってくれるといいです。私もいじめはいけないと身近な人から伝えていきたいと思います。皆さんも頑張って下さい
●講師の方のはっきりした言い方と態度を見て気づいたことが多かった。いろいろなことを言われた時の言葉の返し方を見たり考えたりできてよかった。興味深い１時間だった。自分はいじめないし、いじめられても強く自分を持ち続けようと思った
●親に心配掛けていいや、誰でも幸せになれるという言葉がとても印象に残りました
●人は幸せになるために生まれたと思う

●私は最近ちょっとした言葉でも傷ついてしまって、いつも友だちに相談できないままでした。本当に軽い言葉でも人は傷ついてしまうことがわかったし、自分も言ってしまっていたかもしれないと気づくことができました。いじめはできればなくなってほしいけど、これからきっと私たちが戦っていかなければいけない問題になるのだろうと思いました

●自分が相手に言っていることは、自分は平気だと思っても相手はイヤかもしれないということを考えて（後のことを考えて）相手に言おうと思いました。こういう企画？があることはいい事だと思いました

●すごく講師の先生方が真剣に私たちのことを考えてくださっているんだな……と強く感じとても嬉しく思いました。また、いじめや差別というのは人間が誕生した時からあるもので、永遠になくならないものだと思いました。なくならないものでも、それをどれだけ軽減できるのかで全然違うと思うので、世界が思いやりを持ち世界中の人が幸せと思える環境を作っていけたらいいな……と思いました。すごくいい勉強になりました。改めて自分の人生を振り返るきっかけになりました

●自分のちょっとした言動が相手を傷付けていたりすることもあるとわかった。私は知らないうちになっているかもしれないが、「自己中心」という考えはしないようにしようと思う。相手も自分も気持ち良い人生になるようにしたい

●いじめとけんかの違い。近くで実際に私が見たものはいじめだったということがわかった。それを見て見ぬふりしたら相手を自分も傷つけてしまうので、だめなことはだめとしっかり言わなきゃいけないと思った

●今日の勉強でまた少し強くなれた気がします。もうちょっとしたら自分で自立していかなければいけません。だから今日の勉強を生かして心の強い人間になろうと思います。丁寧にわかりやすく教えていただいて本当にありがとうございました。年下の人たちに私からも「いじめと人権」について教えてあげようと思います。そしてちょっとずつでいいから世界からいじめを減らしたいです。もう１つ思ったことはいじめは麻薬に似ていると思います。どちらも初めはおもしろ半分でやっている。しかしいったん始めたらそれがやめられなくなり、人を傷つける。そして最後まで人の心に傷をつけ、一生ついてくるカゲにしてしまう。私はそんないじめは本当に怖いです

●いじられキャラなどの人は無理して明るくふるまったりしているんだなと思いました。だから相手の気持ちを考えて行動したいです

●私は「いじめ」がとても身近にある事は知っていました。けど、いじめについて話し合ったりする事はなかったので、今回のように大人の方たちが今の時代にあるいじめや差別について理解し助けてくれることがうれしかったです。また自分でも普段から言葉には気を付けた方がいいと思っています。自分の軽々しい発言は人を傷つけてしまうこともあると思うからです。言葉が招いたけんかや誤解を仲直りするのは言葉です。思っていないことを言葉にした時、相手は「どう思うのか」を瞬時に考え、答えを出すことができる人になりたいです。同じ中学生でも同じ世界にいても色々なことがあるんだなぁと思いました

●人との関係が苦手だったのですが今日の話をきいてもう少し人との関係を考えてみようかなと思い、いじめに対して今知っていることがまだ少ない方だったんだなって思った

●差別や罪はいろんな種類の名前があり、その罪の内容についてわかりました。またいじめも犯罪になると改めて知り友達が犯罪者になるのをさけるために、友達を守るという意味で止めるようしたいです（いじめを）。もちろんいじめはしないしそれにいじめを止める本当の勇気を持つようにしたいです

●いつもふざけて「死ね」「消えろ」とか言ってしまうけどそのふざけが相手を傷つけてしまっているかもしれないからこれからは気軽にそんな言葉を言ってはいけないと思った

●差別にいじめ、これからもこのようなことが起こらないように友達を大切にしていきたいです。とてもわかりやすく説明していただきありがとうございました。そして東京から来ていただきありがとうございました。とてもためになりました。これからいじめが全て0になるよう私もがんばりたいです。今日は本当にありがとうございました

●死ねと言われても「死にたくない。もっとたくさんしたいことがあるから」と言って気にしないで学校生活を送りたい

●高校生になった時いじめられたらどうしようとか、先生にいんぺいをされたらどうしようと思ったので、相談できるところがあるんだと思った

●最後に、いじめている人、いじめられている人、それを見て見ぬふりをした人の話がどれも心に残りました。いじめをしないというのは当たり前で、もしいじめられたらすぐに相談したいと思いました。そしていじめられているのを見たら怖くても助けたいと思いました

●クラスに今、いじめに近いことをやっている女子がいるから、はっきり、やめれば、みたいなことを言える勇気をもらえました

●最近よくいじめとはいかないけどいじめの１歩手前のものを見るようになって止めたいと思っていました。だけど勇気を出せなくて毎回見過ごしていたので、これからいじめを見た時はいじめている側もいじめられている側も傷つかない方法で止めたいと思いました

ロールプレイ

●ロールプレイのしばいがとてもうまくて楽しかったです。プレートを見てこれは何に当てはまるかなどと考えられました。ぼくはいじめとはただ仲間はずれにしたり、ぼうりょくをふるったりすることだけだと思っていたけどほかにもいろいろなものがあるとわかりました。友だちにきずつくようなことはいわないようにします

●この授業はぼくたち子どもでもわかるロールプレイやいじめを受けた人はどうすればいいかとか、いじめている人や、いじめを見ている人はどうすればいいかを教えてくれたので、いろいろ勉強になりました。特に良かったのはロールプレイでした。こういういじめを受けた時はどのように言い返せばよいのかがわかりました

●ロールプレイや犯罪・差別のカードを自分で考えて判断する。とてもわかりやすく、またよい 刺激になりました

●ロールプレイの時で何かを言われた時のどう言い返すかで、返す言葉には同じものがない。ここにいるだけの答えがある

●ワークショップのロールプレイが良かったと思います。言葉だけじゃ伝えられないこともあるから、体と言葉で表現していてわかりやすかったです。そしてぼくたちにも実際にやらせていただき、いじめられた時の対応の練習になりました

●今回は「いじめと人権」について教えてくれたのが嬉しかった。特

に僕が一番に印象に残ったのは……スタッフさんのロールプレイ。ロールプレイでは答えた時の言葉が今でも頭に焼きつけられている。僕は小学校の頃とてもいじめられていたのですが、今では立場が逆になりいじめていた時もあった。しかし今回の体験で小学校の頃のいじめられていた思い出は消え去り、いじめていた思い出は今から反省しようと思った

●ワークショップでは紙に犯罪やいじめなどということを書いて人に渡して皆で考えられるのはおもしろくていいと思うし、ロールプレイを入れていたので言葉で言うだけではなくて身ぶりでわかって伝わりやすいからいいと思いました

●今回の「いじめと人権」についての授業でいくつか印象に残った事があります。一番印象に残ったのはロールプレイの答え方でした。では何故印象に残ったのか。それには理由が２つあります。まず１つ目。それは答え方のユニークさです。まさかこんな答え方をするとはと驚かされました。次に２つ目。ロールプレイを生徒にやらせてみるという発想がとてもいいなと思ったからです。この事によって他の人がこういう答え方もあるのだなと考えられるからです

●今日の授業はとても良かったです。最初にした金魚の説明はとてもわかりやすかったです。お話の間にやるロールプレイもすごくわかりやすかったです。ロールプレイ無しで人種差別とかを説明されるとなんかよくわからなかったりするけど実際にやって説明すると、こんな感じなんだ……というのがとてもわかったりします。特に私が一番わかりやすかったのは「学歴差別」です。ロールプレイの例え方がうまかったのですぐにわかりました。最初にロールプレイを見て、あとからどのいじめか、どの差別かというのを当てるのもとてもわかりやすいと思いました

●学歴差別の返答がすごくおもしろかったです。あれがユーモアですね。よくわかりました。私ももし嫌な事を言われたらはっきりと、しかしユーモアを持って答えたいと思います。中学生で死んでしまう人がいることがとても残念です

●今日の授業でやったロールプレイはとても身近に感じました。特に人種差別が感じました。たぶん戦争などはこれからも起きるんだと思います。この前やった道徳に「あってもいいちがい」と「あってはならないちがい」がありました。これはあってはならないちがいだと思います。自分とちがう人を恐れて差別するけど元はみんな〝人間〟なので、どうしてそんな差別をするのか不思議に思いました。この時間だけでは知れなかった事はたくさんあると思います。だから私は全てを知りたいと思いました。差別、いじめ、世の中にはまだ知れ渡っていないことがこれ以上増えないように、そして知っていることもこれ以上増えないように生きている人みんなが考え、行動したほうがいいと改めて実感しました

●いじめの中のやることは、学校の外でやると犯罪になるということ

がわかりました。いじめとけんかの違いがよくわからなかったけれど、ロールプレイを見て「大きな差」だなと思いました
●私はいじめや犯罪の重さがテレビよりも伝わりました。あとロールプレイを見て本当にいじめを受けている人の気持ちが想像できて、さらにいじめられている人の悲しみや苦しみなどがわかりました
●実験や事実をもとに直球で話しているのでストレートにメッセージが伝わってきました。ロールプレイをしながら説明した所は少し柔らかく楽しんで参加することができました

いじめられた

●ぼくも何度もいじめられているけど、いじめは自分をいやにさせる力を持っているものだと思った
●自分がいじめられていたころと重ね合わせながら見ていた
●今度いじめられたら強気になることを決心します
●自分もいじめられていた時があって、つい最近も数日間いじめられていたので、言っていることはとても正しいと思った（ぼくは１年間位いじめられていた）
●自分がやられたことは、犯罪に近いというのがわかった。今後はいじめられてもくじけずにいきたい
●僕のいじめは５、６ 月から始まりました。最初のいじめはときどきしかなかったし、なぐさめてくれる人も多くいました。でもどんどん日がたつにつれいじめはひどくなり、最終的には１日１回くらいは心に傷がつきます。そしてエスカレートしてクラスのほとんどが僕のことをきたないと思っているような気がします。小学６ 年生の時はあやまれば許せるけれども中学生になったらさすがに許せませ

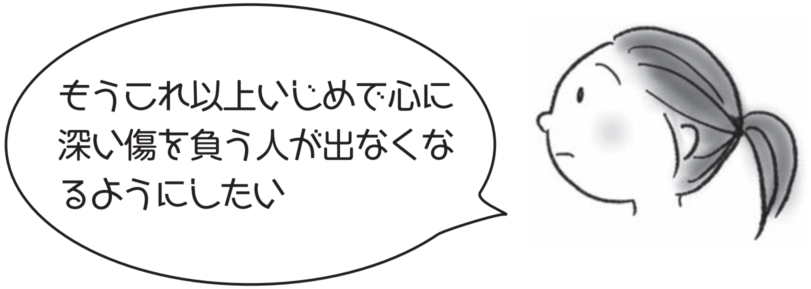
んでした。僕もいいかえそうとはしたものの言葉に出しづらくて何を言っていいのかわかりません。ほかの大人の人が「あなたの気持ちは痛い程わかります」というけれど他人に人の気持ちを簡単にわかってほしくないです。僕だって自分のことはもう理解しているのにいじめる人は僕のことをいじめたがります。いじめの何が楽しいのかわかりません。いじめはやめてほしいです
●あんまり楽しくなかった。つらかった。イライラした（６年の時のコト思い出したから）
●いじめはひどいことだと思います。いじめでも種類が沢山あってびっくりしました。ぼくは小さくて「チビ」ともいわれますが、今回のお話を聞いて、言われたら言い返すことをひとつ学びました。差別というのは江戸時代差別された人々がいて、今でも差別されていることを社会の時間にやりました。今回の話と一緒とわかり、ぼくは差別をなくさないといけないと思いました
●いじめを学校外でやると犯罪になることがわかった。暴力とかパシリとか私もよくやられているので（いじめられキャラ）すごく心強かった
●私は男子に「お前、男っぽい」と言われたことがあります。けど私は「別にいいじゃん」と言いかえしました。なぜ、いじめられたことを言わないかというと、そのことを言ったらもっとひどいいじめをされると思うからです
●昔、私はいじめられたコトがあって、その時にイヤなのにイヤって言えなくて、ずっといじめられていました。イヤっていっているけど、相手には自分の気持ちが伝わっていなかったコトがありました。でも今日のワークショップを聞いて、自分の気持ちをきちんと相手

に言わないと相手は私の気持ちに気づいてくれないというコトを学習しました

●ワークショップを通じてたくさんのことを学べました。私は今は言われてないけれど小学校のころ「ブス」とか「ブスがうつる」とか言われまくって毎日泣きました。私はその人が怖くて何も言い返すことができなかったので、どんどんエスカレートしていったんだと思います。これからは、もしいじめられたら自分の思いをちゃんと伝え、いじめられている人がいたら絶対たすけてあげて、もうこれ以上いじめで心に深い傷を負う人が出なくなるようにしたい。いじめは絶対なくなることはないと思います

●私はこのごろイヤな（意味のわからない）あだ名をつけられて困っていました。でも今日この話を聞き「イヤだ」とはっきりその子に言おうと決心しました

●私は中２のころいじめられていました。仲良かった友だちにウソの悪口を流されて、みんながそれを信じたのが原因です（後から聞いたことです）。その時は辛くてしょうがなかったけど、何とか毎日学校に行きました。そして今ではいじめもなくなり今はいじめた子



と仲直りして誤解も解けて楽しく過ごしています。本当にその頃耐えてよかったと思っています。だから昔いじめられたけどそれを乗り越えて今生きている人もいるという話にはとても共感できました。いじめられた経験がある分いじめられる前より人の気持ちや痛みがわかるようになりました。これからもそう生きていこうと思いました

●わたしは２・３・４年生にいじめが続きました。もうこんなにいじめが続いていますが、やっぱり３年間でなれていたとしてもいじめはつらくとてもかなしいです。だからこんなことが他のみんなにもやられてほしくない。もういじめがなくなる世界にしたいです。だから、このワークショップでいじめをみかけたらすぐにとめてあげようと思いました

●私は本当にいじめられたことがありました。でも最初どうしていいかわからずだれにも言いませんでした。で言わなかったけれど、周りの人や先生方が気づいてくれました。またその前に１人の友達とお母さんから「だいじょうぶですか」といってくれました。こういう経験からだれかがいじめられていたら助けてあげようと思いました

●ぼくは１年〜５年までずっといじめられていたから、これからは自分をふりかえってせっきょくてきになりたいなと思います。これからぼくはあたらしい一足をふみだしたいなと思いました

●私は容ぼう差別を何回かされました。しかし口ごたえをしてとてもスッキリしました。それに、いじめるのが好きなやつにウザイ、キモイ、サイアク、おまえとはなしていると口がくさると言われました。しかしその人は、いじめたことがある人と言われたとき手をあ

げませんでした。いじめた人はふざけ半分でやっていたことに気付きました。ありがとうございます

●感想かどうかはわからないけど、4 年でいじめられていた時、先生に「あの人がやるわけないでしょ」といわれたのが悲しかった

●私をいじめ（死ね・最低）ている人が、「いじめたことがある人」の時、手を挙げていなかった。とてもいかりをおぼえた

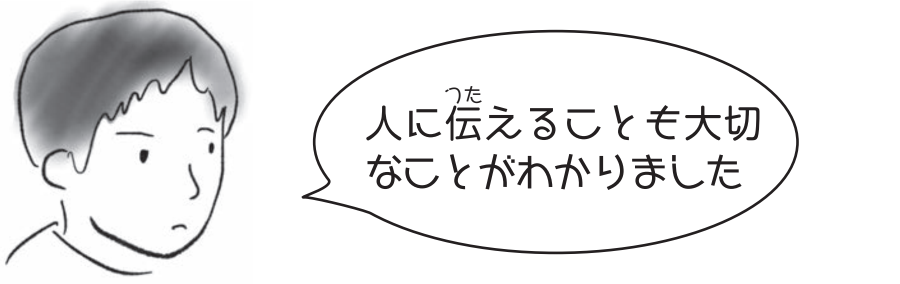
●××さんにひどいことをよくされるので、その人にたいしての対応をかえていきたい

●私は 2 回いじめられたことがあって 1 回目は 2 年生の時で 2 回目は 5 年生の時です。2 年生の時はもう友だちがいなくてとても寂しい毎日だったけど、5 年生の時は親友ができてその親友は私のことを嫌がらなかった。すごくうれしかったです。私の親友は今年いじめられたけど、私は 5 年生の頃してくれたようにいじめなかったです。友だちはいいなと思いました

●今までたくさんの差別を見てきたけれど今になってみれば、何で止めなかったのかと思います。自分がいじめられている時とても悲しかったのに他の人になると止められなくなってしまう

●転校生なのに生意気だと言われたことがあって、言い返せなかったから、こういう時は頭を働かせて、言い返せばいいと言っていたので自信がつきました

●「殺人未遂」というのを友だちにふざけてやられたことが何度もあると思った。その時は笑ってごまかしたけど息ができないし、重くて出られないからすごくつらくてもうやられたくないと思った。友だちがやっていたけど注意もできなかった。友だちに「乗りなよ～。何で乗らないの～」と言われたけど、「わたしもやられてつらかった」



と言ったのに友だちがやっていた

●私も一度いじめられたことがあってその時はすっごく苦しくて悲しくてイヤなことでした。その時は助けてくれる人も相談してくれる人もいなくてずっと一人で悩んでいました。でも今はその人たちとは 違う中学に来たんで今は幸せです。なのでいじめられている人の気持ちがすごくわかります。でも、いじめられてる人も強い心をもって堂々と胸を張らなきゃダメなんだと思いました。いじめてる人はいじめられている人が困っているところを見て楽しいと思うんだから、いじめられている人はその人たちのことを心の中で「幼いなぁ」と思ってとにかく無視してればいいんじゃないかと思います

●僕はいじめられていたので正直今回の授業は受けたくありませんでした。理由はあの時を思い出したくないからです。でも今回のおかげでイジメられた時はどうたいしょすればいいかわかったような気がします。本当にイジメってなくなればいいですよね？　僕はもう二度とあんな目にあいたくないです。生きる希望を失いたくないです……それにいじめられている人がいたら助けられるようになりたいと今回思うようになりました

●私は保育園から中学 1 年までいじめを受けていました。いじめを受

けているときは心が傷つく毎日で相談できる人が友だち１人しかいなくてみんなみたいに「友達いっぱいほしいなぁ」と思っていました。私は「私をいじめてる人は、そんなにいじめが楽しいのか、いじめられている人の気持ちを考えていじめているのか、いじめがどれだけいやで心が傷つくかわかっていじめているのか、いやわかってないからいじめてるんだ」そう思って毎日いじめを受けていました。いじめていた人は「今までいじめてごめんね」その一言もありませんでした

●私は小学校１、２年のころにいじめられたことがあります。授業の初めに「この中でいじめられたことがある人？」と聞かれて、けっこう多くの人が手を挙げていたのに驚きました。そして自分と同じような体験をした人が多くいたことで気持ちが軽くなりました。私はこういういじめや人権に関する授業をもっと増やすべきではないかと思います。Ｔさんが言っていたようにいじめられるために生まれてくる人なんていないのでいじめで自殺してしまう人を一人でも多く救うべきではないかと思います。これ以上いじめられる人を増やさないように、そしていじめる人を増やさないように、そしていじめる人のストレスを増やさないようにするためにはどうすれば良いのかと思いました。今日はこのようなとても良い授業を受けられて良かったです。これからもこのような授業を受けられればと思います

●いじめの話を聞いている時ストレスとかがたまると暴力をふるってしまったり、いじめをしてしまうということがわかりました。でも私は「自分だったらきっといじめはしないで自分のことを傷つけ（リストカット）てしまうだろう」と思いました。私は小６の時いじ

めを受けました。「もう死にたい」「あいつらを殺したい」って思いました。でもある日ある女の子が私のことをかばってくれました。その時はすごくうれしかったです。その後に私と私をいじめていた３人と話し合って、お互いがあの時どんな気持ちだったのか、これからどうすれば良いかを腹を割って話し合い解決しました。今ではその３人とはとても仲が良いです。そのうちの１人は「心友」です

●私はいじめられたこと、いじめたこともありました。いじめられた理由はいじめられた友達を助けただけなのに次の日いろんな子に無視され、助けた友達にまで無視されました。それから私はいじめに耐えてきて人を信用することを失い助けたりもしないことにしました。でも今回いろいろな話が聞けて、やっぱりいじめられている人を手助けしたりすることがだいじだと思いました

●私は自分が言われてやられてたのに、それを他の人にも思い知らせてやると思ってたけど「いじめと人権ワークショップ」に参加させていただき、気もちが変わりました。これからはそれをやめ、いじめられている人がいたら助けてあげられる人になりたいです

●実際にいじめを今でも受けてるので、聞くのがとても辛く逃げ出したかったです。遠い所から来てくれたのはありがたかったですが、それでも辛く逃げたいと感じました

●最後に配られたカードが心に刺さった。犬の「命」のこと

●ぼくはいじめられなくなりました（３年後半から）しかし中学、高校が心配です。よく集団でいじめたりして川で殺されてしまった事件を見て人間というのはどれだけひどいのか……そう思いました。表ではいい人がいる中、裏では悪い人がいると、人は集団で行動するときリーダーがいて、そのリーダーの言うことを聞かないとおい

ていかれてしまっていじめも同じ、リーダーが言った人をいじめないと自分もいじめられると思っていじめるんだと思います

●今いじめられているので、これを聞いてイジメをやめてほしいと思った

●〝いじめは犯罪〞、法にふれることが印象に残りました。いじめられた側はいつまでたっても忘れられません。私は小学校生活ほとんどがいじめとよぶほうがいいくらい精神的苦痛や肉体のことを言われ続けました。いじめは犯罪だってことを深く、性格が悪い方々に言いたいです

●人はいじめることによってストレス発散しているのは少し悲しくなった。なぜなら私は昔いじめられたことがあり、ものすごく苦しかったのに向こうはおもしろ半分、記憶に残っていない、ストレス発散など自分勝手で私のことをもっと考えてほしかった

いじめた

●やっている立場からすれば、いじめた後の反応を見るのが楽しみでやっている人がいるので、逆に無視をして相手にしなくても良いと思う

●私は友達におどされていじめをしたことがあります。でもその後私は友達に「そうやってコソコソかげで色々やってるあんたの方が、みんなから嫌われているよ」と一言いって、その子とは縁を切りました。それからは友だちも増えました

●小学校６年生のころ、今は大事な友達である子をいじめてました。今、いじめていた事を思い出すと友達はどんな思いで毎日を過ごしてきたのだろう。友達の人生の一部分を台無しにしたと思います

●自分の人生の一部分も後悔ばかりです。だけど、いじめる方からも一つ主張があります。それは、いじめられる側が悪いと思っています。それはなぜか。何も悪い印象を与えなければ「いじめ」というのはナイと思っているからです

●私はこの授業を受けるまで友達が傷つくような言葉をよく使っていました。それでもこの授業を受け、友達が傷つく言葉がわかりました。その言葉はどれも自分が言われたら嫌な言葉ばかりでした。それに「いじめ」といっていることでも、ちょっとしたことから殺人まであることを初めて知りました。わがままは赤ちゃんまでと言われた時、私は、「赤ちゃんから全然成長してないな」と思いました。私はこれから友達の傷つくことはしないと思いました。こう思えたのはこの授業のおかげです。ありがとうございました

●ちょっとした事がすごい犯罪や差別になるんだなとびっくりした。私はいじめられたこともあるしいじめたこともあります。なぜ、自分が嫌な思いをしたのにそれを他人にさせるのだろうと後悔しています。人を絶対傷つけない。何か嫌なことを言われたら言い返せる勇気を持ちたいです。自分の人生を幸せにしたいから

●ぼくはいじめたことがあります。悪口を言ったりしていました。ぼくはこれからそんなことをしないように心のコントロールをちゃんときちんとしたいなと思った。だから自分のなやみなどを言えるような人を作っていきたいなと思いました

●「いじめてる人は自己中だ」というようなことを言われた時、なんかイヤな気分になった。私は小学生のころ楽しいという気持ち、最初はムカつくからという理由でいじめていました。私はいじめられたことがないからいじめられている人の気持ちはわからないけ

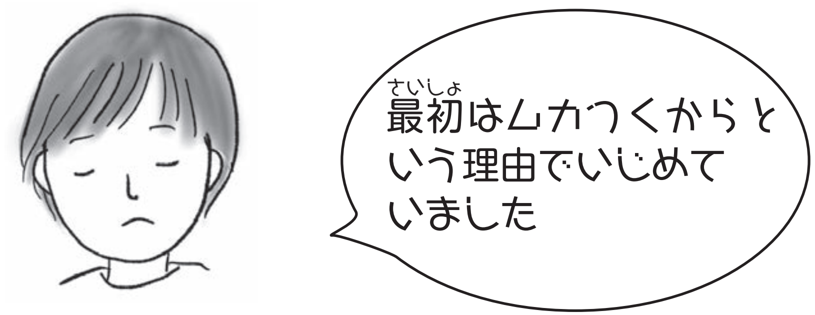
ど、自分がやられたらきっと不登校になっていたと思う。私の行為はほとんど全てのものに当てはまるひどいことです。これからは絶対そのようなことがないようにしていきたい！

●いろいろと自分たちが家や学校内でやっていることは犯罪だったのかと思うとちょっとゾッとしてしまった。もう少し自分の行動にけじめをつけていきたい！

●ぼくは今日のワークショップ中のいじめに多く当てはまりました

●今はいじめをしていないけど、もうだれもいじめたくないと思った。いじめをやっていた理由はたぶん「あねからくるストレス」と「家庭の環境」だと思う

●あの人は変。あの人はキライ。という話を聞いたり言ったことがあります。でも、今日のワークショップでの話を聞いて、みんなカンペキじゃなくて出来ないこともあるのに、どうしてあーいうふうに言ってしまったのかが、自分で自分をふしぎに思いました。いじめられている人も、言いかえせるように勇気を出してほしい。私も勇気を出したいから



●自分は人をいじめたことがある。友達がその人をさけ始めたし、自分も気にくわないなぁと少し思ったことがある人だったから。今ではそんなことしてて（あぁ、自分ってみにくいな）と思ったのも覚えている。いけないとわかるけどやめられなかった。もうこんなことはしたくないと思った。今回の話を聞いて、よけいにそう思った

●私はだれかがだれかをいじめているのを見て、友だちに「こいつきもいよねー」って言われて「うん……」って言ってしまいました。もし自分が「きもくないよ！　かわいそうだよ」なんて言ったら、自分もいじめられちゃうと思ったから、ついうそを言ってしまいました。でも今日の授業をやり気づきました。一緒にのってしまったらいじめてる人と一緒というのがわかりました。だから今日教えてくれたやつをいかしていこうと思います

いじめ、差別、犯罪

●「いじめは犯罪」という言葉が印象に残っています。学校でおもしろおかしくやっていることは外に出たら犯罪になるのかと思うと今までやってきたことが怖くなってきます

●はんざいのやつ、４つぐらい親にやられたことがありますwww

●ワークショップで印象に残ったことは、いじめは犯罪であるということです。いじめはやっぱりすごく悪いことだと思いました。いじめはつかまりづらいらしいですが、いつかいじめも犯罪として警察が動く時代が来るといいなと思いました

●いじめを見たら後々犯罪に発展していく前に阻止するべきだと思った。いじめ（差別等）はみんなが心地よく過ごすために防ぐべきだと思った

- ●私はいじめの仲間にさそわれた事があります。その時、私は断っておいてよかったと今日思いました。実際に私がその仲間に入っていたら、今日説明してもらった差別に関係していたかも知れないと思って、とても悲しくなりました
- ●いじめをするのは犯罪すれすれだとわかった。あと、ふざけ半分でやった人は最低の人間だと思った
- ●お話を聞いて、自分の当てはまるようないじめや差別があったことに気づいた。自分と同じ人はいないのだから、その違いを認めていくことがいじめをなくすことにつながっていくと思う
- ●人をいじめたり人権差別する人は単純にストレスがたまっているからや、みんなと違うからということでやるから許せない
- ●中ではいじめでも、外では犯罪になるのもあると聞いた時、少しドキッとしました。理由は６－２でも似たようなことがあったからです
- ●差別にはいろんな種類があったけど、全部自分がえらいんだって言ってるように感じた
- ●僕は差別はいじめの中にある物だと思っていたので少し驚きました。この授業を受けていじめと人権のことを考え直すきっかけになりました。ボランティアでこの活動をしていると言っていたので、世の中にはそういう事をしてくれるいい人も多いんだと実感しました。楽しい授業をありがとうございました
- ●動物とコメントが書いてある紙は大事だと思った。差別をしたらどれだけ人が傷つくかわかった
- ●まず「いじめは犯罪だ」ということです。学校に守られているから警察沙汰にならないだけであり、本当にいけないことなんだと思いました。最後に配られたカードで友達って大切だなと改めて思うことができました
- ●職業差別や人種差別は聞いたことがあるけれど年齢差別などは初めて聞いたのでびっくりした
- ●いじめの怖さが改めてわかりました。「いじめ」＝「犯罪」とずっと覚えていたいです。私はいじめられている人がいたら、きらいな人でも助けてあげたいです。ロールプレイングで発表できてよかったです

疑問、質問

- ●イジメにたくさんの種類があることがわかった。でも、女の子の場合は、もっとハッキリしないいじめがあると思う
- ●いじめについて楽しく学習と言うのは、ちょっと無理があると思います。本当のいじめというのは、暗く心にのしかかるものだからです
- ●今回ワークショップをして、いじめや差別などがどんなにひどいものか知りました。けれど、いじめられている人ももっと努力し、自分を他人に弱く見せないようにすればいいと思います
- ●いじめられた時に反論はするべきだと思う。しかし、ケンカの時に、気にさわる様な反論をすると怒りは増えてしまうので、もっと他の言い方にすべきだと思う
- ●中１にいじめが多いのは、新しい人が来たり、反抗期だからでは？私はいじめられる方にも問題があるパターンも少なくないと思う
- ●いじめは弱い人だけに対してではないと思った
- ●「いじめ」と「コミュニケーション」は区別が難しい。会話の中で「何

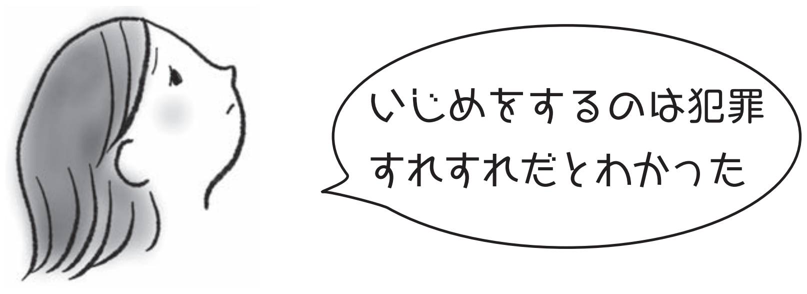
だよ、死ねよ（笑）」と言っただけでもいじめか？「何でだよ！」と言って頭をたたけばいじめか？

●ロールプレイでやっていたのは、１対１だけど、私がやられたトキは、４対１だったから、そういうのもどう対応すればいいのか、やった方がイイと思う

●いじめる方じゃなくて、いじめられる方に問題があると思う。そいつがウザイって思うようなことをしない限りいじめないと思う。でも、殺されんのとかヤダし、イジメんのってホントヤダナとかも今日、改めてわかった！

●何でみんな言い返すときに言葉使いも悪くて、けんかごしなのでしょうか？　どうしてみんなで仲良くしようという発想がもてないのでしょう？

●ロールプレイを見て、みんなはちゃんと言い返せていたけれど、もし実際あのような（いじめられている）立場になったら、あんなことが言えただろうかと不安になる。誰だっていつあのような状況に置かれるかわからない、というところが怖い。みんな同じ立場だし、



地位なんて関係ないのに「いじめ」が起きるのは理不尽だと思った

●「死ね」とか「ウザい」とか言っただけじゃイジメじゃないと思います。陰で言ったり、本気で言って初めてイジメになると思います。だからあの説明は少し違うと思います。じゃれ合うということもコミュニケーションでは大切だと思います

●たぶん言い返しただけで済むなら、いじめはおきないと思う

●ロールプレイでやったことは、あまりイジメじゃないと思う。一番いやな思いをするのは「無視」や「かげでこっちを見ながらの悪口」だと思う

●いじめるんならもっと効率よく、人のいない所でやるから、呼びかけたってムダ

●こんなふうに書くと、ダメなんですけど、見てて前に出て言うことで、なんか「なまいき」とか思われていじめられそうでした

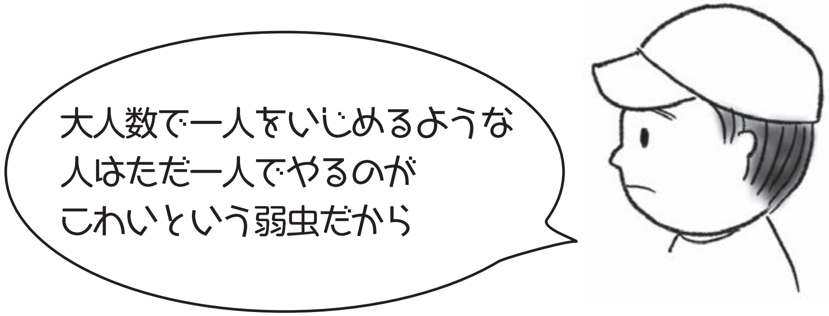
●私は最初、いじめる人も悪いけど、いじめられる人も何もしゃべらないから悪いと思っていました。でも、今日勉強していじめられてる人はわざとしゃべらないんじゃなくて、言葉が出てこなくて、それをずっとうらむということがわかりました。でも今でも「ケンカ」と「いじめ」を変えるのは、「言われている人」だと思います

●ロールプレイについての感想は、「にちじょうによくある」と思いました。「〜のくせに」などの事はよくあります。でも私は別にいやな気持ちにならなかったです。でも、これは差別に入るのですか？　私は自分がいやだと感じたのならいじめ、差別になるんだと考えました

●いじりは芸人がやるものという発言についてそれは職業差別では？

●ロールプレイでスパッとせんせいはいっていましたが、実際にいじめられたらスパッといえないし、スパッといえたらいじめに悩まな

くてすむと思いました
●先生がいじりや性差別をして生徒を笑いの種にして、まねをする生徒がいる場合がある
●中学２年のころから悪口をよく言われるようになり、今では慣れてしまい悪口を言われても無視していますが本当にこれでいいのでしょうか？
●みんなが参加できるのは良いと思った。ロールプレイも「ああこうすればいいんだ」ってわかったし。でもいつも思うのはどれだけ人が真剣に心で聞いているのか。こういうことをちゃんと心で受け止めたら、もういじめはなくなると思う。けれど、なくならないのはどうしてだろう？　流しているから？　それともすぐ忘れちゃうの？　なんなんだろう……「いじめ」ってどうやったらなくなるのかな？　なくなるの？　自殺なんてするもんじゃないと思う
●いじめている人は寂しいのだと思う。誰かと話したくて、もっとその人を知りたくていじめてしまうのだと思う。でもいじめられている人は嫌で避けてしまい、それでエスカレートしてしまうのかもしれない。いじめはいじめでもたくさんのいじめがある……「あいつムカつくからハブろう」とかその人に相手にされなくて寂しいのかもしれない。いじめはいつの時代にもあるもので、いじめは人が生きて行く中での大きな壁なのかもしれない
●なぜ世の中には見た目で判断したり、外国人などをバカにしてしまうことがあるのかすごく不思議に思いました。いじめられている人は何もしていないのに、いじめている人が自分の都合のいいようにしていて、まるでこの人のそんざいが気にくわないみたいになっているのはかわいそうです。さらに、他の人が止めようとすると、ま



たいじめられるのが一番してはいけないことだとぼくは思いました
●大人になってもうらみが消えずに人を殺した人がいるから、どんないじめを受けていたのかと思った
●いじめといじりの境界線を教えてほしいです
●性差別はないと思う。同性（とくに女）のいじめが多いと思うから。それより言葉のぼう力より精神的ないじめだと思う。前に見たドラマでは友達はもちろん先生や家ぞくには相談できなかった。自分もいじめを目げきしても言えない（言わない）と思う
●いじめとか、仲間はずれにしたり、自まんして差別したりするのは、すごく悪いことだと思いました。それに、いじめてる方がえらいと、いじめられている方は思うけど、大人数で一人をいじめるような人はただ一人でやるのがこわいという弱虫だから、いじめられている方が強いんだと思いました
●新入りは前からいた人達から暴力を受けたりいじめられたりしやすいのかなと思った。いつもいじめている人といじめられている人はだいたい同じなんじゃないかなと思った。私はいつもバカにされたりすると暴力を振るったり逆にバカにし返したりするので、あまり

よくないのかなと思った

●いじめは犯罪と同じくらいひどいことなのに、つかまらないのがおかしいと思った

●ロールプレイの中での言い返しにも差別している言葉などがあったと思うのですが、言い返しにそのような言葉を使ってもいいのですか？

●今日の「いじめと人権」の授業を受けて、いけないことだ！っていうことがよくわかった。けど、いじめられる人はいじめられるなりの行動をしているからいじめられるんだから、いじめる人はそんなに悪くないと思う。だから私はいじめをやめようとは思いません。私のうらみはきっとなくなることはないでしょうから……でも私以外の人は、きっとこれからいじめをなくそうと思ったと思いますよ

●人権は大事だと思いました。いじめはダメだと思いました。この世は平等だと言っていますが、たいして平等ではないことがわかり、この世から「いじめ」と差別という言葉は消えないと思いました

●いじめはどうしてもゼロにできないことが悔しい

●俺は今日の話を聞いていつも友だちとやりあっていることがいじめとか犯罪と同じということがわかったのでおどろいた。今度からはいじめとか犯罪にまったくふれないことをしたいです。いじめられてもたえぬく心を身につけることもしたほうがいいと思う

●いじめとけんかの違いについて中学生になってからもうほとんどけんかすることはなくなった。けんかの前に認め合うことができるようになったからだ。しかしそれが逆にケンカではなくいじめにつながってしまうということが起きているのではないかと考える

●どうして高学年になるにつれて、いじめが多発するのか、 どうして止められないのかなどとても不思議でした。けれどもいじめは悪いということがもっとわかりました

●親のことを言われたら言い返すことができなさそうだった

●けんかは話しているうちに解決していたが、あんな簡単におわらない。実際自分が今そうです。友達にイジメられてるわけではなくどちらかというとケンカです。これは何回話しても解決しません。ライン上で解決しても実際に会うとわだかまりがかなり残っていて、もう１週間１回も話していません。そんなときの最善策をみんなに広めてください。お願いします。自分で今とてもいやな気持ちをしています。他の人を助けてあげてください

●いじめで自殺して遺言にいろいろ書いても意味がない事には驚きだった。学校でやったことが外でやると犯罪になるのになんで学校では良いのだろうと思ってしまった。「子どもだから」というけれど、その優しさは優しさじゃないと私は思いました。きちんと今言って今直さないといけないのに。私たちはおこられてまたやっての繰り返しで、今以上に直さなければいけないと思いました

NPO、ボランティア

●いじめについてここまで働いている人がいるなんて思わなかった。やっぱりいじめはよくない

●いじめについてもっと取り上げてもらうようおやじギャグを使うところが印象に残った

●こんな授業はめったに（全然）ないので、この機会にいろいろなことがわかってよかったです。すごくためになることだったので本当

によかったです

- 「講演会」と聞いてただ誰かが長い文章を読むだけなのかと思ったのですが、想像とは全く違っていたので驚きました。金魚を例えとして用いたりパネルを使ったりなど眠くならずに楽しく聞ける講演会だったので、こんな風にできるなんてすごいなぁと思いました
- 今回の授業でいじめはいけないということがよくわかりました。ロールプレイもやっていただき、詳しい解説パネルなどとてもわかりやすく説明していただきありがとうございます。NPO 法人市民共同学習プロジェクト子どもひろばはとても大切なプロジェクトだと思います
- どういう対応したらいいのかや、たくさんわかって私は勇気づけられました！　本当にありがとうございます。あとこのカードはなくさず、今日おそわったことは心の中に入れておきます。本当にありがとうございました

大人のみなさんへ

自分自身がいじめられた経験があることを書いている子どもが少なくありません。

思春期になると親にも友だちにも本心が言えない傾向が強くなる中で、このワークショップをきっかけにしていじめられた経験を自分で認めて向き合ったことは大きな意味があると感じました。

一方で自分自身がいじめた経験があること、反省していることを書いている子どももいます。

過去の行動を改めてふり返り、相手が傷ついたことに気づけたこと、またはなぜ自分がいじめたのかを考えて自分を客観的に見つめられたことは成長につながると感じました。

また、いじめられた経験がある子どもが苦痛を感じながらこのワークショップに参加していたという声もありました。しかし結果として、悩みながらも受け入れ、励まされたり、いじめのない社会を望むという気持ちになれたようです。このようなワークショップの場合、「そこに被害者がいた場合は再度傷つくのではないか」という大人からの指摘が時々ありますが、少なくともいじめ被害の場合はタブー視せずに向き合うことで乗り越えられる可能性があると思えました。

これらのアンケートを集計していて「あなたは誰かがいじめられているのを見かけたことがありますか？」という質問に、「ある」と答えた子どもの多くは、自分自身もいじめられた経験があると答えた子どもだと気づきました。逆に「ない」と答

えた子どもの多くはいじめられた経験がないという子どもたちでした。自分自身がいじめられたから他人事に思えなかったり、人のいじめにも敏感になるのではないかと考えました。

ロールプレイに関しては園児や小学校低学年のほうが、積極的に参加する傾向があり高学年や中学生は周囲の目を気にしてか消極的なのですが、「ロールプレイがあったからわかりやすかった」「楽しく学べた」という声が多く、たとえ自分が参加しなくても友だちなどのロールプレイを見ることでより身近でインパクトが大きいことが確認できました。

いじめられたときに「先生に相談した」「友だちに支えられた」という子どもがある程度いましたが、「親に相談した」という子どもはあまりいませんでした。やはりこの年代の子どもの生活の中心は家庭でなく学校であり、そこでのいじめは大変重たいものだと痛感しました。

最後に「この授業を他の学校でもやってほしい」「全国で拡げてほしい」「この授業でいじめが減ると思う」「この授業で救われた」などの予想外の声が多数ありました。これまで他のワークショッププログラムではほとんどない反応でした。子どもたちからの声は私たちにとって大きな支えになりましたが、その一方で授業の実現には学校や保護者からの理解が不可欠であり、子どもたちの期待に十分に応えられない力不足を痛感しています。

プログラム 3

CEP「いじめをやめよう」ワークショップ

■実施対象　小学校低学年～中学年　2,914 名
■実施期間　2007 年～2017 年
■実施回数　55 回

プログラムの概要

いじめのことをタブー視せず、学校や家庭でオープンに話し合うきっかけをつくるプログラムです。いじめ防止教育はまだ深刻化しない小学生の段階で実施するほうが防止効果は大きいと考え、実際のいじめの事例を参考におもにロールプレイ（役割を演じること）が中心のプログラムになります。

保護者研修のテーマは、子どものコミュニケーション能力を育てる親子関係です。

プログラムの目的

1. いじめとは「具体的にどんなことをすることなのか」を知る
2. いじめられている人のつらい気持ちを想像することや、自分の気持ちを素直に表現することを学ぶ
3. 実際の場面でどうすればいいかロールプレイを通じて実感する

プログラムの内容

1 学習メニュー

アイスブレイキング

水槽の金魚をヒントに自分たちと違うもの、弱い者へのいじめについて考える。

いじめと遊びの違い

両方の人やそこにいるみんなが楽しければ遊びで、片方の人や誰かが楽しくなければいじめになることを理解する。

どんないじめがあるかな？

仲間はずれ、暴力、言葉のいじめ、ものをとる、ものを壊す、そうじ道具入れに閉じ込めるなど、どんな行いがいじめとなるのかを知る。

今までにいじめられたことがある人は？　いじめたことがある人は？

嫌なことを言われたときに自分の気持ちを言う練習

以下の４場面（A ～ D）のロールプレイを通して、嫌なことを言われたとき、相手に自分の気持ちを言う練習を行う。

A　このえんぴつと消しゴムもらったよ！

B　あの子仲間はずれにしようよ！

C　明日、学校にお菓子持ってきて！

D　あの子をそうじ道具入れに閉じ込めちゃおうよ！

友だちに相談されたときの練習

以下の２場面（A、B）のロールプレイを通して、友だちに相談されたとき、どのように対応するかの練習を行う。

A　いつも男子のグループに暴力されるの

B　買ったばかりのえんぴつと消しゴムとられちゃった

先生に相談する練習

下に記した場面のロールプレイを通して、先生に相談するときの練習を行う。

・そうじのときに、みんなが遊んでばかりで１人でやらされます。

2 まとめ

　クラスにはいろいろな人がいて全員違います。

スポーツが得意な子と苦手な子、なんでも早くやる子と遅くやる子、同じことをやられても全然平気な子とすごく気にする子、それぞれの性格が違います。

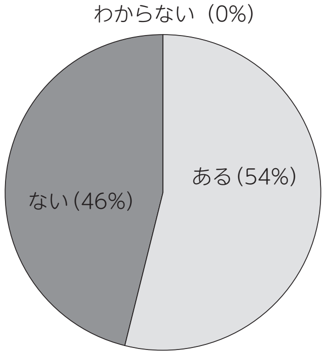
　弱いからいじめられるのではなく、強くてもいじめられますから誰でもいじめられるかもしれない。だからクラスみんなで考えていじめをなくすようにしましょう。

小学校での CEP「いじめをやめよう」ワークショップの出前授業風景

学習後のアンケート結果

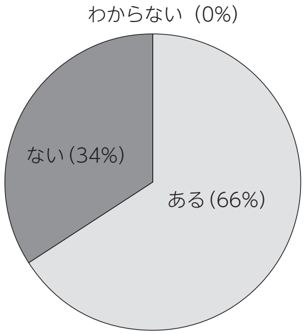
Q1

あなたは誰かからいじめられたことがありますか？
→ 156 ～ 158 ページ



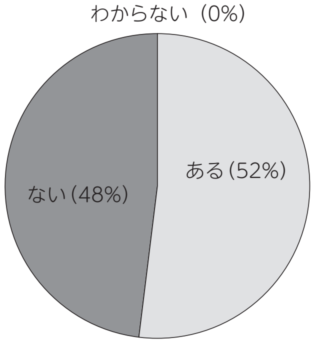
Q2

あなたは誰かをいじめたことがありますか？
→ 159 ～ 161 ページ



Q3

あなたは誰かがいじめられているのを見かけたことがありますか？
→ 162 ～ 164 ページ

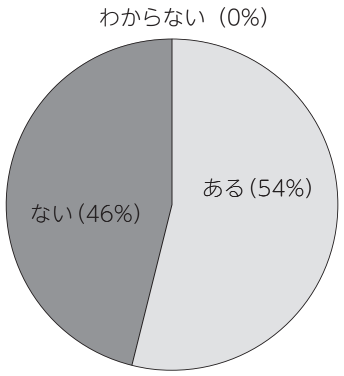


Q4

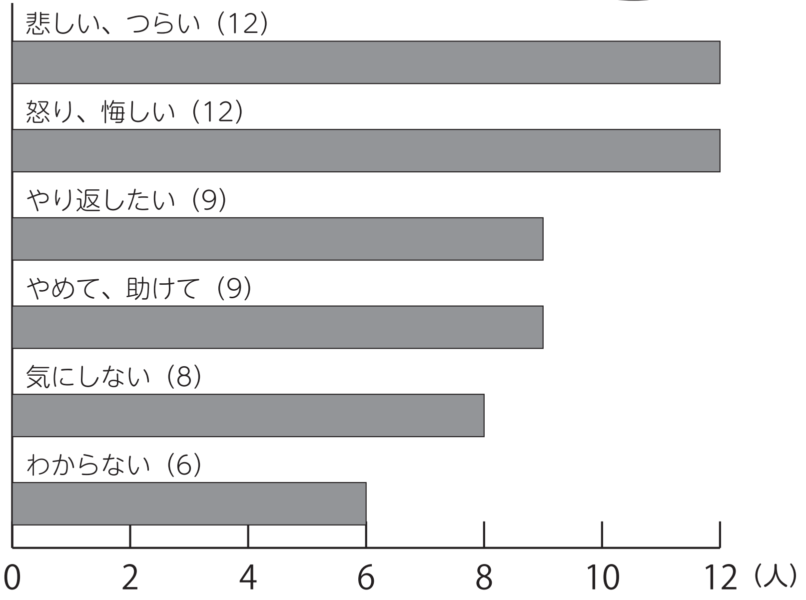
いじめのないクラスにするにはどうすればいいでしょうか？
→ 165 ～ 167 ページ

Q1 あなたは誰かからいじめられたことがありますか？

半数以上の人がいじめられた経験があると答えています



いじめられたときの気持ち



みんなの声

Q1で「ある」と答えた人に、そのときの気持ちを自由に答えてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

悲しい、つらい

●はやく家に帰りたい　●てんこうしたい　●こわい
●表では仲良くしててもうらでは悪口を言われていたのでショックだった
●なみだをながしたい　●ひっこしたい　●情けない
●学校をやめたい　●はずかしい
●そのあそびにいれてほしかった
●したくないことを手をつかまれてやらせられてはずかしかったりこわかった、いやでもあった

怒り、悔しい

●むかつく　●イライラする　●ぶちぎれる！
●このやろう！　●むしゃくしゃする
●ふざけんな、てめえ　●あんな人きらい　●その子はいじわる
●いやなきもち　●自分もいやだ

やり返したい

●ぶんなぐりたい　●けりたい　●さついがめばえる

●ぶっとばしたい、なぐりたい、しね、イラつく、100 倍返し、ころしたい
●その人にもさいなんがおきてほしい
●倍返ししてー　●じごくに落としたい
●やりかえしてじぶんがやったことをおもいしらせてやりたい‼
●言い返したい

やめて、助けて

●やらないで　●もういってほしくない
●あそびたくない　●しきるのやめて　●その子の母に伝える
●近くのともだちにいう　●先生にいってやる
●いいつけたい

気にしない

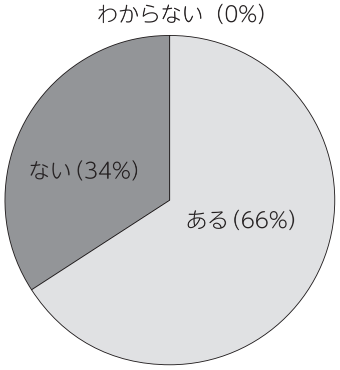
●聞いてなかった　●別に気にしない、深く考えない
●むしする
●ほっとく　●しらんぷりしたいです　●しょうがない
●だいじょうぶ　●とくにかなしくない

わからない

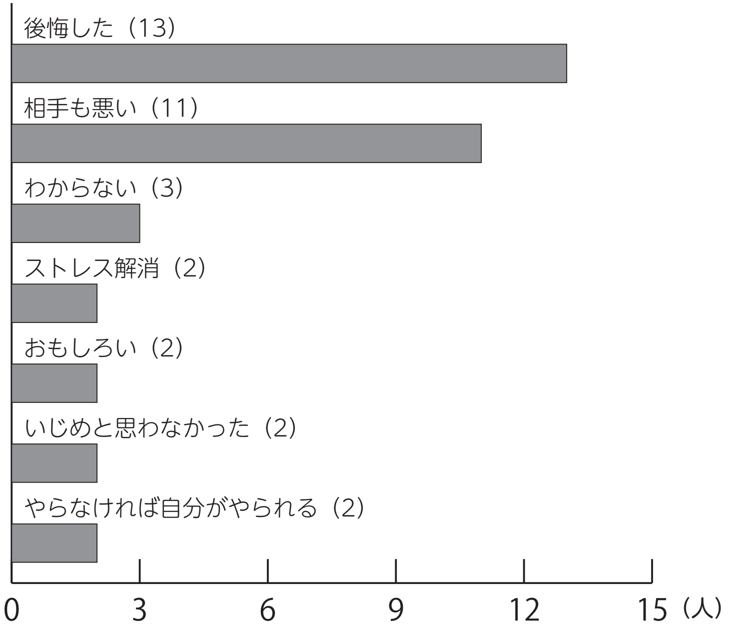
●りゆうをききたい　●いみわかんないきもち　●なんでだよ～
●なぜ私？　●前、助けてあげたよね、なんでいじめるの

Q2 あなたは誰かをいじめたことがありますか？

３人に２人がいじめたことが
「ある」と答えています



いじめたときの気持ち



みんなの声

Ｑ２で「ある」と答えた人に、そのときの気持ちを自由に答えてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

後悔した

●やらなければよかった　●何でやっちゃったんだろう
●あやまりたい　●口でいえばよかった　●まずいと思った
●やるとかえってくる　●相手の気持ちを考えればよかった
●ちょっといいすぎた　●一生心に残る
●自分がやられていやなことはやらないようにしよう
●自分がバカだ !! なにをやってんだよ。自分明日か今日あやまらなきゃ
●すこしのきもちで言ってしまったことばが、とてもいやというのがしれてはんせいした
●なにしてたんだっけ

相手も悪い

●うざかったから　●前、強い言い方を言われたから（悪口や）
●しかえし、わるい？　ケンカ売ったから買っただけ
●やられたから　●だまされてむかついた　●くやしかった
●あっちも悪い　●いらついたから　●いやなことがあった
●「だってあの子がわるいことしたじゃん」と思った
●その人にいじめられたから

わからない

●自分ではないと思っていても、ほかの人から見たらいじめに見えることがあるからないとはいいきれない　●ふつう
●なにもおもわない

ストレス解消

●すっきりした

おもしろい

●ふざけはんぶん

いじめと思わなかった

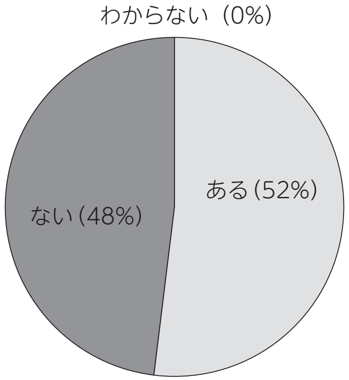
●それがいじめだと気づかなかった
●ようちえんの時、いじめているじかくがなかった、何も感じなかった

やらなければ自分がやられる

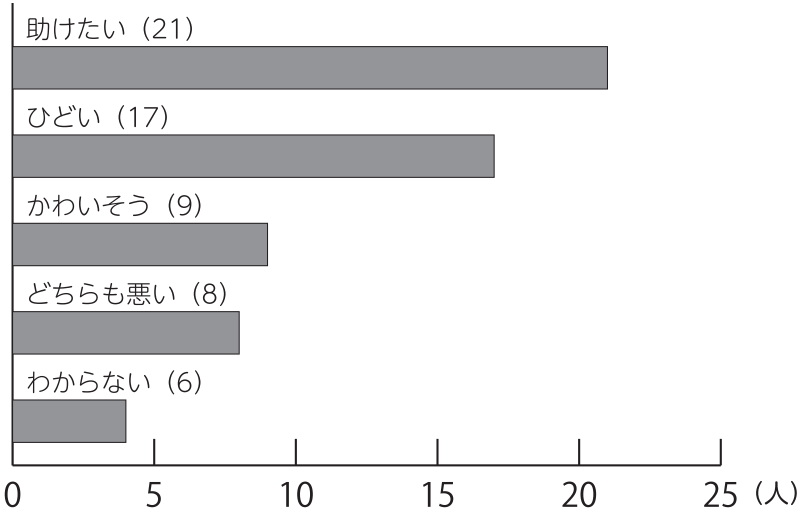
●やらないとなかまはずれにされる

Q3 あなたは誰かがいじめられているのを見かけたことがありますか？

半数以上の人がいじめを見かけたことがあると答えています



いじめを見たときの気持ち



みんなの声

Q3 で「ある」と答えた人に、そのときの気持ちを自由に答えてもらいました。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

助けたい

●たすけたいけどできない　●助けると自分がいじめられる
●助けたいけどまきこまれるからいやだ　●先生に言おうかな
●やられてる方の仲間になってやりたい
●そこに入ってその人にダメだよっていってやりたい
●やられてる子も言い返した方がいいと思う。でも味方はしたい
●かばう　●おはなしをききたいです
●はやく先生に伝えたい　●なぐさめてあげたい
●こわいからたすけられなかった
●先生にそうだんしないとと思う
●助けてやられたことがあるから助けられない
●でもどうやってたすければ　●どうにかしたい
●たすけたいけどそのいじめてる人がこわくて言えない
●しんゆうだから助けたい　●助けた

ひどい

●なんてやつだ　●ふざけんじゃねーよ　●大ばか　●へんな人
●めいれいしてる　●なんでだれも注意しないんだろう！

●本当にあるんだなと思った。それはじゅくで10人で1人を半年ほどいじめていました。見てるだけで泣きたくなりました。もうおさまりましたが、あの時何もできなかったことを後悔しています

●すごくいや　●相手の気持ちを考えろよ‼

●人としてどうか　●うざい、アホ馬鹿　●なにやってるの‼

●たいばつやぼうげんをやられてた

●人のことなぐっちゃだめなのに　●びっくり、しんじられない

●あいつへんだな　●いじめてる人をゆるしたくない

かわいそう

●なんでそんなことするんだろう　●いたそう　●こころがいたむ

●みじめ　●大丈夫かな……　●やられてる子ガンバレ

●なんでいつもあの子だけやるのだろう

●あの子をやるなら自分にやってほしい

●じぶんはがんばっているのにいじめられてかわいそう

どちらも悪い

●やられてる子がわるい　●またやってる　●ばかみたい

●うるさい　●ばかみたいぐらいやってる　●どっちも悪い

●自分で言わない人がひきょう　●じぶんがやりかえしな

わからない

●ふざけだと思った　●どうでもいい　●はがゆい

●どうしたんだろう　●どうしよう

●なぜいじめるのかわからない

Q4 いじめのないクラスにするにはどうすればいいでしょうか？

自由記述のみの回答になります。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

自分でよく考える

●みんな自分がやっていることをいい事か悪い事か自分じしんでわかってなおせればいいと思う

●自己中にならないように自分をコントロールしたり、一人一人のいじめについての「いしき」を高める。そうすればいじめのないクラスになると思う

●人に嫌がることをしない→なぜ？　いじめの始め。人がいない所で悪口はダメ→なぜか？　悪口が大げさになり、シカトが始まる？（よそう）

●一人一人が自分に対してきびしくすればいいと思います。あいてにちょっかいをださない。自分がされていやなことを相手にしない

●自分からいじめをしないようにする。自分が自分とたたかえばいいと思う

●もう一度自分を見直してもらい、もう二度といじめをしないと、心からちかってもらう。もしいじめをしていたら、その人に「自分がやられたらどう？」と聞きわかってもらう

●自分の気持ちをしっかり言う。そうぞうする（自分はなぜやってるか、やっていいことなのか、自分がやられたらどうなるか）などなど。はんだんする（あそびといじめのくべつをする）
●みんなが一人でもいやな人がいても相手のことを認める。悪いことは悪い、良いことは続ける。このようなけじめを持つことだと思います
●自分が言われていやなことは言ってはいけない。自分のおもいどおりのことばかりしない

みんなが楽しく

●みんなを笑わせなければいけない。みんなが笑ってくれたらぼくもうれしいし、みんなもうれしいのでムードメーカーをふやす
●いやなことをしない。一人だけにしない。だってかわいそうだから
●みんなとなかよくする。だれかが楽しくてだれかががまんするということはしない

先生に言う

●いじめをする前に一度考える。先生がたいばつをしたりぼうげんをはいたりしない
●先生がいじめのこわさをみんなに教える
●いじめた人の親を呼ぶ
●注意したり注意されたり、おたがい、まなんでいけばいい。もしそれでもだめだったら、先生に相談します
●たとえきらいな人がいてもいじめずに、いやなことを正直に話す。いじめている人や自分がいじめられたら先生や友達など、だれかに

相談し、エスカレートしないようにする
●いじめている人がいたらちゅういして、そしてぼうりょくをふるったら先生に言う。最後にいじめられていたらナイショにしないでちゃんと先生にきちんと言う

みんなで考える

●みんなが平等でなくてはいけない
●みんなでいじめについて考える機会をきちんととる
●考えややり方は人それぞれちがうということをみんながりかいすれば、いじめのないクラスになると思う

助け合う、認め合う

●おたがいにキズナを深めいじめられている人を助ける
●人のいやなことはやらないで人の役に立つことをする方がいい
●みんながみんなをみとめ合えばいいと思う
●人はちがうからまちがったりしてしまった人を笑わない。やっちゃったらあやまる。やられたらそうだんする
●ジコチュウはよくないネ。思いやりがたくさんあればいじめもなくなる
●みんな一人一人が助け合う。いじめられたらほかの子といっしょにいる。思ったこと (自分の思っていること) をぶっちゃける

ワークショップの中で わかったことや思ったこと

同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

反省した

●げきを見ていると自分がやっていることが少しあって少し重なっていました。反省しています　　●こうかいした事はある

どうすればいいかわかった

●げきがどれもげんじつでありそうで、こんなときどんなことをすればいいのかがわかってよかったです

●「あいついじめようぜ」って言われたら、どうことわればいいかがわかった。またいじめられたら親にたよろうと思う（先生も）

●たんじゅんでわかりやすかった。5年生のやるところもあって良かった。いじめの対処法がわかった。金魚に例えたりして良くわかった

●いやなことを言われたらそういうことはほっとけばいい。「あーそういうやつなんだな」と思われるだけだから

いじめられている気持ち

●少しことばをかければひとはほっとするときもあることがわかった

●今、人をいじめている人にいじめられてる人の気持ちの辛さを知ってほしいと思いました。姉が言っていた「いじめる側だけにはならないで」という言葉の意味がよくわかりました

●いじめられてる子がいっぱいいることがわかった

●今日はすごく勉強になりました。ぼくも前にいじめられた事があって、すごくくやしくて悲しくてやりかえしたい‼という気持ちもありました。でもお母さんにも言えなかったしだれにも言えませんでした。でも今はこの学校は楽しいからこの学校にきて良かったなぁと思います。これからはいじめられている人を助けられる人になりたいです

●やっぱりいじめてる側は気づかなくても、いじめられてる側はすごく心に残るんだということを改めて実感。ふざけ半分でも自分から気づかなくてはいけない

●いじめというのは最も大きな罪だというのがわかった。中学に上がったらあるのだと思うとコワイな〜

劇

●さいごのえんぎにでたから、そういう子がいたらたすけてあげよっと思いました！　今日は前に出てよかったと思った

●げきを見ていじめている人たちは、やっぱりわるい心をもつんだと思いました

●きょうは、げきつきでわかりやすかったし、たのしかった。みんなげきのたいけんをして、たのしかったです

●いろいろわかり、まなんだことがあってたのしかったです。ことわるときも今日のことをどんどんつかいたいです。げきもたのしかったです

大人のみなさんへ

いじめられたときの気持ちは落ち込む傾向の高学年に比べて、低学年では「仕返ししたい」とか「ぶんなぐりたい」など怒りや憎しみが強いようです。

一方で、いじめたときの気持ちは「おもしろい」「楽しい」などのその場の気分に左右されるような傾向があると感じました。

いじめられている子を見たときの気持ちは、多くが「かわいそう」「助けてあげたい」などの同情や思いやりが感じられました。

いじめをなくすためにはみんなで話し合いたいとか先生に相談するなど、この年代では素直な気持ちが強いことがわかります。

プログラム 4

CEP「子どもの安全トレーニング」

■実施対象　小学校低学年　1,405 名
■実施期間　2013 年～2017 年
■実施回数　53 回

プログラムの概要

異なる年齢の子どもの集団では幼い子どもがいじめのターゲットになりがちです。また帰宅時間が遅くなると不審者による被害も増えるため、おもに学童保育の子どもたちを対象に、「いじめ」と「不審者」の両方から子どもを守るプログラムとなっています。

プログラムの目的

1. 子ども同士のいじめやケンカなどに対応するコミュニケーション能力を高める
2. 通学路の不審者からの犯罪被害を回避する方法を学ぶ
3. 自分の感情を表現し、他者に受け止めてもらう成功体験を得る

プログラムの内容

1 学習メニュー

アイスブレイキング

水槽の金魚をヒントに自分たちと違うもの、弱い者へのいじめについて考える。

嫌なことを言われた

ロールプレイを通して、嫌なことを言われたとき、相手に自分の気持ちを言う練習を行う。

先生に相談する

ロールプレイを通して、いじめられたときなどに、先生に相談する練習を行う。

不審者から自分を守る

ロールプレイを通して、不審者にあったときに自分の身を守る練習を行う。

おうちの人に相談する

ロールプレイを通して、いじめられたときなどに家族に相談する練習を行う。

学習後のアンケート結果

Q1

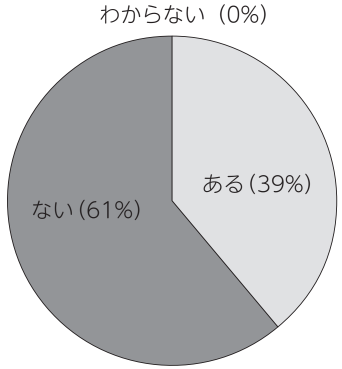
あなたのことをいつも心配して守ってくれる人は誰ですか？

→ 174 ページ

Q2

あなたは友だちから嫌なことや怖いことをされたことがありますか？

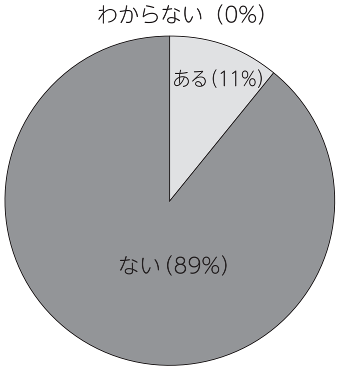
→ 175 ～ 180 ページ



Q3

あなたは知らない人から嫌なことや怖いことをされたことがありますか？

→ 181 ～ 185 ページ



Q1 あなたのことをいつも心配して守ってくれる人は誰ですか？

自由記述のみの回答になります。同じ内容のものは省略し、抜粋して紹介します。

家族、親せき

●おかあさん　●おとうさん　●おじいさん　●おばあさん
●おねえさん　●おにいさん　●おとうと　●いもうと
●おばさん　●おじさん　●いとこのおとうさん
●いとこ　●いとこのママ

先生

●がくどうの先生　●ほいくえんの先生
●バスケットのコーチ

友だち

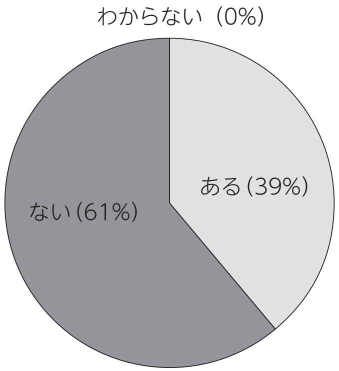
●しんゆう　●おさななじみ

その他

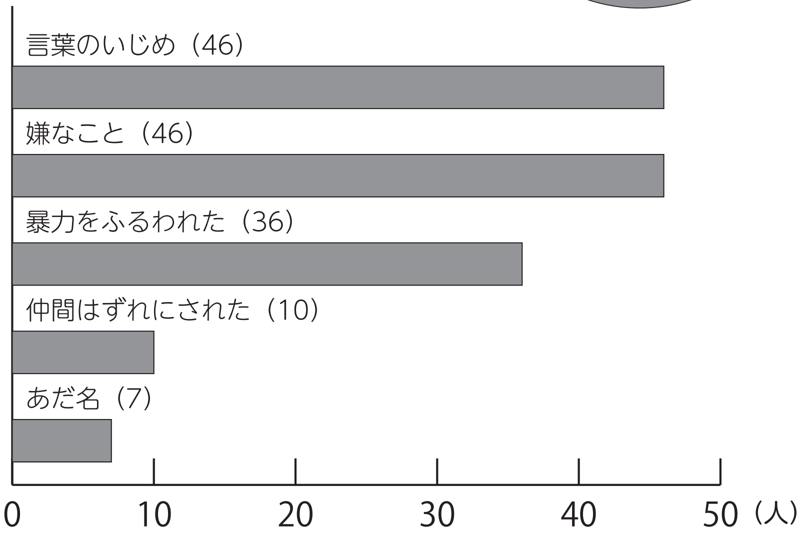
●友だちのおかあさん　●おまわりさん　●子ども 110 番
●きんじょの人　●シルバーさん　●ちいきのかた
●かんり人さん　●世界の市民　●おみせの人

Q2 あなたは友だちから嫌なことや怖いことをされたことがありますか?

言葉のいじめに傷ついたり、苦しんでいる人がたくさんいます



「ある」と答えた人の内訳



みんなの声

Ｑ２で、「ある」と答えた人に、何をされたのかを書いてもらいました。
同じ内容(ないよう)のものは省略(しょうりゃく)し、抜粋(ばっすい)して紹介(しょうかい)します。

言葉のいじめ

●友だちからバカとかいわれた　●さいてい、さいあく、うんち
●どじ　●ばか、あほ、まぬけ、しね
●がっこうでババア、バカっていわれた
●しねっていわれていやだった
●ともだちとあそんでいるとき、ぬけるねっていったらなんでっていわれた
●デブとかのろまといわれた　●みょうじを反対で言われた
●学校の３年に見た目のわるぐちをいわれた
●１週間以上(いじょう)同じわるぐちをいわれた
●なんにもしてないのに「どいて」といわれた
●かみがもさもさしている
●じぶんのなまえをバカにする
●きもちわりい　●注意されるときにキツク言われた
●ころしてやる　●うそ、ちゃかす、たいきっく
●なにかしっぱいしたとき友だちに「ばーか、そんなかんたんのやつできねーのかよ」　●バカ、キエロ、しね
●ぶっころすぞっていわれた　●名前であそばれた
●だいっきらいといわれた　●体のことで言われた
●うんちきもいといわれました
●バカ、あっちいけ、あほどじ、まぬけ
●男の子に「ぶっころす」って２回言われたことがあります
●「しねばかやろう」「うんこくさいとんま」「だまれおたんこなす」「てめーはかんけいないんだよ」　●デブチン
●しゅうだんでわるぐちを言ってきた
●ゆでたまご、ぐでたまご、じゃがいものあたま
●××くんから、ばかあしたはんまあもってくるからな
●ばか、くず、くそばばあ　●いやなことばばっかりいってくる
●うざいといわれました　●チビといわれた
●きえてしまえといわれた　●こないでっていわれた
●うざいから早くどっかにいけよバカっていわれた
●××ちゃんにそれがどうしたっていわれた

嫌(いや)なこと

●だれかわからないけど、しょしゃのじゅぎょうに、まいかいバッグにすみがついている
●がくどうのとき　●休みじかん　●ゴーゴークラブ
●いろいろある　●ふでばこをいたずらされた
●あそんでいてあいてがいばってる時　●うわばきをとられました
●がくどうでしゅくだいをやってたら、けしゴムをかってにつかわれた
●とうこうちゅうランドセルをひっぱられる　●はなくそをつける

●学校にあめをもってこいといわれた　●けしゴムをかくされた
●ぼうしをかってにさわられた　●こちょこちょされた
●自分のものを勝手にさわられた　●なかまぬける
●物をとってにげた人がいます
●ものをかくされたりされた
●ともだちがたいせつな手紙をなくした　●すなかけられた
●えんぴつをとられて名前をかかれた　●ふくをつかまれた
●学校でつくえやいすにえんぴつでらくがきされた
●カードちょうだい、おかしあげるからいいでしょ
●むねにかぶとむしをつけられた　●水をかけられた
●じぶんがべんきょうしてるときに××くんがしゃべる
●てんつなぎでまちがえていじめられた
●××にくつをなげられた
●しりとりのかみでことばをまちがっただけでいじめられた
●ねりけしをくれるっていってたのに、くれなかったです
●あたらしいえんぴつとけしごむをちょうだいっていわれた

●そうじのときに（ぞうきんがけ）わりこみをしてくる
●ぼうはんぶざーをこわされた　●よわいものいじめ
●「やめて」といってみたのにやめてくれなかった
●××くんにふでばこをらくがきされた　●ぼうしをとられた

暴力をふるわれた

●いしをせなかになげられる　●たたかれたりなぐってくる
●パンチ、キック　●かみのけをひっぱられたことがある
●すいとうであたまをたたかれた　●ほねをおられた
●放課後子ども教室で２年生の子にやられる
●ころばされたりなぐられた　●ひざをけられた
●なぐられた、くびをしめられた、ひっかかれた、悪口
●つねられてむらさきになった、あるいているときにひっかけてくる
●ほいくえんでつねられた　●ともだちにかまれた
●たたかわされた　●××くんにいしをあてられた
●ぐーぱんちでたたかれた　●ぶたれた
●せなかをたたかれた　●ジャングルジムからけられた
●くつをなんどもふまれる　●みみにえんぴついれられた
●いつもおなじひとにやられています　●おくれてたたかれたこと
●かいだんからおとされた　●歩いていた時押しのけられた
●くびをしめられた、めのなかにえんぴつをいれられた
●あしかけをされた　●男の子におなかをけられた
●はなをぶたれた
●じどうかんでひきずられていやな思いをした
●おもいっきりほっぺをひっぱられた　●アンパンマンころび

仲間はずれにされた

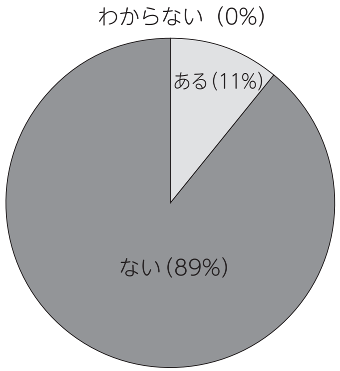
●一人ぼっちにされた　　　●こしょこしょばなしされた
●３月に中休みになかまにいれてもらえなかった
●いっしょに遊ばない
●ともだちからむしされたこと
●いっしょにかえらないっていわれた
●なかまはずれにされた、ずっとだめっていわれてる
●話をきいてくれないでどっかにいってしまう

あだ名

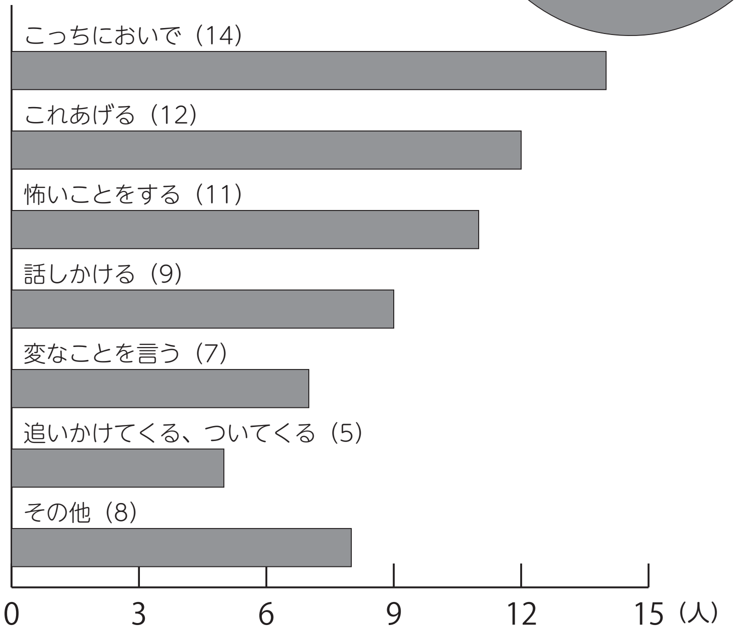
●はなしているときにへんなあだなを作ってきました
●かえるっていわれた　　　●おまえなんかきゅうりなんだよ
●××くんがさくらんぼっていっていやだった
●キラキラぼしっていわれた　　●いやなニックネームでよばれた！
●男の子たち２人に「ゴリラ」といわれた

Q3　あなたは知らない人から嫌なことや怖いことをされたことがありますか？

10人に１人が怖い経験をしていることがわかります



嫌なこと、怖いことの内容



みんなの声

Ｑ３で「ある」と答えた人に、なにをされたのかを書いてもらいました。
同じ内容（ないよう）のものは省略（しょうりゃく）し、抜粋（ばっすい）して紹介（しょうかい）します。

こっちにおいで

●いっしょにおじさんのいえにいかない
●バイクのれって言ってきた
●こんびにでおじさんのいえにきてといわれた　●ついてきな
●「こっちだよ」といわれた
●しゃしんをとられた、うちにおいで
●ようかいの名前知ってるやつは来い
●ゲームがあるからきてごらん
●がくどうのかえりにちょっとおいでっていわれた
●へんな人の車のまどから「ちょっときみきて！」といわれた。（にげた）
●こうえんでわたしがひととあそんでいてこわいひとに「ぼくのかーど、いっぱいもってるからおいで」っていわれた
●くるまにのれといわれた
●手をひっぱられた
●うしろでおじさんがおいでおいでって手でやっていた

これあげる

●かぶとむしあげるといわれた　●「あめいる」っていわれた
●がっこうにいくときに、おかねをあげるからじゅーすをかっておいで
●Ｋちゃんと帰っている時、おじさんにこれのむ？　といわれた、こわかった
●じてんしゃにのっている時カゴにガイコツのストラップを入れられた
●スイミングのかえりに道をどこか聞かれて、おしえてくれたらディズニーランドやゆうえんちのけんをあげると言われた
●ようかいウオッチのメダルと、しんうちっていうげーむをやるっていわれた
●バドミントンをしていたらしらないおじさんにカードみたいのをあげるっていわれた
●じゅーすをかってもらった　● 1000 円あげると言ってきた
●あめとちょこがあるから　●ジュースと 100 えんわたされた

怖（こわ）いことをする

●しらないおじさんに「ママもういっちゃったよ」とか、バスにのろうとしたら同じ人にあたまたたかれた
●しらないひとからあたまからおとされた
●ふんづけられた　●しらないひとにいじめられた
●いえのチャイムをずっとならされた
●にらんでつれてこうとしたこと

●たたかれた、バカと言われた　●くびをしめられた
●くろいふくをきてぼうりょくをふるわれた
●かばんをぬすまれそうだった　●おどかされた

話しかける

●なまえをきかれた　●いまなんねんせい
●みせにあんないして　●えきのばしょをおしえてときかれたとき
●ばいばいされてずっとみられた
●じてんしゃにのっているよっぱらったおじさんに話しかけられた
●めがねをかけたおじさんにこえかけられた
●でんしゃで友だちとのっていたら、おじさんにこえをかけられてこわかった
●お店でおとうさんとおとうとが男子トイレにいった時、私（わたし）は一人でトイレのちかくでまっていて、トイレから出てきた人に話しかけられた

変（へん）なことを言う

●かたにあたっただけで「おまえころすぞ」とおどされた
●帰り、中学生くらいの人にへんなことを言われてそれを大声で言われた
●エスカレーターでわるぐちを言われた　●こらーっていわれる
●このせかいからだれもいなくなれっていわれた
●あくしゅしてくださいとかいわれた

追いかけてくる、ついてくる

●おいかけられた　●あとをついてきた
●おいかけまわされたり
●帰り道でついてこられた　●つきまとい

その他（時間や、場所、相手について）

●いきなり中央公園の入り口で　●しんごうでへんな人と会った
●がっこうのかえりやぴあののいき
●ならいごとで一人でかえったとき
● 50 代のおっさん
●しろいぼうしにサングラスをして黒いシャツ
●さんぐらすをかけたしらないひとに、ようといわれました
●びっくりしてないちゃった！　びっくりさせられるとなく

ワークショップの中で わかったことや考えたこと

いじめ

●いじめはわるいことだとわかりました
●いじめをされた人を考えた
●ともだちにきらわれないようにせいかつします
●友だちにいやなことをされた時に、なんて言ったり答えたりするのかわかった
●どんなにこわい人でもきちんと自分の意見を言う
●ひとにいやなことをいわれてもあまりあいてにしない
●わるぐちはだめってしっていたけどわすれていました
●いじめられているともだちをたすけないといけないと思った
●こまったらそうだんしようと思い自分も「いじめ」をしたくないとおもいました。ぼうりょくなどのいじめをされたことがあるので、いじめがどんなにかなしいことか思い出しながらげきを見ていました

自分を守る

●いのちってこんなにだいじなんだ！
●いのちは一人でまもらなきゃ
●もっとやさしくなる、もっとつよくなる
●なにかがおこったとき、だれもたすけてくれないのがわかりました

●いじめの対処法がわかった。金魚に例えたりして良くわかった
●いやなことを言われたらそういうことはほっとけばいい。「あーそういうやつなんだな」と思われるだけだから

知らない人

●しらないひとからなにをいわれても「いやだ」とことわる
●どろぼうとかにおいかけられて「ちょっときてよ」と言われたら、はっきり「むりです」と言わないとダメなんだな〜と私はわかりました。そういうことがおきたらはっきり言いたいと私はもくひょうにします
●もうだまされない　　●せかいにいやな人がいないといい
●ものでさそわれないようにする
●へんな人はいろいろなパターンで話しかけてくる
●しっかりことわらないと、つれていかれるとおもいました
●知らない人はわるい人じゃない人もいる。わるい人はいいものをもっている
●こわい人がきたときのたいさくがわかりました。子どもと子どものケンカやいじめのたいさくもわかりました　　●人はこわい
●こわい人もあまくみちゃいけないと思った
●げきを見てるときにこんなことがあるんだとおもいました。みてるだけでこわくなった

相談する

●おかあさんにちゃんといおうと思った
●自分をいつも心配して守ってくれる人がこんなにいたんだとわかった

●きょうトレーニングをして気づいたことは、がくどうの先生とかにいえばいいということがわかった！
●いのちはたいせつなことがわかった、こまったらすぐ大人（おとな）にいうのがわかった！
●そのままにしていると心がもやもやしたままだからはなす

断る（ことわ）

●ことわることをするぜ　　●だめなときはだめっていう
●前はいやなことをされても「やめて」をいえなかったけど、今日のあんぜんトレーニングをみて「あっそうすればいいんだ」っておもいました
●こわくないと思ったけど、けっこうこわいからじしんをつけて、むり、いやだと言います

劇（げき）

●みて、おてほんにしようとおもいました
●せつめいもおもしろくてたのしかった
●こういうこわいことがげんじつにあるんだなあと思いました
●もしなったらこわいので、いってくれてうれしいなとおもいます
●べんきょうとおなじくらいたいせつだから、しっかりみてよかったです
●ぼくは１かいめのげきでは「あっそ。きこえません」と言いたかったです。２かいめは「やだよ、じゃあバイバイ」と言いたかったです
●げきははずかしかったけど、やってよかった
●そんなことがあってもできないかな

その他

●かんそうは、いのちをまもったりする人たちとしりあえたりできた！　　●ぜーんぶわかった
●わたしはいつもいじめられるから、いつもなきむしっていわれるからことばをかえせない
●きょうは子どもあんぜんトレーニングのひとたちがきてくれたおかげでこわいこと、いやなこと、わからないことやいろいろわかりました。こわいことやこまったとき、あなたたちのことをおもいだしてこわいこともだいじょうぶです。ありがとうございます

大人のみなさんへ

学童クラブや放課後教室は異年齢集団のため上級生にいじめられることが少なくないようです。実際のいじめの経験では「耳にえんぴつを入れられた」「目にえんぴつを入れられた」「かいだんからおとされた」「ジャングルジムからけられた」などかなり危険な例もあるようです。また、ひどい言葉をぶつける言葉の暴力が多いように感じました。これは先生には見えないのかもしれません。

プログラムには、いじめと同時に不審者からの危険防止を取り入れているので、アンケートの回答には不審者からの被害も多くみられました。例として「追いかけられた」「うちにおいでといわれた」「首をしめられた」などの危険な目にあう子どもも少なくないようです。

親や先生に話すことの大切さに気づいた子どもも多くいました。

巻末
資料編

■オリジナルカードの配布
■すべてのプログラムの参加者数と実施記録

オリジナルカードの配布(はいふ)

私(わたし)たちCEP(シーイービー)・子どもひろばでは、ワークショップで出会った子どもたちに以下のカードを配布しています。動物のイラストをあしらったカードの表面は小中学生共通ですが、小学生用の裏面は一種類になります。
これらのカードがいじめについて誰(だれ)かと話すきっかけになることを願(ねが)っています。

（小学生用裏面）

広い宇宙に地球のいのちは1つだけ
広い地球にあなたのいのちは1つだけ

いじめはどうしてだめなのか？
それを考えられるのは人間だけ

自己中は自分さえよければいいわがまま
自分も人も尊重したいね

仲間はずれで人は孤立する
誰か1人でもそばにいて欲しい

友達は自分のことをわかってくれる人
自分もわかりたいと思う人

悪口はことばの暴力
それは見えない心の傷を生む

シカトはまるでいないみたいに無視される
自分の存在を否定されたら誰でもつらい

困ったときは1人だけで悩まないで
相談する勇気も大切

友達はおたがいに助け合いたい
もっといい友達になれるから

思いやりは人の気持ちを考えること
相手にあげたり自分がもらったり

すべてのプログラムの参加者数と実施記録

私たちが、20 年間の活動において行ったプログラムに多くの人が参加してくれました。下の表はすべてのプログラム（195 ～ 199 ページ参照）の参加者数になります。

年度	子ども（人）	保護者（人）	教員（人）
1997 ～ 98	1,033	1,016	117
1999	1,250	1,079	107
2000	1,153	1,041	80
2001	2,932	1,699	385
2002	1,564	667	288
2003	1,874	532	203
2004	1,459	624	189
2005	1,720	1,085	188
2006	2,011	788	189
2007	1,305	805	144
2008	1,500	641	138
2009	806	345	81
2010	1,042	429	104
2011	1,178	348	115
2012	975	296	109
2013	1,048	174	229
2014	2,201	204	234
2015	2,974	410	261
2016	1,602	268	159
2017	2,290	155	217
合計	**31,917**	**12,606**	**3,537**

1997 ～ 1998 年度

国分寺市立第七小学校　C
調布市立第一小学校× 3　C
入間市立中央公民館× 2　C
都営国立東第 2 アパート集会所× 2　C
国立市公民館× 2　C
武蔵村山市立第三小学校× 3　C
国立市公民館　C
大田区立東糀谷小学校　C
八王子市南大沢公民館× 3　C
武蔵村山市雷塚地区会館× 2　C
武蔵村山市民会館× 2　C
清瀬市下清戸地区会館× 2　C
東京都立大学　C
国立市公民館　C
八王子市立浅川小学校× 3　C
武蔵村山市民会館× 2　C
ワンステップかたつむり国立　C
国立市公民館　C
狭山青少年の家× 2　C
調布市立杉森小学校× 3　C
東京都立多摩社会教育会館　C
立川市女性総合センター・アイム× 2　C
府中市立本宿小学校　C
東久留米市立南町小学校× 3　C
八王子市立長沼小学校× 3　C
足立区立柳原小学校× 2　C
飯田橋セントラルプラザ　C
武蔵村山市立第三小学校　C
田無市立田無小学校　C
東村山市立南台小学校× 3　C
武蔵村山市立第二小学校　C
武蔵村山市立第十小学校× 3　C
昭島市立朝日会館　C
府中市立本宿小学校× 3　C
台東区母子生活支援施設× 2　C
国立オリンピック記念青年総合センター　C
八王子市南大沢市民センター　C
中野区立中野昭和小学校× 2　C

1999 年度

国立市東学童保育所　C
東村山市富士見児童館　C
練馬区立光が丘第五小学校× 2　C
東久留米市立第十小学校× 2　C
武蔵村山市立第二小学校× 2　C
足立区立高野小学校　C
武蔵村山市立第二小学校× 2　C
八王子市立長沼小学校× 3　C
昭島市立拝島中学校× 7　C
田無市立上向台小学校　C
立川市総合福祉センター　C
横浜市立すすき野小学校× 3　C
小平市立小平第十三小学校× 2　C
横浜市立すすき野小学校× 2　C
田無市立田無小学校× 2　C
国立市商協会館ホール　C
田無市立田無小学校× 3　C
品川区八潮幼稚園　C
昭島市公民館× 2　C
立川市立松中小学校　C
武蔵村山市立雷塚小学校× 3　C
田無市立田無小学校× 2　C
瑞穂町立第五小学校× 3　C
田無市立田無小学校× 2　C
東村山市立富士見公民館　C
清瀬市立清瀬第五小学校　C
立川市中央公民館　C
田無市立田無小学校× 4　C
東村山市立中央公民館　C
江戸川区立小松川第二小学校× 5　C
東久留米市立第四小学校　C
立川市立第三小学校　C
武蔵野市役所　C
大田区女性センター× 2　C
八王子市立第二小学校　C
国立市立第四小学校× 2　C
東村山市立富士見公民館　C
台東区母子生活支援施設　C
東村山市立中央公民館× 2　C
立川市錦公民館× 2　C

2000 年度

東村山市立中央公民館× 2　C
清瀬市立清瀬第六小学校　C
秋津市一番館集会室　C
東久留米市立中央公民館　C
豊島区立高松小学校　C
世田谷区立太子堂中学校　C
横浜市立嶮山小学校　C
東久留米市立中央公民館× 2　C
横浜市立すすき野小学校× 4　C
東大和市中央公民館　C
八王子市立長沼小学校× 3　C
田無市公民館　C
横浜市立嶮山小学校× 4　C
東大和市上北台公民館　C
立川市立第三小学校　C
東大和市中央公民館× 3　C
川崎市立久末小学校　C
羽村市公民館　C
国立市立第一小学校× 3　C
江戸川区立平井第二小学校　C
国際連合大学　C
八王子市立第二小学校× 4　C
横浜市立嶮山小学校× 2　C
田無市立谷戸第二小学校　C
横浜市立嶮山小学校× 2　C
羽村市立小作台小学校　C
横浜市立嶮山小学校× 2　C
小平市立第八小学校× 3　C
横浜市立剣山小学校× 2　C
品川区八潮わかば幼稚園　C
東村山市立回田小学校　C
西東京市立上向台小学校× 3　C
江戸川区立小松川第二小学校× 5　C
西東京市立田無小学校× 4　C
東村山市民スポーツセンター　C
青梅市砂町友愛園　C
羽村市小作本町会館　C
川崎市立久末小学校× 2　C

2001 年度

武蔵野市立第四小学校　C
立川市中央公民館　C
武蔵野市立第四小学校　C
羽村市立羽村西小学校× 3　C
武蔵野市役所× 2　C
武蔵野市立本宿小学校　C
世田谷区立太子堂中学校× 3　C
西東京市立上向台小学校× 3　C
国分寺市立第二小学校× 4　C
武蔵野市立井之頭小学校× 2　C
川崎市国際交流センター　条
国分寺市立第二小学校× 7　C
武蔵野市立大野田小学校× 2　C
武蔵野市立千川小学校　C
武蔵野市立大野田小学校　C
八王子市立第二小学校× 2　C
武蔵野市立大野田小学校　C
八王子市立第二小学校× 3　C
武蔵野市立千川小学校　C
西東京市立上向台小学校× 3　C
武蔵野市立関前南小学校　C
武蔵野市立千川小学校　C
国立市立第七小学校× 2　C
武蔵野市立関前南小学校　C
三鷹市立中央保育園　C
練馬区立立野小学校× 2　C
羽村市コミュニティセンター　C
武蔵野市立第一小学校× 4　C
練馬区立立野小学校× 3　C
武蔵野市立井之頭小学校　C
清瀬市立清瀬第四中学校　C
清瀬市立清瀬第四中学校× 2　C
立川市みたから幼稚園　C
東大和市南街公民館　C
武蔵野市立井之頭小学校× 2　C
清瀬市立清瀬第四中学校　C
昭島市立拝島中学校× 6　C
礼拝会寮　C
法政大学　C
武蔵野市立第二小学校× 2　条
昭島市立拝島中学校　C
西東京市立向台小学校× 2　C
多摩市立多摩第一小学校× 3　C
多摩市立大松台小学校× 3　C
多摩市立永山小学校× 3　C
西東京市立向台小学校× 2　C
多摩市立北諏訪小学校× 2　C
多摩市立北諏訪小学校× 2　C
東村山市立回田小学校× 2　C
西東京市立谷戸小学校　C
横浜市立元石川小学校× 4　C
多摩市立東落合小学校× 2　C
多摩市立大松台小学校　C
所沢市学童クラブ保護者会　C
武蔵野市立境南小学校　C
八王子市立みなみ野小学校　C
武蔵野市立境南小学校× 2　C
武蔵野市立第一小学校　C
昭島市立共成小学校　C

江戸川区立小松川第二小学校×５ C
多摩市立諏訪小学校×２ C
武蔵野市立境南小学校 C
小平市立小平第六小学校×３ C
武蔵野市西部コミュニティセンター C
三鷹市立中央保育園 C
武蔵野市立桜野小学校×２ C
東京都多摩立川保健所 C
八王子市立みなみ野小学校×３ C
東京都立川児童相談所×２ C
2002 年度 C
多摩市立諏訪中学校 C
亜細亜大学 C
昭島市立共成小学校×３ C
立川市市民会館 C
多摩市立多摩第三小学校×３ C
国分寺市立第二小学校 C
世田谷区立太子堂中学校×３ C
国分寺市立第二小学校×４ C
東村山市立萩山小学校 C
日本社会事業大学 条
お茶の水女子大学附属中学校 条
東京都立川児童相談所 C
練馬区立野小学校×３ C
武蔵村山市立第四小学校 C
昭島市役所市民ホール C
八王子市立第二小学校×３ C
東村山市市民センター C
八王子市立第二小学校×２ C
武蔵村山市ボランティア・市民活動センター C
八王子市クリエイトホール C
西東京市立上向台小学校×２ C
立川市こぶし会館×２ C
横浜市地域交流スペース×２ C
港区立三田中学校 C
国分寺市光公民館 C
多摩市立北諏訪小学校×３ C
三鷹市立東台小学校 C
入間市立藤沢公民館 C
立川市立第三小学校×２ C
東村山市立回田小学校×３ C
武蔵野市子ども協会北町保育園 C
八王子市立鹿島小学校×２ C
三鷹市立中央保育園 C
八王子市立鹿島小学校×４ C
入間市立藤沢小学校×３ C
東村山市立回田小学校×２ C
江戸川区立小松川第二小学校×５ C
港区立赤羽小学校 C
東村山市立回田小学校 C
三鷹市東台小学童保育所 C
多摩市立東落合小学校×２ C
東村山市立萩山小学校×３ C
2003 年度
入間市立藤沢小学校×３ C
立川市中央公民館 条
入間市立藤沢小学校×３ C
世田谷区立太子堂中学校×２ C
亜細亜大学 条
東京大学 条
入間市立藤沢小学校 C
港区立芝小学校 C
立川市立第三小学校×２ C
小平市立小平第六小学校×３ C
三鷹市立中原保育園 C
八王子市立第二小学校×３ C
立川市こぶし会館 C
東大和市中央公民館 C
練馬区立立野小学校×２ C
東京ボランティア・市民活動センター C
東村山市立萩山小学校×３ C
西東京市立上向台小学校×４ C
法政大学 条
多摩市立多摩第三小学校×２ C
多摩市立多摩第一小学校×３ C
小平市サレジオ小学校 C
三鷹市東児童館×３ C
小平市サレジオ小学校 C
多摩市立大松台小学校×３ C
東京都立川児童相談所 C
東大和市立第十小学校 C
東村山市立回田小学校×２ C
東村山市立北山小学校×２ C
小平市サレジオ小学校 C
江戸川区立小松川第二小学校×３ C
武蔵村山市民会館 C
西東京市田無保育園 C
小平市立小平第六小学校 C
多摩市立東落合小学校×２ C
江戸川区立小松川第二小学校×２ C
東村山市立回田小学校 C
東大和市狭山公民館 C
八王子市立鹿島小学校 C
多摩市立北諏訪小学校×３ C
羽村市子ども家庭支援センター C
小平市サレジオ小学校 C
三鷹市立中原保育園 C
国立市国立学園小学校×２ C
2004 年度
入間市立藤沢小学校×３ C
立川市女性総合センター・アイム×２ 親
入間市立藤沢小学校×３ C
立川市錦公民館 C
三鷹市立中原小学校×３ C
武蔵村山市民総合センター 親
世田谷区立太子堂中学校×２ ド
亜細亜大学 ド
東村山市立萩山小学校×２ C
小平市立小平第六小学校×３ C
早稲田大学 ホ
国分寺市立第五小学校×３ C
武蔵村山市民総合センター 親
立川市中央公民館 親
東村山市市民センター 親
立川市中央公民館 親
東村山市立富士見公民館 親
東村山市まりあ幼稚園 親
立川市錦公民館×２ C
立川市錦公民館 ド
練馬区立立野小学校 C
東久留米市立久留米中学校 C
練馬区立立野小学校 C
東村山市立萩山小学校×２ C
青梅市立第二中学校 C
東村山市つぼみ保育園 親
武蔵村山市立第七小学校×２ C
羽村市立武蔵野小学校 C
三鷹市立第六小学校×４ C
江東区立越中島小学校×４ C
立川市立上砂小学校 C
東京都立川児童相談所 C
八王子市立鹿島小学校 C
東村山市立青葉小学校 C
小平市立小平第六小学校 C
東村山市立回田小学校×２ C
三鷹市中央保育園 親
東村山市立回田小学校 C
八王子市クリエイトホール×２ 親
小平市立小平第六小学校×３ 親
三鷹市立新川保育園 親
豊島区立教池袋高等学校 ド
羽村市立栄小学校 C
練馬区立母子生活支援施設 親
三鷹市立三鷹駅前コミュニティ・センター 条
瑞穂町立瑞穂第五小学校×２ C
小平市立小川西町公民館×２ 親
2005 年度
小金井市愛の国保育園×２ 親
立川市柴崎会館 ド
小平市サレジオ小学校×４ C
小平市サレジオ小学校×２ 親
小平市立小平第六小学校×３ C
福生市公民館 C
亜細亜大学 ホ
東村山市立萩山小学校×３ C
練馬区母子生活支援施設 C
福生市福祉センター 親
東村山市立化成小学童保育所×３ C
東村山市立萩山小学校×３ C
立川市立中学校 PTA 連合会 ド
練馬区立立野小学校×３ C
港区立三光小学校 親
瑞穂町立瑞穂第五小学校 C
東村山市つぼみ保育園 親
小平市立小平第六小学校×３ C
三鷹市立新川保育園 親
東村山市立青葉小学校×４ C
小平市にこにこ保育園 親
東村山市立富士見公民館 条
東村山市立萩山小学校 ド
東村山市立化成小学校 C
大田区若竹幼稚園×２ 親
三鷹市立中央保育園 親
東村山市立第九小学校 C
東村山市役所 条
渋谷区城西幼稚園 親
渋谷区笹塚幼稚園 親
東村山市むさし保育園 親
横浜市星槎国際高等学校 ド
江戸川区江戸川幼稚園 親

江東区立城東保育園 親
瑞穂町立瑞穂第五小学校×２ C
東村山市まりあ保育園×２ 親
立川市女性総合センター・アイム 条
小平市小平神明幼稚園 親
西東京市立田無保育園 親
東京都立第二商業高等学校 ド
立川市立第九中学校 ド
東村山市立回田小学校×４ C
小平市丸山幼稚園×２ 親
羽村市たつの子保育園 親
小平市丸山幼稚園×２ 親
小平市エクスアンマンション 親
練馬区立東大泉第二保育園 親
福生市公民館松林分館 親
昭島市立公民館 親
目黒区立目黒本町保育園 親
小平市小平神明幼稚園×３ 親
東久留米市立中央公民館 親
武蔵野市ヒューマンネットワーク 親
北区北とぴあ 親
2006 年度
立川市上砂会館 親
小平市サレジオ小学校 親
小平市サレジオ小学校 C
小平市サレジオ小学校 C
武蔵野市成蹊中学校 人
豊島区立教池袋高等学校 ド
立川市中央公民館 親
小平市立小平第六小学校×３ C
東村山市立化成小学校×２ 親
東村山市立萩山小学校×３ C
川崎市立宿河原小学校 親
東村山市立化成小学校×２ C
練馬区母子生活支援施設 C
立川市女性総合センター・アイム×２ 不
立川市西砂公民館 親
立川市錦公民館 親
東村山市立萩山小×３ C
中野区立大和小学校 親
三鷹市南浦小学童保育所×２ C
立川市女性総合センター・アイム 不
中野区立大和小学校×２ 人
東村山市立化成小学童保育所×３ C
青梅市河辺市民センター 親
練馬区立立野小学校×２ C
立川市中央公民館 不
練馬区光が丘区民センター 親
川崎市立王禅寺中学校 人
白梅学園大学 不
東村山市立化成小学校×２ C
立川市女性総合センター・アイム 不
相模原市立大野中公民館 親
川崎市立王禅寺中学校×４ 人
渋谷区笹塚幼稚園 親
東村山市立化成小学校 人
小平市サレジオ中学校×３ ド
武蔵野市東保育園 親
東村山市むさし保育園 親
三鷹市立新川保育園 親
三鷹市立中央保育園 親
瑞穂町立瑞穂第五小学校 C
小平市にこにこ保育園 親
東村山市立第八保育園 親
練馬区立桜台保育園 親
江東区立越中島小学校×４ C
瑞穂町立瑞穂第五小学校 C
西東京市田無保育園 親
江東区総合区民センター 親
西東京市立芝久保保育園 親
小平市神明幼稚園×２ 親
小平市丸山幼稚園×３ 親
練馬区母子生活支援施設 親
立川市たまがわ・みらいパーク 親
杉並区役所×２ 親
2007 年度
小平市サレジオ小学校×２ C
小平市サレジオ小学校 親
白梅学園大学 不
東村山市立化成小学校 人
立川市女性総合センター・アイム 不
東村山市立萩山小学校×２ C
杉並区立桃井第三小学校 親
杉並区立高井戸第三小学校×２ 親
立川市女性総合センター・アイム 親
三鷹市南浦小学童保育所×２ C
江東区立越中島小学校×２ 人
杉並区立和田小学校×２ 親
立川市上砂会館 C
立川市女性総合センター・アイム 不
東村山市立萩山小学校×２ C
小平市むさし保育園 親
新座市立教大新座キャンパス 不
江東区立越中島小学校×４ C
中野区立江古田小学校×４ C
立川市女性総合センター・アイム 不
杉並区役所 親
武蔵村山市三ツ木地区会館 マ
武蔵村山市大南地区会館 マ
武蔵村山市残堀・伊奈平地区会館 マ
東村山市立化成小学校×４ い
清瀬市立清瀬第四小学校 C
渋谷区笹塚幼稚園 親
三鷹市新川保育園 親
武蔵村山市中部地区会館 C
武蔵村山市中藤地区会館 い
三鷹市立中央保育園 親
小平市にこにこ保育園 親
練馬区桜台保育園 C
新宿区立大久保小学校×２ 親
三鷹市新川保育園 不
田無市芝久保保育園 人
杉並区堀ノ内幼稚園 親
練馬区立光が丘第四保育園 親
練馬区光が丘区民センター 親
杉並区高円寺北幼稚園 人
杉並区高井戸西幼稚園 親
武蔵村山市ひまわり保育園 親
武蔵村山市あゆみ保育園 親
杉並区西荻北幼稚園 親
2008 年度
小平市サレジオ小学校 親
小平市サレジオ小学校 C
小平市サレジオ小学校 い
小平市立萩山小学校×２ C
江東区立越中島小学校×４ C
小平市立萩山小学校×２ C
国分寺市立第六小学校×２ C
小平市ゆたか保育園 親
国分寺市立第六小学校×２ C
清瀬市立清瀬第四小学校×２ C
江東区立越中島小学校×２ 人
中央区立中央小学校×２ 人
小平花小金井幼稚園×２ 親
小平市小平元気村 不
武蔵村山市さくらホール 人
三鷹市立第二小学校×５ C
小平市むさし保育園 親
渋谷区笹塚幼稚園 親
武蔵村山市第二小学童クラブ い
三鷹市立中央保育園 親
小平市にこにこ保育園 親
杉並区立成田西子供園 親
杉並区立下高井戸子供園 親
練馬区立桜台保育園 親
新宿区立大久保小学校×２ 親
三鷹市立新川保育園 親
田無市芝久保保育園 親
杉並区堀ノ内幼稚園 親
練馬区立光が丘第四保育園 親
練馬区光が丘区民センター い
杉並区高円寺北幼稚園 親
杉並区高井戸西幼稚園 親
武蔵村山市ひまわり保育園 親
武蔵村山市あゆみ保育園 親
杉並区西荻北幼稚園 親
2009 年度
小平市サレジオ小学校 親
小平市サレジオ小学校 C
小平市サレジオ小学校 い
武蔵村山市立第三小学校 い
小平市立萩山小学校×３ C
立川市女性総合センター・アイム 不
亜細亜大学 ホ
小平市中央公民館 ネ
立川市女性総合センター・アイム 不
立川市柴崎会館 不
北区北とぴあ 親
立川市女性総合センター・アイム 不
清瀬市立第四小学校×２ C
三鷹市立第二小学校×４ C
立川市柴崎会館 不
立川市女性総合センター・アイム 不
国分寺市立第六小学校×４ C
小平市むさし保育園 親
武蔵村山市第二小学童クラブ C
立川市女性総合センター・アイム 不
三鷹市立中央保育園 親
立川市女性総合センター・アイム 不
小平市にこにこ保育園 親

三鷹市立新川保育園 親
立川市柴崎会館 不
小平市中央公民館 親
武蔵村山市ひまわり保育園 親
西東京市立ひばりが丘保育園 親
目黒区中央町社会教育館 親
江東区立越中島小学校×４ C
立川市柴崎会館 不
武蔵村山市あゆみ保育園 親
立川市柴崎会館 不
府中市中央文化センター 親
杉並区セシオン杉並 親
東京ボランティア市民活動センター 親

2010 年度

小平市サレジオ小学校 親
小平市サレジオ小学校 人
小平市サレジオ小学校 C
立川市柴崎学習館×２ 親
江東区小松橋区民会館 親
立川市柴崎学習館 人
三鷹の森学園三鷹市立第五小学校×３ C
立川市砂川学習館 ド
新宿区立大久保小学校 親
立川市砂川学習館 ネ
練馬区立豊玉第二小学校×２ い
立川市砂川学習館 性
昭和記念公園×２ 不
江東区立越中島小学校×４ C
にしみたか学園三鷹市立第二小学校×４ C
武蔵村山市立第三中学校 人
武蔵村山市立第一小学校 い
国分寺市立第六小学校×５ C
三鷹市西野保育園 親
西東京市ひばりヶ丘保育園 親
小平市むさし保育園 親
三鷹市中央保育園 親
都立川高等学校 性
三鷹市立新川保育園 親
横浜栄区飯島団地集会所 親
世田谷区大東学園高等学校 性
武蔵村山市ひまわり保育園 親
武蔵村山市あゆみ保育園 親
小平市にこにこ保育園 親
武蔵村山市立村山学園第二中学校 人

2011 年度

小平市サレジオ小学校 親
小平市サレジオ小学校 C
小平市サレジオ小学校 人
三鷹市立第五小学校×３ C
亜細亜大学 C
立川市立第六小学校×２ C
江東区立越中島小学校×４ C
国分寺市立第六小学校×４ C
浅草駅周辺地区 不
にしみたか学園三鷹市立第二小学校×４ C
三鷹西野保育園 親
秋葉原駅周辺地区 不
武蔵村山市立第三中学校 人
武蔵村山市民総合センター 人
小平市むさし保育園 親
西東京市立ひばりが丘保育園 親
三鷹市中央保育園 親
小平市にこにこ保育園 親
武蔵村山市まどか保育園 親
三鷹市立新川保育園 親
武蔵村山市立つみき保育園 親
武蔵村山市立第三小学校×３ C
武蔵村山市立第四小学校×２ い
武蔵村山市ひまわり保育園 親
武蔵村山市立第二中学校 ラ
武蔵村山市民総合センター ラ
三鷹市コミュニティセンター×３ C

2012 年度

小平市サレジオ小学校 親
小平市サレジオ小学校 C
小平市サレジオ小学校 人
三鷹の森学園三鷹市立第五小学校×３ C
新宿区立大久保小学校 親
江東区立越中島小学校×４ C
国分寺市立第六小学校×３ C
三鷹の森学園三鷹市立高山小学校×２ C
三鷹市西野保育園 親
浦安市当代島公民館 人
小平市むさし保育園 親
小平市にこにこ保育園 親
武蔵村山市まどか保育園 親
立川市柏学童保育所 親
三鷹市立中央保育園 親
武蔵村山市第二小学校放課後子供教室 親
武蔵村山市ひまわり保育園 親
武蔵村山市立第三中学校 人
武蔵村山市民総合センター C
武蔵村山市あゆみ保育園 親
武蔵村山市立第七小放課後子供教室 親
武蔵村山市緑が丘ふれあいセンター 親
武蔵村山市立雷塚小放課後子供教室 親
武蔵村山市適応指導ゆうゆう教室 人
三鷹市コミュニティセンター×３ C
武蔵村山市聖光緑が丘保育園 親

2013 年度

小平市サレジオ小学校 C
小平市サレジオ小学校 人
小平市サレジオ小学校 親
おおさわ学園三鷹市立大沢台小学校×３ C
三鷹の森学園三鷹市立第五小学校×３ C
江東区立越中島小学校×３ C
国分寺市立第六小学校×３ C
武蔵村山市立村山学園放課後子供教室 子
武蔵村山市立第七小学校放課後子供教室 子
武蔵村山市立第九小学校放課後子供教室 子
立川市女性総合センター・アイム 親
武蔵村山市適応指導ゆうゆう教室 人
小金井市福祉会館 人
立川市女性総合センター・アイム 子
武蔵村山市立第一小学校放課後子供教室 子
武蔵村山市めぐみ保育園 親
小平市むさし保育園 親
武蔵村山市立雷塚小学校放課後子供教室 子
武蔵村山市立第二小学校放課後子供教室 子
武蔵村山市民総合センター 親
武蔵村山市まどか保育園 親
武蔵村山市民総合センター×２ 親
三鷹西野保育園 親
武蔵村山市立つみき保育園 親
立川市柴崎学童保育所 子
小平市にこにこ保育園 親
立川市錦学童保育所 子
立川市西砂・西砂第二学童保育所 子
立川市けやき第一・二学童保育所 子
三鷹駅前コミュニティセンター×２ C
武蔵村山市あゆみ保育園 親
立川市富士見学童保育所 子
武蔵村山市ひまわり保育園 親
立川市高松学童保育所 子

2014 年度

小平市サレジオ小学校 C
小平市サレジオ小学校 い
小平市サレジオ小学校 親
おおさわ学園三鷹市立大沢台小学校×３ C
三鷹の森学園三鷹市立第五小学校×３ C
武蔵村山市立第一小学校放課後子供教室 い
武蔵村山市立第九小学校放課後子供教室 い
江東区立越中島小学校×３ C
武蔵村山市立第七小学校放課後子供教室 い
立川市砂川園学童保育所 子
立川市幸学童保育所 子
立川市若葉学童保育所 子
立川市錦第二学童保育所 子
立川市曙学童保育所 子
立川市大山学童保育所 子
水戸市立国田小学校 い
水戸市立国田中学校 人
水戸市立五軒小学校 い
水戸市立飯富小学校 い
水戸市立堀原小学校 い
立川市西立川学童保育所 子
立川市錦学童保育所 子
立川市西砂学童保育所 子
立川市上砂学童保育所 子
立川市上砂第二学童保育所 子
三鷹市上連雀保育園 親
立川市南砂学童保育所 子
立川市松中学童保育所 子
水戸市立吉沢小学校 い
水戸市立上中長妻小学校 い
水戸市立飯富中学校 人
武蔵村山市適応指導ゆうゆう教室 人
小平市むさし保育園 親
武蔵村山市立第四小学校放課後子供教室 い
武蔵村山市立雷塚小学校放課後子供教室 い
水戸市立笠原中学校 人
武蔵村山市立第二小学校放課後子供教室 い
国分寺市立第六小学校×４ C
立川市柏第四学童保育所 子
武蔵村山市まどか保育園 親
武蔵村山市つみき保育園 親
三鷹市教育センター×２ C
三鷹市西野保育園 親
小平市にこにこ保育園 親
水戸市立柳河小学校 人

水戸市立内原小学校 人
水戸市立常澄中学校 人
三鷹市立高山小学校×３ C
武蔵村山市あゆみ保育園 親
武蔵村山市ひまわり保育園 親
武蔵村山市めぐみ保育園 親
三鷹市立第七小学校×２ C
三鷹市第三小学校学童保育所 C

2015 年度

小平市サレジオ小学校 C
小平市サレジオ小学校 い
小平市サレジオ小学校 親
立川市多摩川学童保育所 子
立川市錦学童保育所 子
立川市錦第三学童保育所 子
立川市柏第二、三学童保育所 子
立川市錦第二学童保育所 子
三鷹市立大沢台小学校×３ C
新宿区立大久保小学校 子
立川市曙学童保育所 子
江東区立越中島小学校×３ C
武蔵村山市立大南学園放課後子供教室 子
武蔵村山市立第一小学校放課後子供教室 子
武蔵村山市立第二小学校放課後子供教室 子
武蔵村山市立第九小学校放課後子供教室 子
立川市けやき台学童保育所 子
立川市羽衣学童保育所 子
立川市上砂第三学童保育所 子
国分寺市立第六小学校×３ C
立川市南富士見学童保育所 子
立川市西砂学童保育所 子
立川市西立川学童保育所 子
立川市柏学童保育所 子
武蔵村山市民総合センター 人
水戸市立赤塚小学校 い
水戸市立赤塚小学校 人
水戸市立五軒小学校 い
大泉町文化むら 人
水戸市立吉沢小学校 い
江東区立ちどり幼稚園 親
武蔵村山市立第二小学校放課後子供教室 子
水戸市立笠原小学校×３ い
三鷹市立下連雀保育園 親
水戸市立笠原小学校 い
水戸市立笠原小学校 人
水戸市立大場小学校×２ い
水戸市立大野小学校 い
水戸市立稲荷第一小学校 い
水戸市立第三中学校 人
武蔵村山市立第八小学校放課後子供教室 子
武蔵村山市立雷塚小学校放課後子供教室 子
武蔵村山市立第四小学校放課後子供教室 子
小平市むさし保育園 親
武蔵村山市つみき保育園 親
立川市江の島保育園 親
三鷹市西野保育園 親
三鷹の森学園三鷹市立高山小学校 C
水戸市立河和田小学校 い
武蔵村山市まどか保育園 親
立川市さかえ保育園 親
立川市藤幼稚園 親
武蔵村山市ひまわり保育園 親
武蔵村山市めぐみ保育園 親
小平市にこにこ保育園 親
小平市花小金井にこにこ保育園 親
武蔵村山市あゆみ保育園 親
三鷹市北野小学童保育所Ａ C
三鷹市北野小学童保育所Ｂ C

2016 年度

小平市サレジオ小学校 C
小平市サレジオ小学校 い
小平市サレジオ小学校 親
立川市みどり幼稚園 親
江東区立越中島小学校×３ C
武蔵村山市立第七小学校 い
武蔵村山市立第二小学校 子
国分寺市立第六小学校×３ C
三鷹市立高山小学校×３ C
水戸市立浜田小学校 い
水戸市立梅が丘小学校 い
水戸市立梅が丘小学校 人
小平市むさし保育園 親
水戸市立見川小学校 い
水戸市立稲荷第二小学校 い
立川市さかえ保育園 親
武蔵村山市立雷塚小学校 子
三鷹市上連雀保育園 親
武蔵村山市立小中一貫校村山学園 子
三鷹市西野保育園 親
武蔵村山市立第九小学校 子
水戸市立第二中学校×２ 人
立川市江の島保育園 親
武蔵村山市まどか保育園 親
水戸市立常盤小学校 人
武蔵村山市あゆみ保育園 親
小平市花小金井にこにこ保育園 親
小平市にこにこ保育園 親
武蔵村山市ひまわり保育 親
武蔵村山市めぐみ保育園 親
武蔵村山市つみき保育園 親
三鷹市北野小学童保育所Ａ、Ｂ C
三鷹市第六小学童保育所Ａ、Ｂ C

2017 年度

小平市サレジオ小学校 い
小平市サレジオ小学校 い
小平市サレジオ小学校 親
立川市錦第二学童保育所 子
江東区立越中島小学校×３ C
立川市錦第三学童保育所 子
立川市栄保育園 親
国分寺市立第六小学校×３ C
水戸市立千波小学校 い
水戸市立河和田小学校 い
水戸市立笠原中学校 人
水戸市立笠原小学校×２ い
水戸市立鯉淵小学校 人
水戸市立新荘小学校 い
水戸市立第三中学校×２ 人
水戸市立稲荷第二小学校 い
水戸市立下大野小学校×２ い
水戸市立城東小学校 人
武蔵村山市立第一小学校 子
立川市西立川学童保育所 子
水戸市立第二中学校 人
水戸市立浜田小学校 い
武蔵村山市立雷塚小学校 子
立川市ひかり保育園 親
武蔵村山市立第七小学校 子
武蔵村山市立第二小学校 子
水戸市立見川小学校×２ い
小平市むさし保育園 親
立川市砂川園学童保育所 子
三鷹市立上連雀保育園 親
三鷹市西野保育園 親
武蔵村山市まどか保育園 親
武蔵村山市あゆみ保育園 親
立川市羽衣保育園 親
武蔵村山市ひまわり保育園 親
武蔵村山市めぐみ保育園 親
武蔵村山市つみき保育園 親
小平市花小金井にこにこ保育園 親
小平市にこにこ保育園 親
三鷹市立中原小学校×２ C

＊プログラムの種類は以下の通りです。

C：CAP「子どもの暴力防止教育」
条：国連子どもの権利条約
親：親子の安全トレーニング
ド：ティーンズドラッグ
ホ：ホームレスへの差別と人権意識
人：いじめと人権
不：不登校サポート
い：いじめをやめよう
マ：ママと赤ちゃんのニコニコ
ネ：ネットとケータイを上手に使おう
性：思春期からの性と危機管理
ラ：ライフスキルトレーニング
子：子どもの安全トレーニング

※名称は、実施した当時のまま掲載しています。なお、現存しない施設もあります。

参考文献

佐藤一子『子どもが育つ地域社会ー学校五日制と大人・子どもの共同』（東京大学出版会、1944 年）
藤岡貞彦『社会教育実践と民衆意識』（草土文化、1977 年）
ピーター・スピアー　えとぶん／松川真弓 やく『せかいのひとびと』（評論社、1982 年）
パウロ・フレイル『自由のための文化行動』（亜紀書房、1984 年）
堀尾輝久著、文民教育協会子どもの文化研究所編『子ども発達・子どもの権利ー子どもを見る目・育てる目』（童心社、1989 年）
田中未来『「エミール」と現代の子ども』（誠文堂新光社、1990 年）
増山均『「子どもの権利条約」 と日本の子ども・子育て』（部落問題研究所、1992 年）
青木信人『「感情」をなくす子どもたち』（青弓社、1992 年）
スチーブン・マイク『自分らしく生きる』（銀河出版、1993 年）
ダニエル・ドルツ『きみはきみのままに』（銀河出版、1994 年）
滝川一廣『家庭のなかの子ども学校のなかの子ども』（岩波書店、1994 年）
今野俊彦『人権・人間らしさを求めて』（明石書店、1995 年）
大田堯『なぜ学校へ行くのか』（岩波書店、1995 年）
ダン・オルウェーズ『いじめ　こうすれば防げるーノルウェーにおける成功例』（川島書店、1995 年）
パット・パルマー『自分を好きになる本』（径書房、1996 年）
菅野楯樹『いじめ＝<学級>の人間学』（新曜社、1997 年）
斎藤学『いじめをなくす親子関係』（労働旬報社、1997 年）
大田堯『子どもの権利条約を読み解くーかかわり合いの知恵を』（岩波書店、1997 年）
堀尾輝久『現代社会と教育』（岩波書店、1997 年）
黒柳徹子『トットちゃんとトットちゃんたち』（講談社、1997 年）
原子修『月と太陽と子どもたちー子どもの権利条約童話』（木のおもちゃワールド館 " ちゃちゃワールド "、1997 年）
森田洋司『世界のいじめー各国の現状と取り組み』（金子書房、1998 年）
森実『参加型学習がひらく未来ー「人権教育 10 年」と同和教育』（部落解放・人権研究所、1998 年）
三森創『プログラム駆動症候群ー心をもてない若者たち』（新曜社、1998 年）
大澤真幸・町澤静夫・香山リカ『心はどこへ行こうとしているのかークロス・トーク！社会学 VS 精神医学』（マガジンハウス、1998 年）
八木英二、梅田修『いま人権教育を問う』（大月書店、1999 年）
ワークショップ・ミュー『「まなび」の時代へー地球市民への学び・30 人の現場』（小学館、1999 年）
『「市民学習」日英研究プロジェクト報告書』（東京ボランティアセンター）
加藤哲夫『ワークショップを使ってーボランティア活動をはじめるきっかけは、こんなワークショップに出会ったから』（JYVA ブックレット、1999 年）
門脇厚司『子どもの社会力』（岩波新書、1999 年）
ミッシェル・エリオット『いじめと闘う 99 の方法』（講談社、1999 年）
深谷和子『「いじめ世界」の子どもたち—教室の深淵』（金子書房、1999 年）
吉永宏『響きあう市民たちー NPO とボランティア入門』（新曜社、1999 年）
赤池学ほか『心に火をつける人、消す人』（TBS ブリタニカ、2000 年）
岩川直樹『総合学習を学びの広場にー手づくりと協働の知恵』（大月書店、2000 年）
尾木直樹『子どもの危機をどう見るか』（岩波新書、2000 年）
プレスプラン編集部編『いじめ　少年犯罪に宣戦布告ー史上最強の告発マニュアル』（プレスプラン、2000 年）
高橋たか子『福祉先進国スウェーデンのいじめ対策』（コスモヒルズ、2000 年）
清永賢二『世界のイジメ』（信山社、2000 年）
三森創「心の授業ー自分ってなんだろう』（北大路書房、2000 年）
中川喜代子『寛容性』「人権学習ブックレット」（明石書店、2000 年）
Center for Civic Education 著／江口勇治監訳『テキストブックわたしたちと法』（現代人文社、2001 年）
ラルフ・ペットマン『幼児期からの人権教育ー参加体験型の学習活動』（明石書店、2002 年）
王瑞雲『子どもの声、草木の声が聞こえますか』（樹心社、2002 年）
中野民夫『ファシリテーション革命ー参加型の場つくりの技法』（岩波アクティブ新書、2003 年）
小玉重夫『シティズンシップの教育思想』（白澤社、2003 年）

暉峻淑子『豊かさの条件』（岩波新書、2003 年）
滝川一廣／佐藤幹夫聞き手・編『「こころ」はだれが壊すのか』（洋泉社、2003 年）
『ABC：人権を教える小中高校向けの実践活動』（国際連合広報センター、2004 年）
下羽友衛『地球市民になるための学び方－「持続可能な開発のための教育」に向けて』（全３巻、日本図書センター、2005 年）
プレスプラン編『子どもの命は母親が守る－もし、子どもがいじめに遭っていることを知ってしまったら…』　（プレスプラン、2005 年）
二木克明『子どもの心－親にも先生にも言えなかった…』（一万年堂出版、2005 年）
上田紀行『生きる意味』（岩波新書、2005 年）
岡田尊司『脳内汚染』（文藝春秋、2005 年）
内田樹・名越康文『１４歳の子を持つ親たちへ』（新潮社、2005 年）
『バーチャル社会のもたらす弊害から子どもを守るために　最終報告書』（警視庁バーチャル社会のもたらす弊害から子どもを守る研究会、2006 年）
山脇由貴子『教室の悪魔－見えない「いじめ」を解決するために』（ポプラ社、2006 年）
アラン・L・ビーン『学校でのいじめ対策－すぐに役立つ 100 のアイデア』（東京書籍、2007 年）
柏木恵子『子どもが育つ条件－家族心理から考える』（岩波新書、2007 年）
ベン・フリーマン『フィンランド式　キッズスキル』（ダイヤモンド社、2008 年）
茂木健一郎『思考の補助線』（ちくま新書、2008 年）
姜尚中『悩む力』（集英社新書、2008 年）
藤川大祐『ケータイ世界の子どもたち』（講談社現代新書、2008 年）
山野良一『子どもの最貧国・日本　―学力、心身、社会におよぶ諸影響』（光文社新書、2008 年）
『人権ア・ラ・カルトーみんなで考える人権－人権啓発パンフレット』（人権教育啓発推進センター、2017 年版）

スペシャルサンクス

発足当初はまだパソコンも携帯電話もなく、連絡手段は固定電話やファックスの時代でした。高校生から大学生、さまざまな職業の人、主婦などが対等の立場で話し合い活動を進めました。中にはその後、学校を卒業して就職、結婚、出産、転居などを経てもなお、サポーターや理事として支えてくださるボランティアもいらして、本当に長い付き合いです。

2003年　ボランティアスタッフとともに

20年分のアンケート結果は、すべて事務所で保管しています

あとがき

1980 年代後半から全国でいじめられた子どもの自殺が相次ぎ、1985 年には 14 件にも上りました。それまで子どもの自殺が報道されることはほとんどなく、私たちは大変な衝撃を受けました。

10 代の子どもの人生はまだ始まったばかり、これから何十年もの人生があるのに自分の命を終わらせてしまうほど子どもたちが苦しんでいることが明らかになりました。

1997 年にボランティアグループ「子どもひろば CAP」を発足させた私たちは、2000 年に「NPO 法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば」（略称：CEP・子どもひろば）を設立し、子どもの命を守るためのさまざまな出前授業を続けてきました。

いじめはなくならないかもしれません。人間が集まればなんらかのトラブルは避けられないでしょう。それでも人生経験の少ない子どもたちには、大きなストレスになることがわかっている以上、私たち大人にはできるだけのことをする責任があると考えます。

20 年間は試行錯誤の連続でしたが、この活動を支えて下さった多くのみなさまに感謝致します。特にこれまでに参加してくれた 150 人以上の学生、若者ボランティアなどの、みずみずしい感性と真摯な議論に触発されながら子どもの心に届くオリジナルプログラムの開発をすることができたことは当会の最大の誇りです。

発足以来参加した子どもたちのアンケートを保存してきましたが、20 周年を機にいじめ防止出前授業 678 回、23,500 人のアンケートをまとめました。どんな問題も当事者の声を聞いて理解を深めることで、社会の関心が高まり問題解決の道が開けていきます。いじめについては当事者の子どもたちの声に大人が耳を傾けることからすべてが始まると思います。

アドバイザーの先生方の中でも家庭ケースワーク研究所所長の岩佐壽夫先生には会発足当初から長きにわたりご指導いただきました。いじめ防止に関しては上越教育大学名誉教授の田中敏先生に多くのヒントをいただきました。当会の根幹をなす子どもの人権への基本的認識と私たち自身の人権意識の醸成については東京大学名誉教授の故大田堯先生と一橋大学名誉教授の山内敏弘先生に多くの啓示をいただきました。また、行政との長年の連携や協働のお陰で多くの子どもたちに出前授業を届けることができました。現在まで継続している三鷹市企画部企画経営課、武蔵村山市生涯学習課、立川市子ども家庭部子ども育成課、立川市男女平等参画課、水戸市教育委員会総合教育研究所などのみなさまありがとうございました。

NPO 法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば
代表理事　高橋真佐美

NPO 法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば
(略称　CEP・子どもひろば)
代表理事　高橋真佐美
〒208-0002　東京都武蔵村山市神明 2-38-18
Tel　042-569-8107
E-mail　kodomohiroba@yahoo.co.jp
HP　http//:kodomohiroba.com ※
Blog　http://www.voluntary.jp/cepkodomo
Blog　http://cepkodomohiroba.exblog.jp/ ※

※子どものための電子書籍をホームページとブログで無料公開しています。

この本の編集と出版準備については 2016 年度森村豊明会の助成を受けています。
出版については 2019 年度 LUSH JAPAN チャリティバンクの助成を受けています。

いじめのリアル
CEP・子どもひろばの出前授業 ～23,500人の子どもの声～

2021 年 11 月 1 日　初版第一刷発行

著者／NPO 法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば

ブックデザイン／ 青木克之（SoysDesign）
表紙・本文イラスト／ 宮島由香
編集・構成／ 齊藤尚美（くるみ企画室）

発行／株式会社 小学館スクウェア
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-13 神保町MFビル４階
電話 03(5226)5781　FAX 03(5226)3510
印刷・製本／ 大日本印刷株式会社

本書掲載の記事、写真、イラストの無断転載・複写を禁じます。
造本にはじゅうぶん注意しておりますが、万一、乱丁・落丁などの不良品がありましたら、小学館スクウェアまでお送りください。お取り替えいたします。

本書の無断での複写（コピー）、上演、放送等の二次利用、翻案等は、著作権法上の例外を除き禁じられています。
本書の電子データ化などの無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。代行業者等の第三者による本書の電子的複製も認められておりません。

©Citizenship Education Project Kodomohiroba 2021
Printed in Japan　ISBN978-4-7979-8230-5

頒価 1,320 円（本体価格 1,200 円）